

# 令和3年度 病院構造改革推進方策実施計画

令和3年4月  
病院局

## 令和3年度 病院構造改革推進方策実施計画 目次

★緊急に対応すべき事案(新型コロナウイルス対応)	1
<b>I より良質な医療の提供</b>	
項目1 診療機能の高度化	
(1) がん医療	2
(2) 循環器疾患医療	6
(3) 糖尿病医療	9
(4) 精神医療	10
(5) 救急・災害医療	12
(6) 小児・周産期医療	14
(7) リハビリテーション医療	16
(8) その他の政策医療	18
項目2 統合再編・建替整備	21
項目3 診療機能の効率化	22
項目4 研究機能の充実	23
<b>II 安心できる県立病院の実現</b>	
項目1 地域医療連携の推進	24
項目2 医療安全対策等の推進	28
項目3 患者サービスの向上	29
項目4 医療の信頼性の向上	31
項目5 県民等への情報発信の推進	32

<b>III 持続可能な経営の確保</b>	
項目1 経営目標の設定と持続的な経営の取組	34
項目2 収益の確保	
(1) 患者の受入れ促進等	37
(2) 診療機能に見合う収益の確保等	39
(3) その他の収益の確保	41
項目3 費用の抑制	43
<b>IV 安定した医療提供体制の確立</b>	
項目1 効果的・効率的な組織・人員体制の整備	45
項目2 医師確保対策の推進	46
項目3 看護師確保対策の推進	47
項目4 専門人材の充実・確保と人材育成の取組	48
項目5 働きやすい職場づくり	49
項目6 経営形態の検討	50
項目7 安定的な地域医療の提供	51
<b>各県立病院の目標・計画</b>	
経営計画	52

★緊急に対応すべき事案（新型コロナウイルス対応）

実施計画

〔目標〕  
 県民の命を守る最後の砦としての使命を果たすべく、感染症指定医療機関を中心に新型コロナウイルス感染症患者の積極的な受け入れに全力で取り組んでいる。  
 「新型コロナウイルス感染症拠点病院」である加古川医療センター、「新型コロナウイルス感染症重症等特定病院」である尼崎総合医療センターを中心に、重症者対策の強化を図る。  
 また、第二種感染症指定医療機関の指定を受けている丹波医療センター、淡路医療センターをはじめ、その他の病院でも地域の医療体制の状況等を踏まえ、患者受入等を実施する。  
 その他、新型コロナウイルス感染症対策の課題等については今後十分に検証し、それらを基に病院運営における必要な見直しを行っていく。

〔取組項目〕

1 病床の確保

重症患者への対応については、ICU（集中治療室）やHCU（高度治療室）を転用するとともに、中軽症患者への対応については、感染症指定医療機関である県立病院を中心に、新規陽性患者の発生状況に応じて、感染症病床に加え、一般病棟を新型コロナウイルス感染症対応病棟に転用し、病床確保に取り組む。  
 また、新型コロナが軽症の精神疾患患者や小児重症患者に対応するため、ひょうごこころの医療センターやこども病院で病床を確保する。  
 これらの病床の運用にあたっては、職員の病院内での応援や県立病院間での派遣等により必要なマンパワーを確保する。

2 加古川医療センターの臨時重症専用病棟の活用

新型コロナウイルスの感染リスクを低減しつつ、重症患者が急増した場合の受入対応力を強化するために整備した加古川医療センターの臨時重症専用病棟において、各県立病院、県内医療機関、関係大学等からの協力を得ながら、重症患者の積極的な受け入れを行う。

3 院内感染防止対策の推進

陽性患者や疑い患者を受け入れる県立病院では、病棟や外来における適切なゾーニングを実施するほか、一般患者と区別した待合室や発熱外来の設置など、引き続き、患者や職員の動線の分離を実施する。  
 また、個人防護具の着用や手指衛生の徹底など標準予防策を遵守するとともに、WEB面会の活用など、院内感染防止対策を推進する。

4 検査体制の強化

各県立病院において、新型コロナウイルスの感染が疑われる患者に対し、迅速にPCR検査や抗原検査が行えるよう体制を充実させるとともに、術前検査や職員の感染状況把握にも活用するなど、検査体制の強化を図る。

5 整備・計画中の病院に係る新型コロナウイルス感染症対策

- (1) はりま姫路総合医療センター（仮称）  
 播磨姫路圏域における感染症対応の機能強化を図るため、重症患者も含め、感染患者に対応可能な病室を整備する。
- (2) 西宮病院と西宮市立中央病院の統合再編新病院  
 感染患者が他の患者と交錯しない通路・専用入口並びに陰圧設備を配した専用診察室・病室等についての整備を設計に反映する。
- (3) がんセンター  
 感染の有無を確認するトリアージ室の充実や来院者の動線計画に加え、入院患者が感染症に罹った場合に備え、感染対応個室の整備を検討する。

6 大学等との連携による調査・研究の推進

県において新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けた対策を立案するため、神戸大学が行う流行状況や重症化のメカニズム解明等の疫学調査を支援する。  
 また、これまでの研究成果や県立病院のフィールドを活用し、中和抗体医薬品の開発に向けた取組を支援する。

7 医療用マスク・防護服等の確保

医療用マスク・防護服等については、医療提供体制に支障が出ないよう確保に努める。

参考：現況（R3年2月の状況等）

備考

【入院患者数（R3.2月末時点）】

病院名	延べ入院患者数	実入院患者数													計
		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		
尼崎	7,023	41	55	9	2	59	92	49	45	100	89	87	41	669	
西宮	2,879	3	18	1	0	19	37	44	28	56	50	36	21	313	
加古川	9,310	18	44	3	0	43	64	20	26	95	143	151	29	636	
丹波	1,389	5	16	0	0	9	8	2	7	22	21	23	6	119	
淡路	1,509	1	7	3	0	4	11	7	0	26	33	30	17	139	
姫路	1,506	0	1	2	0	8	13	10	22	33	35	29	19	172	
こころ	372	0	0	0	0	0	1	3	1	9	6	5	7	32	
こども	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
合計	23,993	68	141	18	2	142	226	135	129	341	377	362	140	2,081	

I より良質な医療の提供

項目1 診療機能の高度化 (1) がん医療

○ 基本方向  
がんは、本県における死亡原因の第1位（全死因の29.6%）であり、「兵庫県保健医療計画」及び「兵庫県がん対策推進計画」で定められた各病院の役割及び地域の医療連携体制を踏まえた高度専門医療を提供する。

○ 取組内容

1 病院の役割

(1) がんセンターは、都道府県がん診療連携拠点病院として高度で専門的な集学的治療を実施するほか、地域がん診療連携拠点病院間の連携強化、拠点病院への研修、診療支援等を行う。また、あり方検討委員会の報告を踏まえて、がんゲノム医療等最新医療を提供していく。

(2) 淡路医療センター、柏原病院（丹波医療センター）は、地域がん診療連携拠点病院として、高度で専門的な集学的治療を提供するほか、地域の医療機関との共同研修を行うとともに、患者や家族に対する支援を充実する。

(3) 尼崎総合医療センター、西宮病院、加古川医療センターは、地域の医療連携体制における役割を踏まえ、集学的治療を提供する。

(4) こども病院は、小児がん拠点病院として、集学的治療を提供するほか、神戸陽子線センターと連携した陽子線治療を行う。

(5) 粒子線医療センターは、高度ながん治療を実施するほか、他の粒子線治療施設で対応困難な「肝臓・膵臓・頭頸部」がん患者への取り組みを推進する。

(6) 粒子線医療センター及び神戸陽子線センターは、粒子線医療の有効性を積極的に広報し患者の受入れ促進を進める。

(7) 統合再編後のはりま姫路総合医療センター（仮称）は、腫瘍センターの設置や高度先進的ながん治療ネットワークの構築などを行い、がん診療連携拠点病院並みのがん診療を提供する。

2 診療機能の高度化  
内視鏡下手術用支援機器（ダヴィンチ）、IMRT対応のリニアック装置等の高度医療機器により、最新治療を提供する。

3 地域連携の推進  
がんセンターを中心に、県統一のがん地域連携クリニカルパスなどを活用した地域連携を推進する。

実施計画	参考：現況（R3年2月の状況等）	備考																																																																																																																														
<p><b>〔目標〕</b> がんセンター等は、国及び県指定がん診療拠点病院として高度で専門的な集学的治療を実施する。また、こども病院は、小児がん拠点病院として集学的治療を実施するほか、神戸陽子線センターと連携した陽子線治療を実施する。更に、粒子線医療センターは、他の粒子線治療施設で対応困難な「肝臓・膵臓・頭頸部」がん患者への取り組みを推進する。</p>																																																																																																																																
<p><b>〔取組項目〕</b></p> <p>1 病院の役割</p> <p>(1) がん手術総件数</p> <p style="text-align: right;">(単位：件（延件数）)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>H29実績</th> <th>H30実績</th> <th>R1実績</th> <th>R2見込</th> <th>R3計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">国指定</td> <td>がん</td> <td>2,034</td> <td>1,886</td> <td>1,945</td> <td>1,865</td> <td>1,900</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>201</td> <td>219</td> <td>195</td> <td>247</td> <td>296</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>558</td> <td>558</td> <td>557</td> <td>339</td> <td>440</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">県指定</td> <td>尼崎</td> <td>1,289</td> <td>1,437</td> <td>1,474</td> <td>1,401</td> <td>1,456</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>1,232</td> <td>956</td> <td>923</td> <td>1,156</td> <td>1,150</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>956</td> <td>834</td> <td>967</td> <td>766</td> <td>841</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>6,270</td> <td>5,890</td> <td>6,061</td> <td>5,774</td> <td>6,083</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) うち5大がんの手術総件数</p> <p style="text-align: right;">(単位：件（延件数）)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>H29実績</th> <th>H30実績</th> <th>R1実績</th> <th>R2見込</th> <th>R3計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">国指定</td> <td>がん</td> <td>959</td> <td>844</td> <td>910</td> <td>904</td> <td>900</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>119</td> <td>143</td> <td>123</td> <td>170</td> <td>204</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>358</td> <td>358</td> <td>368</td> <td>217</td> <td>290</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">県指定</td> <td>尼崎</td> <td>603</td> <td>642</td> <td>685</td> <td>584</td> <td>680</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>481</td> <td>468</td> <td>458</td> <td>526</td> <td>520</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>530</td> <td>364</td> <td>446</td> <td>389</td> <td>410</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>3,050</td> <td>2,819</td> <td>2,990</td> <td>2,790</td> <td>3,004</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画	国指定	がん	2,034	1,886	1,945	1,865	1,900	丹波	201	219	195	247	296	淡路	558	558	557	339	440	県指定	尼崎	1,289	1,437	1,474	1,401	1,456	西宮	1,232	956	923	1,156	1,150	加古川	956	834	967	766	841	計		6,270	5,890	6,061	5,774	6,083	区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画	国指定	がん	959	844	910	904	900	丹波	119	143	123	170	204	淡路	358	358	368	217	290	県指定	尼崎	603	642	685	584	680	西宮	481	468	458	526	520	加古川	530	364	446	389	410	計		3,050	2,819	2,990	2,790	3,004	<p>○国指定がん診療連携拠点病院の指定状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>指定年月日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>都道府県</td> <td>がん</td> <td>平成19年1月31日</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">地域</td> <td>丹波</td> <td>平成20年2月8日</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>平成19年1月31日</td> </tr> </tbody> </table> <p>○国指定小児がん拠点病院の指定状況 こども病院：平成25年2月8日指定</p> <p>○県指定がん診療連携拠点病院の指定状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>指定年月日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">阪神</td> <td>尼崎</td> <td>平成27年7月1日</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>平成22年9月3日</td> </tr> <tr> <td>東播磨</td> <td>加古川</td> <td>平成23年2月16日</td> </tr> </tbody> </table> <p>○がんゲノム医療拠点病院の指定状況 がんセンター：令和元年9月19日指定</p> <p>○がんゲノム医療連携病院の状況（R3.1.1時点） こども病院</p> <p>○がん相談支援センター（がん） （相談件数）令和2年度見込：1,820件</p>	区分	病院名	指定年月日	都道府県	がん	平成19年1月31日	地域	丹波	平成20年2月8日	淡路	平成19年1月31日	区分	病院名	指定年月日	阪神	尼崎	平成27年7月1日	西宮	平成22年9月3日	東播磨	加古川	平成23年2月16日	
区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画																																																																																																																										
国指定	がん	2,034	1,886	1,945	1,865	1,900																																																																																																																										
	丹波	201	219	195	247	296																																																																																																																										
	淡路	558	558	557	339	440																																																																																																																										
県指定	尼崎	1,289	1,437	1,474	1,401	1,456																																																																																																																										
	西宮	1,232	956	923	1,156	1,150																																																																																																																										
	加古川	956	834	967	766	841																																																																																																																										
計		6,270	5,890	6,061	5,774	6,083																																																																																																																										
区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画																																																																																																																										
国指定	がん	959	844	910	904	900																																																																																																																										
	丹波	119	143	123	170	204																																																																																																																										
	淡路	358	358	368	217	290																																																																																																																										
県指定	尼崎	603	642	685	584	680																																																																																																																										
	西宮	481	468	458	526	520																																																																																																																										
	加古川	530	364	446	389	410																																																																																																																										
計		3,050	2,819	2,990	2,790	3,004																																																																																																																										
区分	病院名	指定年月日																																																																																																																														
都道府県	がん	平成19年1月31日																																																																																																																														
地域	丹波	平成20年2月8日																																																																																																																														
	淡路	平成19年1月31日																																																																																																																														
区分	病院名	指定年月日																																																																																																																														
阪神	尼崎	平成27年7月1日																																																																																																																														
	西宮	平成22年9月3日																																																																																																																														
東播磨	加古川	平成23年2月16日																																																																																																																														

実施計画

(3) 国指定がん診療連携拠点病院としての研修会等の開催

- ① 都道府県がん診療連携拠点病院（がん）  
・協議会、研修会等の開催回数

(単位:回)

開催内容	H29 実績	H30 実績	R1 実績	R2 見込	R3 計画
協議会、研修会等	20	21	22	20	18
がん診療連携協議会	1	1	1	1	1
同幹事会	2	2	2	2	2
がん登録実務初級者研修会	4	3	2	1	2

- ② 地域がん診療拠点病院

(単位:回)

区分	病院名	H29 実績	H30 実績	R1 実績	R2 見込	R3 計画
セミナー等	がん	2	3	2	1	2
	丹波	5	7	8	0	5
	淡路	4	3	3	1	2
計		11	13	13	2	9

(単位:回)

区分	病院名	H29 実績	H30 実績	R1 実績	R2 見込	R3 計画
研修会等	がん	8	9	6	7	9
	丹波	3	3	3	4	4
	淡路	4	5	3	3	3
計		15	17	12	14	16

- (4) 外来化学療法件数

(単位:件(延件数))

区分	病院名	H29 実績	H30 実績	R1 実績	R2 見込	R3 計画
国指定	がん	12,938	14,291	13,819	14,172	14,500
	丹波	595	906	1,326	1,673	1,809
	淡路	2,409	2,349	2,865	2,466	2,660
県指定	尼崎	6,839	9,316	10,910	10,668	10,910
	西宮	3,656	3,513	3,932	3,653	3,800
	加古川	3,886	2,667	2,570	2,670	2,670
	こども	176	276	230	285	280
計		30,499	33,318	35,652	35,587	36,629

- (5) 緩和ケア研修会の開催(出席者数)

(単位:人)

区分	病院名	H29 実績	H30 実績	R1 実績	R2 見込	R3 計画
国指定	がん	25	26	0	0	12
	丹波	26	26	51	24	24
	淡路	15	29	22	12	25
県指定	尼崎	28	36	41	24	24
	西宮	20	24	21	9	18
	加古川	18	17	22	12	12
計		132	158	157	81	115

参考:現況(R3年2月の状況等)

備考

○県保健医療計画(H30.4)に記載の「専門的ながん医療」の機能を有する病院

区分	圏域名	病院名
・手術、放射線療法及び化学療法を効果的に組み合わせた集学的治療の実施 ・年間入院がん患者数が500人以上	神戸	こども
	阪神	尼崎 西宮
	東播磨	がん 加古川
	丹波	丹波
	淡路	淡路
先進医療の提供	—	粒子線 神戸陽子

○がん医療にかかる専門・認定看護師の状況

区分		病院別人数
専門	がん看護	尼崎(1)、西宮(1)、加古川(1)、がん(2)、粒子線(1)、神戸陽子(1)
認定	緩和ケア	尼崎(1)、加古川(1)、丹波(1)、淡路(1)、こども(1)、がん(4)、粒子線(1)、姫路(1)
	がん化学療法	尼崎(1)、西宮(1)、加古川(1)、丹波(1)、淡路(1)、こども(1)、がん(6)
	がん性疼痛	丹波(1)、がん(1)、粒子線(1)
	乳がん	尼崎(1)、西宮(1)、がん(1)
	がん放射線療法	西宮(1)、がん(1)、こども(1)

○緩和ケア病棟  
加古川医療センター(25床)  
丹波医療センター(22床)

○緩和ケア専用病床  
淡路医療センター(4床)  
がんセンター(4床)

○緩和ケアチームを有する病院  
尼崎総合医療センター、西宮病院、  
加古川医療センター、丹波医療センター、  
淡路医療センター、こども病院、がんセンター、  
姫路循環器病センター、粒子線医療センター

実施計画

(6) 緩和ケア病棟（病床）延入院患者数

(単位：人（延人数）)

区分	病院名	H29 実績	H30 実績	R1 実績	R2 見込	R3 計画
病棟	加古川	5,289	5,041	5,584	1,165	2,094
	丹波	6,881	6,310	7,415	7,557	7,665
病床	淡路	105	80	113	60	86
	がん	879	978	1,147	1,000	1,000
計		13,154	12,409	14,259	9,782	10,845

(7) がんゲノム医療

- がんゲノム医療の推進

① 遺伝子パネル検査実施件数（保険適用分）

(単位：件)

病院名	H30 実績	R1 実績	R2 見込	R3 計画
こども	—	—	7	15
がん	—	116	99	120
計	—	116	106	135

② がんゲノム外来患者数（保険適用分）

(単位：人)

病院名	H30 実績	R1 実績	R2 見込	R3 計画
こども	—	—	7	15
がん	27	159	140	168
計	27	159	147	183

(8) 粒子線治療

① 神戸陽子線センターとの連携と治療実施（小児陽子線治療の実施、人材の育成、医療機関等の広報活動）（こども）

- 小児陽子線治療の実施件数

(単位：件)

病院名	H29 実績	H30 実績	R1 実績	R2 見込	R3 計画
こども	3	39	55	65	86

② 粒子線治療の保険適用の積極的PR及び神戸陽子線Cと連携した県内外の医療機関との連携強化による粒子線治療実患者数の確保（粒子線）

- 粒子線治療実施患者数

(単位：人)

病院名	H29 実績	H30 実績	R1 実績	R2 見込	R3 計画
粒子線	501	469	320	323	383

③ アンギオCTの活用等により、難治性がんである「肝臓・膵臓・頭頸部がん」患者への取り組みを強化（粒子線）

- 粒子線治療患者における「肝臓・膵臓・頭頸部がん」患者の割合

(単位：%)

病院名	H29 実績	H30 実績	R1 実績	R2 見込	R3 計画
粒子線	39.7	42.6	39.0	30.0	40.0

④ 粒子線治療の保険適用の積極的PR及び粒子線医療Cと連携した県内外の医療機関との連携強化による陽子線治療実患者数の確保（神戸陽子）

- 陽子線治療実患者数

(単位：人)

病院名	区分	H30 実績	R1 実績	R2 見込	R3 計画
神戸陽子	成人	89	134	153	193
	小児	44	60	68	87
	計	133	194	221	280

参考：現況（R3年2月の状況等）

備考

○がんセンター

- 研究部にバイオバンク室を設置（平成28年）  
(スタッフ2名配置)
- ゲノム医療・臨床試験センターを設置（平成30年）

○こども病院の小児がん拠点病院としての取組

- 平成24年度
- 小児がん拠点病院に指定
- 平成25年度
- 医療福祉相談員(MSW)の専従配置
  - 長期フォローアップ外来の開設
  - 緩和ケアチームの設置
- 平成26年度
- 小児がん医療センターを設置
- 平成28年度【移転建替】
- 緩和ケア病室の設置
  - 全病棟へのプレイルーム配置
  - 院内学級の整備
  - ファミリーハウスの拡充(11室→16室)等
- 平成29年度【神戸陽子線センターを開設】
- 粒子線医療センター附属神戸陽子線センターと連携し、患者の晩期合併症等のリスクが少ない陽子線治療を提供
- 令和元年度
- がんゲノム医療連携病院に指定

○粒子線治療保険適用の状況

区分	疾患名
陽子線のみ	・小児腫瘍 (限局性の固形悪性腫瘍に限る)
陽子線及び重粒子線	・切除非適応の骨軟部腫瘍 ・頭頸部悪性腫瘍 (口腔・咽喉頭の扁平上皮がんを除く) ・限局性及び局所進行性前立腺がん

○粒子線治療費の支援制度

- (1) AYA世代に対する先進医療の陽子線治療費の減免(R2~)
- 対象者：国内在住1年以上で先進医療の陽子線治療を受ける20~39歳であり、前年の世帯総所得600万円以下の世帯に属する方
  - 減免割合・自己負担額

世帯総所得	減免割合	治療費	減免額	自己負担額
210万円以下	3/4	2,883,000円	2,162,300円	720,700円
210万円超 600万円以下	1/2		1,441,500円	1,441,500円

(2) 粒子線治療資金貸付制度の所得制限の撤廃(R2~)

- 制度の概要

貸付対象者	国内在住1年以上
貸付対象費用	粒子線治療料(限度額2,883,000円)
利子	無利子
償還期間	10年以内

実施計画

参考：現況（R3年2月の状況等）

備考

2 診療機能の高度化

(1) ダヴィンチ（内視鏡下手術用支援機器）による手術件数

(単位：件（延件数）)

区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画
国指定	がん	90	122	140	180	200
県指定	尼崎	74	94	159	154	159
	西宮	31	45	38	60	65
	加古川	82	135	113	77	90
計		277	396	450	471	514

- ダヴィンチ導入病院
- ・ 尼崎総合医療センター（H26.6稼働）
  - ・ 西宮病院（H27.12稼働）
  - ・ 加古川医療センター（H25.9稼働）
  - ・ がんセンター（H25.4稼働）

(新) (2) ヒノトリ（内視鏡下手術用支援機器）の導入

(3) リニアックの稼働件数及び新規患者数

① リニアック稼働件数

(単位：件（延件数）)

区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画
国指定	がん	14,241	14,201	11,245	15,360	14,300
	丹波	1,370	1,155	1,195	1,761	1,761
	淡路	4,905	3,213	3,647	3,650	3,650
県指定	尼崎	8,379	9,721	8,562	8,823	8,823
	西宮	3,114	3,094	2,990	3,350	3,350
	加古川	5,484	4,346	4,413	3,680	3,954
	こども	546	302	153	51	50
計		38,039	36,032	32,205	36,675	35,888

- ヒノトリ導入予定病院
- ・ 加古川医療センター

② リニアック新規患者数

(単位：人)

区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画
国指定	がん	760	760	650	856	770
	丹波	75	59	66	77	77
	淡路	163	130	134	150	150
県指定	尼崎	516	671	541	577	577
	西宮	152	160	151	135	135
	加古川	245	223	218	246	246
	こども	25	27	19	17	17
計		1,936	2,030	1,779	2,058	1,972

3 地域連携の推進

・ 地域連携パスの運用件数

(単位：件（延件数）)

区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画
国指定	がん	247	249	245	216	215
	丹波	23	31	23	23	23
	淡路	242	264	267	310	300
県指定	尼崎	51	70	83	89	89
	西宮	29	36	66	54	60
	加古川	3	3	18	55	55
計		595	653	702	747	742

I より良質な医療の提供

項目1 診療機能の高度化 (2) 循環器疾患医療

- 基本方向  
心疾患は本県における死亡原因の第2位（全体の14.8%）、脳血管疾患は第4位（全体の8.3%）であり、「兵庫県保健医療計画」で定められた各病院の役割及び地域の医療連携体制を踏まえた高度専門医療を提供する。
- 取組内容
- 1 病院の役割  
 (1) 姫路循環器病センター（はりま姫路総合医療センター（仮称））は、全県の拠点病院として心疾患、脳血管疾患に対する高度専門医療及び急性期リハビリテーション医療を提供する。  
 (2) 統合再編後のはりま姫路総合医療センター（仮称）は、専門病院に総合的な診療機能を付加すること等で診療体制の充実を図り、合併症への対応を強化する。  
 (3) 尼崎総合医療センター、西宮病院、加古川医療センター、淡路医療センターは、心疾患、脳血管疾患に対する急性期医療及び急性期リハビリテーション医療を提供する。  
 (4) 柏原病院（丹波医療センター）は、引き続き心疾患に対する急性期医療を提供するとともに、統合再編後については、救急拠点施設として、脳卒中等の重症救急患者に対応する。
- 2 診療機能の高度化  
 尼崎総合医療センター及び姫路循環器病センター（はりま姫路総合医療センター（仮称））は、ハイブリッド手術室システム等の高度医療機器を活用した最新治療を提供する。

実施計画	参考：現況（R3年2月の状況等）	備考																																																																																																																																																
<p>〔目標〕                      姫路循環器病センター等は心疾患、脳血管疾患に対する高度専門医療及び急性期リハビリテーション医療を提供する。                      また、尼崎総合医療センター及び姫路循環器病センターは、ハイブリッド手術システム等を活用した最新治療を提供する。</p>																																																																																																																																																		
<p>〔取組項目〕</p> <p>1 病院の役割</p> <p>(1) 開心術の件数                      (単位:件(延件数))</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>H29実績</th> <th>H30実績</th> <th>R1実績</th> <th>R2見込</th> <th>R3計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">総合</td> <td>尼崎</td> <td>189</td> <td>182</td> <td>194</td> <td>179</td> <td>188</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>39</td> <td>34</td> <td>112</td> <td>110</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">専門</td> <td>こども</td> <td>175</td> <td>168</td> <td>147</td> <td>138</td> <td>140</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>297</td> <td>295</td> <td>287</td> <td>209</td> <td>258</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>700</td> <td>679</td> <td>740</td> <td>636</td> <td>696</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 大動脈瘤ステント術の件数                      (単位:件(延件数))</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>H29実績</th> <th>H30実績</th> <th>R1実績</th> <th>R2見込</th> <th>R3計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">総合</td> <td>尼崎</td> <td>80</td> <td>80</td> <td>78</td> <td>76</td> <td>78</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>35</td> <td>27</td> <td>32</td> <td>20</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>専門</td> <td>姫路</td> <td>132</td> <td>114</td> <td>122</td> <td>110</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>247</td> <td>221</td> <td>232</td> <td>206</td> <td>214</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 冠動脈形成術の件数                      (単位:件(延件数))</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>H29実績</th> <th>H30実績</th> <th>R1実績</th> <th>R2見込</th> <th>R3計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">総合</td> <td>尼崎</td> <td>597</td> <td>599</td> <td>552</td> <td>483</td> <td>514</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>109</td> <td>109</td> <td>138</td> <td>110</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>54</td> <td>45</td> <td>31</td> <td>12</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>101</td> <td>91</td> <td>107</td> <td>93</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>213</td> <td>307</td> <td>324</td> <td>306</td> <td>320</td> </tr> <tr> <td>専門</td> <td>姫路</td> <td>601</td> <td>530</td> <td>604</td> <td>672</td> <td>605</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>1,675</td> <td>1,681</td> <td>1,756</td> <td>1,676</td> <td>1,677</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画	総合	尼崎	189	182	194	179	188	淡路	39	34	112	110	110	専門	こども	175	168	147	138	140	姫路	297	295	287	209	258	計		700	679	740	636	696	区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画	総合	尼崎	80	80	78	76	78	淡路	35	27	32	20	26	専門	姫路	132	114	122	110	110	計		247	221	232	206	214	区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画	総合	尼崎	597	599	552	483	514	西宮	109	109	138	110	120	加古川	54	45	31	12	18	丹波	101	91	107	93	100	淡路	213	307	324	306	320	専門	姫路	601	530	604	672	605	計		1,675	1,681	1,756	1,676	1,677	<p>○県保健医療計画（H30.4）に記載されている急性心筋梗塞の急性期医療の機能を有する病院</p> <p>① 専門的検査（心臓カテーテル検査、CT検査等）及び専門的診療（大動脈バルーンパンピング・緊急ペーシング等）の24時間対応                      ② 経皮的冠動脈形成術（経皮的冠動脈ステント留置術を含む）を年間200症例以上実施                      ③ 救急入院患者の受入実績がある                      ④ 心臓血管外科に常勤医を配置                      ⑤ 冠動脈バイパス術を実施</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>圏域</th> <th>上記条件を全て満たしている病院名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>阪神</td> <td>尼崎(上記条件を全て満たしている) 西宮(①、③は満たすが、②が年間100以上200症例未満の病院)</td> </tr> <tr> <td>播磨姫路</td> <td>姫路(上記条件を全て満たしている)</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>淡路(上記条件を全て満たしている)</td> </tr> </tbody> </table> <p>○県保健医療計画（H30.4）に記載されている脳卒中の急性期医療の機能を有する病院</p> <p>① 検査（X線検査、CT検査、MRI（拡張強調画像）、血管連続撮影）24時間実施可能（オンコール体制含む）                      ② 適応がある症例では超急性期に血栓回収療法等が24時間当直体制で実施可能                      ③ 血栓溶解療法（t-PA）が24時間当直体制で実施可能                      ④ 外科的治療が必要な場合2時間以内に治療開始（24時間対応）                      ⑤ 急性期リハビリテーションの実施</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>圏域</th> <th>病院名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>阪神</td> <td>尼崎(上記条件を全て満たしている) 西宮(上記条件を全て満たしている)</td> </tr> <tr> <td>東播磨</td> <td>加古川(上記条件の内、②のオンコール体制で対応可能な病院)</td> </tr> <tr> <td>播磨姫路</td> <td>姫路(上記条件の内、②のオンコール体制で対応可能な病院)</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>淡路(上記条件の内、②のオンコール体制で対応可能な病院)</td> </tr> </tbody> </table>	圏域	上記条件を全て満たしている病院名	阪神	尼崎(上記条件を全て満たしている) 西宮(①、③は満たすが、②が年間100以上200症例未満の病院)	播磨姫路	姫路(上記条件を全て満たしている)	淡路	淡路(上記条件を全て満たしている)	圏域	病院名	阪神	尼崎(上記条件を全て満たしている) 西宮(上記条件を全て満たしている)	東播磨	加古川(上記条件の内、②のオンコール体制で対応可能な病院)	播磨姫路	姫路(上記条件の内、②のオンコール体制で対応可能な病院)	淡路	淡路(上記条件の内、②のオンコール体制で対応可能な病院)	
区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画																																																																																																																																												
総合	尼崎	189	182	194	179	188																																																																																																																																												
	淡路	39	34	112	110	110																																																																																																																																												
専門	こども	175	168	147	138	140																																																																																																																																												
	姫路	297	295	287	209	258																																																																																																																																												
計		700	679	740	636	696																																																																																																																																												
区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画																																																																																																																																												
総合	尼崎	80	80	78	76	78																																																																																																																																												
	淡路	35	27	32	20	26																																																																																																																																												
専門	姫路	132	114	122	110	110																																																																																																																																												
計		247	221	232	206	214																																																																																																																																												
区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画																																																																																																																																												
総合	尼崎	597	599	552	483	514																																																																																																																																												
	西宮	109	109	138	110	120																																																																																																																																												
	加古川	54	45	31	12	18																																																																																																																																												
	丹波	101	91	107	93	100																																																																																																																																												
	淡路	213	307	324	306	320																																																																																																																																												
専門	姫路	601	530	604	672	605																																																																																																																																												
計		1,675	1,681	1,756	1,676	1,677																																																																																																																																												
圏域	上記条件を全て満たしている病院名																																																																																																																																																	
阪神	尼崎(上記条件を全て満たしている) 西宮(①、③は満たすが、②が年間100以上200症例未満の病院)																																																																																																																																																	
播磨姫路	姫路(上記条件を全て満たしている)																																																																																																																																																	
淡路	淡路(上記条件を全て満たしている)																																																																																																																																																	
圏域	病院名																																																																																																																																																	
阪神	尼崎(上記条件を全て満たしている) 西宮(上記条件を全て満たしている)																																																																																																																																																	
東播磨	加古川(上記条件の内、②のオンコール体制で対応可能な病院)																																																																																																																																																	
播磨姫路	姫路(上記条件の内、②のオンコール体制で対応可能な病院)																																																																																																																																																	
淡路	淡路(上記条件の内、②のオンコール体制で対応可能な病院)																																																																																																																																																	

実施計画

参考：現況（R3年2月の状況等）

備考

(4) 経皮的動脈弁バルーン拡張術（BAV）の件数

(単位:件 (延件数))

区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画
総合	淡路	46	27	31	24	30
専門	姫路	63	6	5	3	5
計		109	33	36	27	35

(5) 開頭術の件数

(単位:件 (延件数))

区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画
総合	尼崎	99	86	122	52	78
	西宮	65	62	45	25	35
	加古川	47	54	59	13	29
	淡路	36	23	45	40	45
専門	姫路	103	139	181	159	163
計		350	364	452	289	350

(6) 脳血管内手術の件数

(単位:件 (延件数))

区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画
総合	尼崎	59	42	41	39	41
	西宮	30	21	8	15	15
	加古川	11	8	6	2	3
	淡路	19	28	40	40	45
専門	姫路	81	106	93	105	95
計		200	205	188	201	199

(7) 血栓溶解療法（t-P A）の件数

(単位:件 (延件数))

区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画
総合	尼崎	18	12	39	46	46
	西宮	4	6	9	4	6
	加古川	1	0	1	1	1
	淡路	16	12	4	7	8
専門	姫路	34	22	26	26	24
計		73	52	79	84	85

(8) 急性期リハの件数

・心疾患

(単位:件 (延件数))

区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画
総合	尼崎	7,333	7,822	8,483	7,382	7,832
	西宮	1,699	2,183	1,858	1,703	1,703
	丹波	—	—	694	933	1,000
	淡路	6,746	6,439	8,071	6,270	8,100
専門	姫路	12,452	14,097	15,228	15,925	14,333
計		28,230	30,541	34,334	32,213	32,959

実施計画

参考：現況（R3年2月の状況等）

備考

・脳血管疾患

(単位:件 (延件数))

区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画
総合	尼崎	9,145	10,501	10,322	9,098	9,664
	西宮	11,789	10,176	10,582	10,902	10,902
	加古川	10,933	9,526	9,827	5,802	7,311
	丹波	—	—	1,261	1,805	2,000
	淡路	12,183	12,370	11,804	10,492	12,000
専門	姫路	23,915	21,991	21,029	22,195	19,976
計		67,965	64,564	64,825	60,294	61,853

(9) 地域連携パスの運用件数 (脳血管疾患)

(単位:件 (延件数))

区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画
総合	尼崎	140	130	115	97	106
	西宮	47	53	41	16	28
	加古川	21	16	11	2	5
	淡路	139	100	127	95	110
専門	姫路	243	242	162	150	146
計		590	541	456	360	395

2 診療機能の高度化

・経カテーテル的大動脈弁置換術 (TAVI) の件数

(単位:件 (延件数))

区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画
総合	尼崎	32	51	70	52	47
専門	姫路	64	53	56	91	82
計		96	104	126	143	129

I より良質な医療の提供

項目1 診療機能の高度化 (3) 糖尿病医療

- 基本方向  
糖尿病は適切な治療を行うことなく放置すると重大な合併症を引き起こすため、「兵庫県保健医療計画」で定められた各病院の役割及び地域の医療連携体制を踏まえた糖尿病医療を提供する。
- 取組内容
  - 1 病院の役割  
尼崎総合医療センター、西宮病院、加古川医療センター、淡路医療センター、柏原病院（丹波医療センター）、姫路循環器病センター（はりま姫路総合医療センター（仮称））は、地域の医療連携体制における役割を踏まえた医療を提供する。
  - 2 診療機能の高度化  
統合再編後のはりま姫路総合医療センター（仮称）は、専門病院に総合的な診療機能を付加すること等で診療体制の充実を図り、心疾患等の合併症を有する糖尿病患者への治療体制を強化する。
  - 3 地域医療機関との連携体制の構築  
尼崎総合医療センター等は、無治療糖尿病患者や重篤な合併症を有する糖尿病患者の早期診断・治療のため地域の医療機関との連携体制の構築に取り組む。

実施計画

実施計画	参考：現況（R3年2月の状況等）	備考																																																																																																																														
<p><b>〔目標〕</b> 尼崎総合医療センター等は、地域の医療連携体制における役割を踏まえた医療を提供するほか、無治療糖尿病患者や重篤な合併症を有する糖尿病患者の早期診断・治療のため地域の医療機関との連携体制の構築に取り組む。</p> <p><b>〔取組項目〕</b></p> <p>1 病院の役割</p> <p>(1) 新規入院患者数</p> <p style="text-align: right;">(単位：人(延人数))</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>H29実績</th> <th>H30実績</th> <th>R1実績</th> <th>R2見込</th> <th>R3計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">総合</td> <td>尼崎</td> <td>349</td> <td>275</td> <td>259</td> <td>227</td> <td>240</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>221</td> <td>238</td> <td>216</td> <td>220</td> <td>220</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>131</td> <td>155</td> <td>103</td> <td>68</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>19</td> <td>22</td> <td>27</td> <td>11</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>専門</td> <td>姫路</td> <td>168</td> <td>117</td> <td>124</td> <td>115</td> <td>112</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>888</td> <td>807</td> <td>729</td> <td>641</td> <td>671</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 糖尿病教育入院の実患者数</p> <p style="text-align: right;">(単位：人(延人数))</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>H29実績</th> <th>H30実績</th> <th>R1実績</th> <th>R2見込</th> <th>R3計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">総合</td> <td>尼崎</td> <td>273</td> <td>210</td> <td>195</td> <td>162</td> <td>175</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>181</td> <td>185</td> <td>176</td> <td>175</td> <td>175</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>108</td> <td>117</td> <td>152</td> <td>34</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>1</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>専門</td> <td>姫路</td> <td>163</td> <td>110</td> <td>122</td> <td>75</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>732</td> <td>630</td> <td>654</td> <td>447</td> <td>522</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画	総合	尼崎	349	275	259	227	240	西宮	221	238	216	220	220	加古川	131	155	103	68	80	淡路	19	22	27	11	15	専門	姫路	168	117	124	115	112	計		888	807	729	641	671	区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画	総合	尼崎	273	210	195	162	175	西宮	181	185	176	175	175	加古川	108	117	152	34	57	淡路	7	8	9	1	5	専門	姫路	163	110	122	75	110	計		732	630	654	447	522	<p>○県保健医療計画（H30.4）に記載している糖尿病の専門治療の機能を有する病院</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 糖尿病の専門的検査、専門的治療の実施（75gOGTT検査、運動療法、食事療法）</li> <li>② 専門職種のチームによる教育入院の実施</li> <li>③ 糖尿病患者の妊娠への対応</li> <li>④ 常勤の日本糖尿病学会専門医、又は日本内分泌代謝科専門医がいる</li> </ol> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>圏域</th> <th>上記条件の全てを満たしている病院名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>阪神</td> <td>尼崎総合医療センター、西宮病院</td> </tr> <tr> <td>東播磨</td> <td>加古川医療センター</td> </tr> <tr> <td>播磨姫路</td> <td>姫路循環器病センター</td> </tr> </tbody> </table> <p>○県保健医療計画（H30.4）に記載している糖尿病の急性増悪時治療の機能を有する病院</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 糖尿病昏睡等急性合併症の治療が可能</li> <li>② 糖尿病の急性合併症の患者を24時間受入可能</li> </ol> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>圏域</th> <th>上記条件の全てを満たしている病院名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>阪神</td> <td>尼崎総合医療センター、西宮病院</td> </tr> <tr> <td>東播磨</td> <td>加古川医療センター</td> </tr> <tr> <td>播磨姫路</td> <td>姫路循環器病センター</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>丹波医療センター</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>淡路医療センター</td> </tr> </tbody> </table> <p>○県保健医療計画（H30.4）に記載している糖尿病の慢性合併症治療の機能を有する病院</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 蛍光眼底造影検査、光凝固療法、硝子体出血、網膜剥離の手術が全て実施可能</li> <li>② 腎生検、腎臓超音波検査、人工透析等が全て実施可能（糖尿病腎症）</li> <li>③ 神経伝達速度検査が実施可能（糖尿病神経障害）</li> </ol> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>圏域</th> <th>上記条件の全てを満たしている病院名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>阪神</td> <td>尼崎総合医療センター、西宮病院</td> </tr> <tr> <td>播磨姫路</td> <td>姫路循環器病センター</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>丹波医療センター</td> </tr> </tbody> </table> <p>○専門看護師・認定看護師の状況</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>圏域</th> <th>病院別人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専門</td> <td>慢性疾患 加古川(1)</td> </tr> <tr> <td>認定</td> <td>糖尿病 尼崎(1)、こども(1)、姫路(1)</td> </tr> </tbody> </table>	圏域	上記条件の全てを満たしている病院名	阪神	尼崎総合医療センター、西宮病院	東播磨	加古川医療センター	播磨姫路	姫路循環器病センター	圏域	上記条件の全てを満たしている病院名	阪神	尼崎総合医療センター、西宮病院	東播磨	加古川医療センター	播磨姫路	姫路循環器病センター	丹波	丹波医療センター	淡路	淡路医療センター	圏域	上記条件の全てを満たしている病院名	阪神	尼崎総合医療センター、西宮病院	播磨姫路	姫路循環器病センター	丹波	丹波医療センター	圏域	病院別人数	専門	慢性疾患 加古川(1)	認定	糖尿病 尼崎(1)、こども(1)、姫路(1)	
区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画																																																																																																																										
総合	尼崎	349	275	259	227	240																																																																																																																										
	西宮	221	238	216	220	220																																																																																																																										
	加古川	131	155	103	68	80																																																																																																																										
	淡路	19	22	27	11	15																																																																																																																										
専門	姫路	168	117	124	115	112																																																																																																																										
計		888	807	729	641	671																																																																																																																										
区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画																																																																																																																										
総合	尼崎	273	210	195	162	175																																																																																																																										
	西宮	181	185	176	175	175																																																																																																																										
	加古川	108	117	152	34	57																																																																																																																										
	淡路	7	8	9	1	5																																																																																																																										
専門	姫路	163	110	122	75	110																																																																																																																										
計		732	630	654	447	522																																																																																																																										
圏域	上記条件の全てを満たしている病院名																																																																																																																															
阪神	尼崎総合医療センター、西宮病院																																																																																																																															
東播磨	加古川医療センター																																																																																																																															
播磨姫路	姫路循環器病センター																																																																																																																															
圏域	上記条件の全てを満たしている病院名																																																																																																																															
阪神	尼崎総合医療センター、西宮病院																																																																																																																															
東播磨	加古川医療センター																																																																																																																															
播磨姫路	姫路循環器病センター																																																																																																																															
丹波	丹波医療センター																																																																																																																															
淡路	淡路医療センター																																																																																																																															
圏域	上記条件の全てを満たしている病院名																																																																																																																															
阪神	尼崎総合医療センター、西宮病院																																																																																																																															
播磨姫路	姫路循環器病センター																																																																																																																															
丹波	丹波医療センター																																																																																																																															
圏域	病院別人数																																																																																																																															
専門	慢性疾患 加古川(1)																																																																																																																															
認定	糖尿病 尼崎(1)、こども(1)、姫路(1)																																																																																																																															

I より良質な医療の提供

項目1 診療機能の高度化 (4) 精神医療

- 基本方向  
 ひょうごこころの医療センターは、民間病院等では対応が困難な急性期の患者等に対し、専門医療を提供するとともに、他の県立病院と連携した身体合併症患者への対応強化等を推進する。
- 取組内容
- ひょうごこころの医療センターは、精神科医療の全県拠点病院として、児童思春期精神疾患、3次救急医療、アルコール依存症等の専門治療を充実する。
    - 精神科の急性期医療、3次救急医療及びアルコール依存症等に対する専門的治療を引き続き提供するとともに、児童思春期センター（愛称：ひかりの森）と地域の保健福祉関係機関等の連携を推進する。
    - 長期入院患者等の地域移行や精神病床の機能分化が進められる中、地域移行の促進に向けたアウトリーチ（訪問支援）の充実を図るとともに、他の県立病院と連携した身体合併症患者への対応強化等を推進する。
    - 認知症関連行動障害を有する患者の早期鑑別・早期治療や身体合併症への対応を充実するとともに、医療観察法により入院決定を受けた心神喪失患者に対する医療の提供を検討する。
  - 尼崎総合医療センターは、ひょうごこころの医療センター等との連携により、精神科専門医、救急医等関係診療科医が協力して身体合併症を有する精神疾患患者へ適切に対応する。
  - 淡路医療センターは、地域の実情等を踏まえ精神科医療を提供する。
  - 統合再編後のはりま姫路総合医療センター（仮称）は、外傷等の身体合併症を持つ精神疾患患者に適切な対応を行う。
  - 認知症疾患医療センター指定を受けた各病院は、認知症の鑑別診断を行うとともに、圏域の中核となって医療機関等を対象とした研修や症例検討会を開催し、医療連携を推進する。

実施計画	参考：現況（R3年2月の状況等）	備考																																														
<p><b>【目標】</b>                      ひょうごこころの医療センターにおいて、児童思春期精神疾患、3次救急医療、アルコール依存症等の専門医療を充実するとともに長期入院患者等の退院促進を図る。                      また、認知症疾患医療センター設置病院は鑑別診断を適切に行う。</p>																																																
<p><b>【取組項目】</b></p> <p>1 新規入院患者数 <span style="float:right">(単位：人)</span></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>H29実績</th> <th>H30実績</th> <th>R1実績</th> <th>R2見込</th> <th>R3計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">総合</td> <td>尼崎</td> <td>44</td> <td>48</td> <td>29</td> <td>31</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>186</td> <td>156</td> <td>100</td> <td>93</td> <td>96</td> </tr> <tr> <td>専門</td> <td>こころ</td> <td>1,057</td> <td>985</td> <td>792</td> <td>603</td> <td>800</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>1,287</td> <td>1,189</td> <td>921</td> <td>727</td> <td>927</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画	総合	尼崎	44	48	29	31	31	淡路	186	156	100	93	96	専門	こころ	1,057	985	792	603	800	計		1,287	1,189	921	727	927	<p>○専門看護師・認定看護師の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>病院別人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専門</td> <td>精神</td> <td>尼崎(1)、淡路(1)、姫路(1)</td> </tr> <tr> <td>認定</td> <td>認知症</td> <td>尼崎(1)、丹波(1)、こころ(1)、がん(1)</td> </tr> <tr> <td>日本精神科看護協会認定</td> <td>精神科看護</td> <td>こころ(6)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※姫路の精神の専門看護師は週1日勤務</p>	区分		病院別人数	専門	精神	尼崎(1)、淡路(1)、姫路(1)	認定	認知症	尼崎(1)、丹波(1)、こころ(1)、がん(1)	日本精神科看護協会認定	精神科看護	こころ(6)	
区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画																																										
総合	尼崎	44	48	29	31	31																																										
	淡路	186	156	100	93	96																																										
専門	こころ	1,057	985	792	603	800																																										
計		1,287	1,189	921	727	927																																										
区分		病院別人数																																														
専門	精神	尼崎(1)、淡路(1)、姫路(1)																																														
認定	認知症	尼崎(1)、丹波(1)、こころ(1)、がん(1)																																														
日本精神科看護協会認定	精神科看護	こころ(6)																																														
<p>2 ひょうごこころの医療センターの取組</p> <p>(1) 児童思春期センターの円滑な運営（入院患者数） <span style="float:right">(単位：人)</span></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>H29実績</th> <th>H30実績</th> <th>R1実績</th> <th>R2見込</th> <th>R3計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専門</td> <td>こころ</td> <td>17,604</td> <td>17,218</td> <td>15,422</td> <td>11,213</td> <td>15,000</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画	専門	こころ	17,604	17,218	15,422	11,213	15,000	<p>○認知症疾患医療センター設置病院（指定日）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・尼崎総合医療センター（H30.10.1）</li> <li>・淡路医療センター（H21.4.1）</li> <li>・ひょうごこころの医療センター（H29.1.1）</li> <li>・姫路循環器病センター（H23.7.1）</li> <li>・リハビリテーション西播磨病院（H21.11.1）</li> </ul>																																	
区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画																																										
専門	こころ	17,604	17,218	15,422	11,213	15,000																																										
<p>(2) 精神科救急医療センターの充実強化</p> <p>・救急医療センター入院患者数 <span style="float:right">(単位：人)</span></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>H29実績</th> <th>H30実績</th> <th>R1実績</th> <th>R2見込</th> <th>R3計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専門</td> <td>こころ</td> <td>484</td> <td>404</td> <td>338</td> <td>203</td> <td>340</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画	専門	こころ	484	404	338	203	340																																		
区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画																																										
専門	こころ	484	404	338	203	340																																										
<p>・精神科救急医療システムからの入院患者数 <span style="float:right">(単位：件)</span></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>H29実績</th> <th>H30実績</th> <th>R1実績</th> <th>R2見込</th> <th>R3計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専門</td> <td>こころ</td> <td>73</td> <td>63</td> <td>61</td> <td>47</td> <td>60</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画	専門	こころ	73	63	61	47	60																																		
区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画																																										
専門	こころ	73	63	61	47	60																																										
<p>(3) 退院支援の実施</p> <p>① 地域移行の推進による退院支援の強化 <span style="float:right">(単位：件、回)</span></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>区分</th> <th>H29実績</th> <th>H30実績</th> <th>R1実績</th> <th>R2見込</th> <th>R3計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">専門</td> <td rowspan="3">こころ</td> <td>入院時の業務</td> <td>2,038</td> <td>2,283</td> <td>1,352</td> <td>1,630</td> <td>1,630</td> </tr> <tr> <td>退院支援委員会の開催回数</td> <td>133</td> <td>106</td> <td>162</td> <td>180</td> <td>180</td> </tr> <tr> <td>退院調整に関する業務回数</td> <td>9,280</td> <td>10,942</td> <td>11,207</td> <td>47,200</td> <td>42,480</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	区分	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画	専門	こころ	入院時の業務	2,038	2,283	1,352	1,630	1,630	退院支援委員会の開催回数	133	106	162	180	180	退院調整に関する業務回数	9,280	10,942	11,207	47,200	42,480																				
区分	病院名	区分	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画																																									
専門	こころ	入院時の業務	2,038	2,283	1,352	1,630	1,630																																									
		退院支援委員会の開催回数	133	106	162	180	180																																									
		退院調整に関する業務回数	9,280	10,942	11,207	47,200	42,480																																									

実施計画

参考：現況（R3年2月の状況等）

備考

② 心理教育の実施

(単位：回、人)

区分	病院名	区分	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画
専門	こころ	心理教育	197	253	238	246	236
		患者延参加数	2,076	1,162	1,082	1,142	1,140

③ 作業所・救護施設の利用を促進するための退院前訪問・同行の実施

(単位：回)

区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画
専門	こころ	756	715	654	580	630

④ 相談員による面接・電話調整

(単位：件)

区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画
専門	こころ	28,543	34,439	32,022	45,300	40,700

⑤ 訪問看護の実施

(単位：人)

区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画
専門	こころ	3,509	3,180	3,113	3,260	3,260

(4) アルコール依存症医療の充実

・入院患者数

(単位：人/日)

区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画
専門	こころ	35.5	34.6	31.4	20.6	40

・外来アルコール依存症プログラムの実施

(単位：人)

区分	病院名	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画
専門	こころ	—	30	282	288

(5) 外来機能の充実強化

・外来患者数

(単位：人)

区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画
専門	こころ	50,720	51,544	51,122	51,719	52,555

(6) 障害児リハビリテーションの実施

(単位：件)

区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画
専門	こころ	2,131	2,182	1,740	1,536	1,700

3 認知症鑑別診断のための診察件数

(単位：件（延件数）)

区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画
総合	尼崎	87	109	160	186	186
	淡路	322	352	271	261	270
専門	こころ	407	662	1,111	1,080	1,100
	姫路	637	666	588	530	529
	リハ西	1,170	1,157	1,122	1,122	1,122
計		2,623	2,946	3,252	3,179	3,207

※神戸市へは、R1以降は鑑別診断の件数を報告(公表)している。(参考 R1 報告件数：218 件)

I より良質な医療の提供

項目1 診療機能の高度化 (5) 救急・災害医療

○ 基本方向

県民が急傷病時に安心して診療を受けることができるよう、「兵庫県保健医療計画」で定められた各病院の役割を踏まえ、災害医療センターを中心に、2次、3次の救急医療の充実を図っていく。  
また、災害時にも県民の求める医療を適切に提供できるようハード、ソフトの両面から機能充実を図り、県立病院全体の強靱化を進める。

○ 取組内容

1 救急医療

- (1) 災害医療センターは、高度救命救急センターとして、高度救命救急医療を提供するとともに救急医療の従事者に対する研修等を行う。
- (2) 尼崎総合医療センターの救命救急センターにおいて、24時間365日断ることなく救急患者に対応するER型救急医療の提供を行う。
- (3) 加古川医療センターは、救命救急センターとして、3次救急医療を提供するとともに、ドクターヘリを活用した迅速な患者受け入れを行う。
- (4) 西宮病院、淡路医療センター、姫路循環器病センターは、救命救急センターとして、3次救急医療を提供する。
- (5) 統合再編後のはりま姫路総合医療センター（仮称）は、新たに総合的な診療機能を活かした3次救急医療を提供するなど救急医療を充実するとともに、加古川医療センターと連携した兵庫県ドクターヘリを運航する。
- (6) 柏原病院（丹波医療センター）は、圏域の救急医療の中核病院として、2次を中心に、3次的機能病院としての役割を果たす。

2 災害医療

- (1) 災害拠点病院の機能強化や人材育成を引き続き推進する。
- (2) 災害医療センターは、基幹災害拠点病院として、大規模災害に備えるとともに、災害医療の従事者に対する研修等を行う。
- (3) すべての県立病院は業務継続計画（BCP）等に基づき、災害発生時には速やかに必要な医療の提供を行う。
- (4) 兵庫DMA T指定病院、DPAT登録医療機関は、災害発生時に県からの要請に基づき必要な医療チームの派遣を行う。

実施計画

参考：現況（R3年2月の状況等）

備考

〔目標〕  
救命救急センターや二次救急輪番病院については、地域の医療機関や消防機関と連携して、圏域の救急医療を確保する。  
災害医療センターにおいては、兵庫県全域の救急・災害医療の教育拠点としての役割も担う。

〔取組項目〕

1 救急医療

(1) 救急車搬送患者数

(単位：人)

区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画
総合	尼崎	11,203	11,789	11,477	9,016	10,438
	西宮	4,047	4,324	3,946	3,282	3,610
	加古川	2,047	2,512	2,595	981	1,990
	(ドクヘリ搬送)	(486)	(425)	(449)	(370)	(398)
	丹波	1,628	1,757	2,149	2,000	2,300
	淡路	3,526	3,577	3,225	2,800	3,000
専門	姫路	2,685	2,527	2,499	2,292	2,249
	災害	968	918	963	1,125	1,125
計		26,104	27,404	26,854	21,496	24,712

(2) うち重篤患者数（高度救命救急センター及び救命救急センター）

(単位：人)

区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画
総合	尼崎	1,434	2,547	1,837	1,430	1,634
	西宮	982	788	919	840	840
	加古川	643	531	587	576	579
	淡路	749	748	623	400	600
専門	姫路	1,011	1,042	1,199	916	1,079
	災害	812	716	890	950	950
計		5,631	6,372	6,055	5,112	5,682

1 救急医療

○救急医療における県立病院の役割

区分	病院名	
3次救急	高度救命救急センター	災害医療センター
	救命救急センター	尼崎総合医療センター
		西宮病院
		加古川医療センター
		淡路医療センター
姫路循環器病センター		
3次的機能病院	丹波医療センター	
2次救急	2次輪番病院	西宮病院
		加古川医療センター
		丹波医療センター

○認定看護師の状況

区分	病院別人数
認定 救急	尼崎(2)、西宮(1)、加古川(1)、淡路(1)、姫路(1)

実施計画

(3) ドクターカー出動件数

(単位：件)

区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画
総合	尼崎	469	376	353	174	270
	西宮	588	805	667	600	630
	加古川	108	107	73	36	49
	淡路	42	85	30	15	30
専門	こども	191	210	157	123	143
	災害	334	279	264	306	306
計		1,732	1,862	1,544	1,254	1,428

(4) 高度救命救急センターとして、県下救急隊に研修等を行い、連携強化に努める。(災害)

(単位：回)

区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画
専門	災害	151	145	136	140	142

2 災害医療

(1) 広域災害訓練等の開催・参加回数

(単位：回(延回数))

区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画
災害拠点病院	尼崎	3	4	4	0	1
	西宮	4	8	5	3	3
	加古川	5	7	5	1	2
	丹波	4	4	3	1	1
	淡路	3	3	3	3	3
	姫路	7	3	7	1	6
	災害	3	3	6	5	5
その他	こころ	1	0	1	0	1
	こども	1	0	0	0	1
	がん	2	2	2	2	3
	粒子線	1	2	2	2	2
	神戸陽子	—	0	1	1	1
	リハ中	3	3	3	3	3
	リハ西	4	2	2	2	2
計		41	41	44	25	34

(2) 災害医療従事者の人材育成(災害)

・DMAT 隊員養成研修実施回数及び参加者数

(単位：回、人)

区分	病院名	項目	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画
専門	災害	実施回数	9	9	9	4	9
		参加者数	507	507	503	89	225

(3) 災害時の迅速かつ適切な医療活動支援につなげるための広域災害・救急医療情報システム(EMIS)を用いた情報収集訓練の実施

・訓練実施回数

(単位：回)

区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画
専門	災害	41	37	27	12	27

(新) (4) 遠隔画像診断ネットワークの構築(実施病院：西宮、加古川、丹波、淡路、こころ、こども、がん)

県立病院間の遠隔画像診断ネットワークを構築し、休日・夜間帯における救急患者等への的確な医療の提供や、医師の働き方改革等を推進

参考：現況(R3年2月の状況等)

備考

○ドクターヘリの運航体制(加古川医療センター)

区分	内容
基地病院	加古川医療センター
駐機日	毎週木～月曜日
運航に係る人員配置	フライトドクター：9名 フライトナース：9名
要請件数 (うち出動件数) ※加古川医療センターの 件数のみ記載	平成27年度：482件(425件) 平成28年度：540件(464件) 平成29年度：564件(501件) 平成30年度：510件(438件) 令和元年度：559件(431件) 令和2年度(R3.2末時点)： ：452件(340件)
準基地病院	製鉄記念広畑病院
駐機日	毎週火、水曜日

2 災害医療

○県立病院における災害医療の役割

区分	病院名	
基幹災害拠点病院	災害医療センター	
災害拠点病院	阪神	尼崎総合医療センター 西宮病院
	東播磨	加古川医療センター
	播磨姫路	姫路循環器病センター
	丹波	丹波医療センター
	淡路	淡路医療センター

○平成28年度に災害時等職員行動マニュアルに受援計画を盛り込み作成

○全県立病院においてBCPを策定済み

区分	病院名	策定時期
総合	尼崎	平成30年11月
	西宮	平成31年1月
	加古川	平成30年11月
	丹波	平成31年1月
	淡路	平成31年3月
専門	こころ	令和2年3月
	こども	令和2年12月
	がん	令和2年12月
	姫路	平成31年1月
	粒子線	令和2年1月
	神戸陽子	令和2年5月
	災害	平成30年12月
リハ中	令和元年5月	
リハ西	令和2年8月	

I より良質な医療の提供

項目1 診療機能の高度化 (6) 小児・周産期医療

○ 基本方向

小児医療及び周産期医療については、「兵庫県保健医療計画」で定められた各病院の役割を踏まえ高度専門医療を提供する。

○ 取組内容

1 小児医療

- (1) 尼崎総合医療センター及びこども病院は、小児救命救急センターとして、適切な医療を提供する。
- (2) 西宮病院、淡路医療センター、柏原病院（丹波医療センター）は、小児の2次救急医療等を提供する。
- (3) こども病院は、神戸市立医療センター中央市民病院等との連携のもと、循環器疾患等のキャリアオーバー患者に対する適切な医療を提供する。

2 周産期医療

- (1) 総合周産期母子医療センターに指定されている尼崎総合医療センター及びこども病院を中心に、地域医療機関との連携を行い、周産期医療の充実を図る。
- (2) 西宮病院、淡路医療センターは、地域周産期母子医療センターとして医療を提供する。
- (3) 統合再編後の丹波医療センターは、近隣の周産期母子医療センター等と連携した医療を提供しながら、周産期医療の充実に努める。
- (4) 統合再編するはりま姫路総合医療センター（仮称）は、総合周産期母子医療センターを補完するために必要な機能を整備する。

実施計画

参考：現況（R3年2月の状況等）

備考

〔目標〕

小児救命救急センター及び小児中核病院である尼崎総合医療センター及びこども病院を中心として、小児救急医療を提供する。  
総合周産期母子医療センター、地域周産期母子医療センターは、地域の産科医療機関や消防機関と連携して、役割に応じた周産期医療を適切に提供する。

〔取組項目〕

1 小児医療

- ・小児の救急車搬送患者数

(単位：人)

区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画
総合	尼崎	2,473	2,960	3,037	1,858	2,421
	西宮	437	437	397	330	360
	丹波	205	260	268	129	154
	淡路	165	181	150	80	150
専門	こども	1,812	1,932	1,727	1,167	1,300
計		5,092	5,770	5,579	3,564	4,385

2 周産期医療

- (1) ハイリスク妊婦数

(単位：人)

区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画
総合	尼崎	143	170	172	168	172
	西宮	205	160	151	120	128
	淡路	55	38	42	43	40
専門	こども	150	103	124	158	160
計		553	471	489	489	500

- (2) 母胎搬送受入数

(単位：人)

区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画
総合	尼崎	129	106	93	96	96
	西宮	124	115	97	80	84
	淡路	4	4	4	3	4
専門	こども	109	40	84	107	100
計		366	265	278	286	284

○小児救急医療における県立病院の役割

区分	病院名
3次救急	小児救命救急センター
	小児中核病院(A)
2次救急	小児地域医療センター(B)
	病院群輪番病院
	丹波医療センター

(A)：高度専門的な小児医療を実施し、小児救命救急医療を24時間365日体制で実施

(B)：小児専門医療を実施し、24時間365日小児救急への対応が可能

○周産期医療における県立病院の位置づけ

区分	病院名
総合周産期母子医療センター(A)	尼崎総合医療センター こども病院
地域周産期母子医療センター(B)	西宮病院 淡路医療センター
協力病院(C)	丹波医療センター

(A)：周産期に関する高度かつ専門的な医療提供  
(MFIICU：6床以上、NICU：9床以上)

(B)：比較的高度の医療提供、地域における周産期医療施設との連絡調整等

(C)：地域周産期母子医療センターと協力して、ハイリスク妊婦又はハイリスク新生児の診療等

実施計画

参考：現況（R3年2月の状況等）

備考

(3) 2,500g未満の新生児実入院患者数

(単位：人)

区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画
総合	尼崎	179	240	196	197	197
	西宮	128	119	117	110	120
	淡路	60	46	33	40	40
専門	こども	200	188	191	222	220
計		567	593	537	569	577

(4) 新生児の搬送受入総数

(単位：人)

区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画
総合	尼崎	74	70	65	75	75
	西宮	47	65	50	33	40
	淡路	2	4	3	3	4
専門	こども	161	176	201	179	180
計		284	315	319	290	299

○専門看護師、認定看護師の状況

区分		病院別人数
専門	小児看護	尼崎(2)、こども(3)
	母性看護	西宮(1)
認定	新生児集中ケア	尼崎(2)、こども(3)
	小児救急	尼崎(2)、こども(2)

I より良質な医療の提供

項目1 診療機能の高度化 (7) リハビリテーション医療

○ 基本方向

リハビリテーション中央病院及びリハビリテーション西播磨病院においては、全県の中核施設として、安全で質の高い先導的なリハビリテーション医療を追求するとともに、各地域におけるリハビリテーション関係機関と連携し、地域と結びついた一貫したリハビリテーション提供体制の充実を図る。

○ 取組内容

- 1 リハビリテーション中央病院は、ロボットリハビリテーションを推進するとともに、リハビリテーション西播磨病院は、神経難病リハビリテーションを更に充実する。
- 2 急性期病院において、治療後の早期機能回復を図るため、リハビリテーションの充実を図るとともに、「地域連携パス」等により近隣病院との連携を強化する。
- 3 がんセンター等は、がんリハビリの充実に取り組み、術後早期の機能回復を図る。

実施計画	参考：現況（R3年2月の状況等）	備考																																																																																										
<p><b>〔目標〕</b>                      全県の中核施設として、リハビリテーション中央病院において、ロボットリハビリテーションを推進し、また、リハビリテーション西播磨病院において神経難病リハビリテーションを適切に提供する。                      また、急性期病院において、早期機能回復を図るため、リハビリテーションの充実を図る。</p>																																																																																												
<p><b>〔取組項目〕</b>                      1 リハビリテーション中央病院の取組                      (1) ロボット機器を用いたリハビリテーションの臨床応用（脊髄損傷、四肢切断、脳卒中等）                      ・実施患者数                      (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>H29実績</th> <th>H30実績</th> <th>R1実績</th> <th>R2見込</th> <th>R3計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専門</td> <td>リハ中</td> <td>39</td> <td>35</td> <td>76</td> <td>57</td> <td>57</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 回復期リハビリテーション病棟入院料1の施設基準の維持                      (単位：%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>項目</th> <th>H30実績</th> <th>R1実績</th> <th>R2見込</th> <th>R3計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">専門</td> <td rowspan="3">リハ中</td> <td>在宅復帰率 (基準：70.0%以上)</td> <td>93.6</td> <td>90.4</td> <td>94.0</td> <td>94.0</td> </tr> <tr> <td>日常生活機能評価10点以上 又はFIM総得点55点以下 (基準30.0%以上)</td> <td>40.5</td> <td>49.0</td> <td>46.0</td> <td>46.0</td> </tr> <tr> <td>日常生活機能評価4点以上 又はFIM総得点16点以上改善 (基準30.0%以上)</td> <td>77.5</td> <td>82.9</td> <td>89.1</td> <td>89.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 人工関節センターにおける人工関節置換術件数                      (単位：件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>H29実績</th> <th>H30実績</th> <th>R1実績</th> <th>R2見込</th> <th>R3計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専門</td> <td>リハ中</td> <td>298</td> <td>264</td> <td>302</td> <td>198</td> <td>250</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 患者1人1日実施単位数の拡大                      (単位：単位)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>項目</th> <th>H29実績</th> <th>H30実績</th> <th>R1実績</th> <th>R2見込</th> <th>R3計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">専門</td> <td rowspan="3">リハ中</td> <td>一般(手術)</td> <td>2.2</td> <td>2.2</td> <td>2.0</td> <td>2.6</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>障害者</td> <td>3.6</td> <td>3.4</td> <td>4.4</td> <td>4.7</td> <td>4.4</td> </tr> <tr> <td>回復期</td> <td>5.6</td> <td>5.5</td> <td>5.5</td> <td>5.9</td> <td>5.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(新) (5) スポーツ医学診療センターの開設 (R3.4)                      (単位：人(延人数))</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>項目</th> <th>R3計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">専門</td> <td rowspan="2">リハ中</td> <td>入院患者</td> <td>2,867</td> </tr> <tr> <td>外来患者</td> <td>134</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画	専門	リハ中	39	35	76	57	57	区分	病院名	項目	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画	専門	リハ中	在宅復帰率 (基準：70.0%以上)	93.6	90.4	94.0	94.0	日常生活機能評価10点以上 又はFIM総得点55点以下 (基準30.0%以上)	40.5	49.0	46.0	46.0	日常生活機能評価4点以上 又はFIM総得点16点以上改善 (基準30.0%以上)	77.5	82.9	89.1	89.1	区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画	専門	リハ中	298	264	302	198	250	区分	病院名	項目	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画	専門	リハ中	一般(手術)	2.2	2.2	2.0	2.6	2.0	障害者	3.6	3.4	4.4	4.7	4.4	回復期	5.6	5.5	5.5	5.9	5.5	区分	病院名	項目	R3計画	専門	リハ中	入院患者	2,867	外来患者	134		<p>※FIM(Functional Independence Measure)：日常生活の自立度を測る評価法。運動に関する13項目と認知に関する5項目で構成され、自立度が高いほど点数が高くなる。</p>
区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画																																																																																						
専門	リハ中	39	35	76	57	57																																																																																						
区分	病院名	項目	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画																																																																																						
専門	リハ中	在宅復帰率 (基準：70.0%以上)	93.6	90.4	94.0	94.0																																																																																						
		日常生活機能評価10点以上 又はFIM総得点55点以下 (基準30.0%以上)	40.5	49.0	46.0	46.0																																																																																						
		日常生活機能評価4点以上 又はFIM総得点16点以上改善 (基準30.0%以上)	77.5	82.9	89.1	89.1																																																																																						
区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画																																																																																						
専門	リハ中	298	264	302	198	250																																																																																						
区分	病院名	項目	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画																																																																																					
専門	リハ中	一般(手術)	2.2	2.2	2.0	2.6	2.0																																																																																					
		障害者	3.6	3.4	4.4	4.7	4.4																																																																																					
		回復期	5.6	5.5	5.5	5.9	5.5																																																																																					
区分	病院名	項目	R3計画																																																																																									
専門	リハ中	入院患者	2,867																																																																																									
		外来患者	134																																																																																									

実施計画

参考：現況（R3年2月の状況等）

備考

2 リハビリテーション西播磨病院の取組

(1) 回復期リハビリテーション1の施設基準維持

(単位：%)

区分	病院名	項目	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画
専門	リハ西	在宅復帰率 (基準：70.0%以上)	80.0	79.7	86.9	86.9	86.9
		日常生活機能評価10点以上 又はFIM総得点55点以下 (基準30.0%以上)	34.3	32.7	31.6	31.6	31.6
		リハビリテーション実績指数 (基準40.0%以上)	17.9	46.2	48.2	48.2	48.2
		日常生活機能評価4点以上 又はFIM総得点16点以上改善 (基準30.0%以上)	53.5	54.1	47.5	47.5	47.5

(2) 病床利用率及び1日あたり外来患者数の安定的確保及び更なる向上

- ①摂食嚥下支援センターの本格稼働による入院及び外来患者数の増加
- ②病床利用率及び1日あたり外来患者数

(単位：%、人)

区分	病院名	項目	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画
専門	リハ西	病床利用率	95.8	94.9	95.2	88.1	95.2
		外来患者数	43.4	44.1	44.0	39.4	46.0

3 急性期病院の取組

・リハビリテーション実施単位の向上

(単位)

区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画
総合	尼崎	123,383	130,388	121,579	123,460	123,460
	西宮	55,283	63,140	65,296	68,241	68,241
	加古川	49,420	49,821	51,226	37,907	42,900
	丹波	17,121	23,736	35,338	44,000	48,500
	淡路	58,497	58,506	63,145	59,778	64,000
専門	こども	16,812	17,905	16,617	17,837	18,000
	がん	17,146	21,356	20,568	22,440	21,680
	姫路	57,348	52,197	53,369	63,756	57,380
計		395,010	417,049	427,138	437,419	444,161

I より良質な医療の提供

項目1 診療機能の高度化 (8) その他の政策医療

○ 基本方向  
「兵庫県保健医療計画」に定められた各病院の役割を踏まえ、結核・感染症医療、アレルギー疾患医療、難病医療等を提供する。

○ 取組内容

1 結核・感染症医療  
(1) エイズ治療拠点病院において高度専門医療を提供するほか、エイズ診療協力病院においても機能に応じた医療を提供する。  
(2) 兵庫県新型コロナウイルス等対策行動計画に基づき、尼崎総合医療センター、西宮病院、加古川医療センター、淡路医療センター、柏原病院（丹波医療センター）は患者の受入れ体制を整備する。  
(3) 加古川医療センターは、第一種感染症病床及び第二種感染症病床を、尼崎総合医療センター、淡路医療センターにおいては、第二種感染症病床を確保し、新興感染症等に対する医療を提供する。  
(4) 統合再編後の丹波医療センターは第二種感染症病床を設置し、新興感染症等に対する医療を提供する。  
(5) 淡路医療センターは、引き続き結核医療及び精神疾患と結核の合併症患者への医療を提供する。

2 アレルギー疾患医療  
(1) 県アレルギー疾患医療拠点病院であるこども病院は、診断が困難な疾患や標準的治療では病態が安定化しない重症及び難治性アレルギー疾患患者に対し、関係する複数の診療科が連携し、診断、治療、管理を行う。  
(2) アレルギー科やアレルギー外来を設置している病院において、適切な医療を提供する。

3 難病医療  
専門医を配置するなど、難病医療の拠点病院・協力病院として必要な機能を整備し、入院治療が必要な重症難病患者に対して、適切な医療を提供する。

4 透析医療  
透析患者に対し、良質で安全な医療を提供する。

5 臓器移植  
西宮病院等は、臓器移植を必要とする患者に、適切に臓器の提供及び移植の実施ができるよう体制の充実を図る。

6 造血幹細胞移植（骨髄移植、さい帯血移植）  
(1) 化学療法等では治癒しない白血病や重症再生不良性貧血等の患者に対して骨髄移植の機会を確保するため、尼崎総合医療センター、西宮病院、こども病院、がんセンターは、引き続き骨髄移植を実施する。  
(2) さい帯血移植は、提供者に身体的負担をかけないことなどから、移植の推進に協力する。

7 へき地医療  
(1) 淡路医療センター及び柏原病院（丹波医療センター）は、へき地医療拠点病院としての役割を果たす。  
(2) 統合再編後の丹波医療センターは、引き続きへき地医療拠点病院として、医師を育成するとともに、へき地診療所等へ医師を派遣する。  
(3) 統合再編後のはりま姫路総合医療センター（仮称）は、製鉄記念広畑病院のへき地医療拠点病院としての機能を継承する。

8 性差医療  
尼崎総合医療センター及び淡路医療センターは、引き続き女性総合外来を実施する。

実施計画	参考：現況（R3年2月の状況等）	備考																																																												
<p>〔目標〕 結核・感染症医療やアレルギー疾患医療、透析医療等の政策医療について、各病院の役割に応じて適切な医療を提供する。</p> <p>〔取組項目〕</p> <p>1 結核・感染症医療 (1) 第一種感染症指定医療機関（加古川医療センター） ① 新型コロナウイルスを想定した診療訓練を実施する等、感染症に対する専門医療の提供体制を整備する。 ② 専門医の勤務状況（週1日） 院内感染症外来・ICTミーティング・院内ラウンド（広域抗菌薬ラウンド、血培ラウンド、環境ラウンド）を実施する。 (2) 第二種感染症指定機関（尼崎総合医療センター、加古川医療センター、丹波医療センター、淡路医療センター）ほか ① 平時から新型コロナウイルスを想定した診療訓練を実施する等、患者の受入体制を整備するとともに、発生時においては、「兵庫県新型コロナウイルス対策行動計画」に基づき、入院患者の受入れや外来診療への協力など、適切な医療を提供する。 ② 新型コロナウイルス感染症対策では、感染症指定医療機関を中心に感染患者の積極的な受入に全力で取り組む。</p> <p>2 アレルギー疾患医療 ・アレルギー専門外来の患者数 (単位：人（延人数）)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>H29実績</th> <th>H30実績</th> <th>R1実績</th> <th>R2見込</th> <th>R3計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">総合</td> <td>尼崎</td> <td>2,319</td> <td>1,965</td> <td>1,850</td> <td>587</td> <td>1,179</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>442</td> <td>676</td> <td>584</td> <td>462</td> <td>520</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>1,473</td> <td>1,488</td> <td>1,308</td> <td>1,250</td> <td>1,271</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>840</td> <td>1,027</td> <td>949</td> <td>867</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td>専門</td> <td>こども</td> <td>1,267</td> <td>1,492</td> <td>3,253</td> <td>3,470</td> <td>3,500</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>6,341</td> <td>6,648</td> <td>7,944</td> <td>6,636</td> <td>7,470</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画	総合	尼崎	2,319	1,965	1,850	587	1,179	西宮	442	676	584	462	520	加古川	1,473	1,488	1,308	1,250	1,271	丹波	840	1,027	949	867	1,000	専門	こども	1,267	1,492	3,253	3,470	3,500	計		6,341	6,648	7,944	6,636	7,470	<p>○エイズ医療における県立病院の役割</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エイズ治療拠点病院</td> <td>尼崎総合医療センター 加古川医療センター 淡路医療センター</td> </tr> </tbody> </table> <p>○感染症医療機関の指定状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第一種感染症指定医療機関</td> <td>加古川医療センター（2床）</td> </tr> <tr> <td>第二種感染症指定医療機関</td> <td>尼崎総合医療センター（8床） 加古川医療センター（6床） 丹波医療センター（4床） 淡路医療センター（4床）</td> </tr> </tbody> </table> <p>○結核病床設置病院：淡路医療センター（15床）</p> <p>○認定看護師の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院別人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定 感染管理</td> <td>尼崎(2)、西宮(1)、加古川(1)、 丹波(1)、淡路(2)、こころ(1)、 こども(2)、がん(1)、姫路(2)</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	エイズ治療拠点病院	尼崎総合医療センター 加古川医療センター 淡路医療センター	区分	病院名	第一種感染症指定医療機関	加古川医療センター（2床）	第二種感染症指定医療機関	尼崎総合医療センター（8床） 加古川医療センター（6床） 丹波医療センター（4床） 淡路医療センター（4床）	区分	病院別人数	認定 感染管理	尼崎(2)、西宮(1)、加古川(1)、 丹波(1)、淡路(2)、こころ(1)、 こども(2)、がん(1)、姫路(2)	
区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画																																																								
総合	尼崎	2,319	1,965	1,850	587	1,179																																																								
	西宮	442	676	584	462	520																																																								
	加古川	1,473	1,488	1,308	1,250	1,271																																																								
	丹波	840	1,027	949	867	1,000																																																								
専門	こども	1,267	1,492	3,253	3,470	3,500																																																								
計		6,341	6,648	7,944	6,636	7,470																																																								
区分	病院名																																																													
エイズ治療拠点病院	尼崎総合医療センター 加古川医療センター 淡路医療センター																																																													
区分	病院名																																																													
第一種感染症指定医療機関	加古川医療センター（2床）																																																													
第二種感染症指定医療機関	尼崎総合医療センター（8床） 加古川医療センター（6床） 丹波医療センター（4床） 淡路医療センター（4床）																																																													
区分	病院別人数																																																													
認定 感染管理	尼崎(2)、西宮(1)、加古川(1)、 丹波(1)、淡路(2)、こころ(1)、 こども(2)、がん(1)、姫路(2)																																																													

実施計画

参考：現況（R3年2月の状況等）

備考

3 難病医療

- ・神経難病相談センター及び神経難病リハビリテーションセンター相談件数

(単位：件（延件数）)

区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画
総合	尼崎	4,413	4,705	5,134	5,264	5,264
専門	リハ西	—	258	293	293	293
計		4,413	4,963	5,427	5,557	5,557

4 透析医療

- ・透析の件数

(単位：件（延件数）)

区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画
総合	尼崎	4,310	4,514	4,525	3,894	4,279
	西宮	4,176	4,333	4,215	3,596	4,300
	加古川	15,158	15,421	15,341	14,689	14,933
	丹波	—	—	76	129	129
	淡路	2,223	2,360	2,716	2,000	2,350
計		25,867	26,628	26,873	24,308	25,991

5 臓器移植

- ・腎臓移植の実施件数

(単位：件（延件数）)

区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画
総合	西宮	23	12	13	12	12

6 造血幹細胞移植

- ・骨髄移植の実施件数

(単位：件（延件数）)

区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画
総合	尼崎	7	15	25	37	37
専門	こども	3	9	6	8	8
	がん	11	9	6	2	4
計		21	33	37	47	49

- ・末梢血管細胞移植の実施件数

(単位：件（延件数）)

区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画
総合	尼崎	7	16	10	13	13
専門	西宮	2	1	0	3	2
	こども	9	10	18	16	16
	がん	17	13	11	20	20
計		35	40	39	52	51

- ・さい帯血移植の実施件数

(単位：件（延件数）)

区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画
専門	こども	3	6	5	6	6
	がん	1	4	4	6	6
計		4	10	9	12	12

○県アレルギー疾患医療拠点病院  
こども病院（H30.2.1指定）

○アレルギー科設置病院  
尼崎総合医療センター、こども病院

○アレルギー外来設置病院  
・尼崎総合医療センター（小児アレルギー科）  
・西宮病院（小児科、耳鼻咽喉科）  
・加古川医療センター（皮膚科）  
・丹波医療センター（小児科）  
・こども病院（アレルギー科）

○臓器移植における県立病院の役割

区分	病院名
腎臓移植病院	西宮
臓器提供病院	尼崎、西宮、加古川、淡路、こども、姫路、災害

○骨髄移植実施病院  
・尼崎総合医療センター  
・こども病院  
・がんセンター

○末梢血管細胞移植実施病院  
・尼崎総合医療センター  
・西宮病院  
・こども病院  
・がんセンター

○さい帯血移植病院  
・こども病院  
・がんセンター

○さい帯血提供病院  
西宮病院

7 へき地医療

- ・へき地医療機関への医師派遣の日数

(単位：日 (延日数))

区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画
総合	丹波	46	98	100	100	100
	淡路	24	36	48	36	42
計		70	134	148	136	142

8 性差医療

- ・女性総合外来の件数

(単位：件 (延件数))

区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画
総合	尼崎	333	245	191	78	137
	淡路	1,044	1,161	1,076	982	1,000
計		1,377	1,406	1,267	1,060	1,137

○へき地医療における県立病院の役割

区分	病院名
へき地医療拠点病院	丹波、淡路

○女性総合外来設置病院

- ・尼崎総合医療センター (塚口病院より継承)
- ・淡路医療センター (H16.4開設)

I より良質な医療の提供  
 項目2 統合再編・建替整備

- **基本方向**  
 高度専門・特殊医療をさらに充実するとともに、病院運営の一層の効率化を図るため、病院の統合再編を行う。また、県民に対し良質な医療を提供していくためには、高度専門医療等の医療機能の充実や施設の老朽化、狭隘化等への対応が必要であることから、経営状況及び一般会計の負担を踏まえつつ、計画的な建替整備等を行う。  
 移転跡地については、資産の有効活用を図るため、売却することを基本とする。
- **取組内容**
- 1 **統合再編・建替整備**
- (1) 丹波医療センター（令和元年7月開院）、はりま姫路総合医療センター（仮称）（令和4年度上期開院）の整備を推進する。  
 (2) 西宮病院と西宮市立中央病院について、県市で締結した基本協定に基づき、統合再編整備を推進する。  
 (3) がんセンターは、あり方検討委員会の報告を踏まえ、建替整備等を検討する。  
 (4) 尼崎総合医療センターについて、高度・先進医療の中核医療機関としての今後必要な診療機能の具体化を行い、施設拡充を検討する。
- 2 **跡地利用**
- (1) 柏原病院  
 丹波市新庁舎の検討状況を踏まえ、病院局、丹波市、柏原病院、丹波県民局を構成員とする跡地活用検討会で具体的な利活用を検討する。あわせて、跡地処分に向けた土地の課題解決を図る。  
 (2) 姫路循環器病センター  
 用地所有者である地元姫路市に対して返還に向けて協議を行っていく。  
 (3) 西宮病院  
 県と西宮市で有効活用を検討する。

実施計画	参考：現況（R3年2月の状況等）	備考
<p><b>〔目標〕</b>            はりま姫路総合医療センター（仮称）、西宮病院と西宮市立中央病院の統合再編新病院、がんセンターの建替整備を推進する。</p>		
<p><b>〔取組項目〕</b></p> <p>1 <b>統合再編・建替整備</b></p> <p>(1) はりま姫路総合医療センター（仮称）            ・「県立姫路循環器病センターと製鉄記念広畑病院の統合再編基本計画」（平成29年2月策定）に基づき、建設工事を完了            ・地域医療連携推進法人はりま姫路総合医療センター整備推進機構の運営            (2) 西宮病院と西宮市立中央病院            「兵庫県立西宮病院と西宮市立中央病院の統合再編基本計画」（令和2年2月策定）に基づき、設計を実施            (3) がんセンターの整備            「県立がんセンター建替整備基本計画」（令和3年2月策定）に基づき、設計を実施            (4) 尼崎総合医療センター            患者支援センター棟の建設工事を実施</p> <p>2 <b>跡地利用</b></p> <p>(1) 旧柏原病院            跡地の一部を県社会福祉事業団が活用予定。それ以外の部分については、跡地活用推進検討会で引き続き利活用を検討。            また、建物の解体撤去等を実施            (2) 姫路循環器病センター            用地所有者である地元姫路市に対して返還に向けた協議を適宜実施            (3) 西宮病院            3号棟は西宮市への売却を基本とし、西宮市において活用予定のない本館・2号棟は民間への売却を検討</p>	<p>1 <b>統合再編・建替整備</b></p> <p>(1) はりま姫路総合医療センター（仮称）            平成29年9月～平成31年3月：設計            令和元年度～令和3年11月末：建設工事            (2) 西宮病院と西宮市立中央病院            令和2年2月：基本計画策定            令和2年11月～令和4年7月：設計            (3) がんセンター            令和3年2月：基本計画策定            (4) 尼崎総合医療センター            令和2年6月～令和3年3月：設計            令和3年度～令和4年度：建設工事</p> <p>2 <b>跡地利用</b></p> <p>(1) 旧柏原病院            建物の解体工事を実施。（県社会福祉事業団が福祉施設として跡地の一部を活用することを決定。）            県と市による跡地活用推進検討会（平成30年11月設置）において引き続き跡地利活用を検討中。            (2) 姫路循環器病センター            今後の検討項目であることを姫路市と確認            (3) 西宮病院            「兵庫県立西宮病院と西宮市立中央病院の統合再編基本計画」にて方針を明記</p>	

I より良質な医療の提供

項目3 診療機能の効率化

<p>○ 基本方向</p> <p>医療の標準化を進め医療の質の向上を図るため、DPC分析ソフトの活用等により、クリニカルパスの充実等を行うとともに、地域医療連携と効率化の観点から地域連携クリニカルパス適用の促進を図る。 また、医療機能の高度化やチーム医療の充実等、良質で安全な医療を引き続き提供するため、診療体制の充実を推進する。</p> <p>○ 取組内容</p> <p>1 診療科目等の見直し (1) 疾病構造や医療ニーズの変化等を踏まえ、診療科目の見直しを行う。 (2) 地域における医療提供体制の状況や患者の動向、国の制度改正等を踏まえ、診療科別病床数等の見直しを行う。</p> <p>2 クリニカルパスの充実 5大がんなどの県統一地域連携クリニカルパスの適用を推進するとともに、DPC分析ソフトの活用等により、他病院とのベンチマークを通じたクリニカルパスの充実を図る。</p> <p>3 専門センター制の導入促進 複数の診療科、多職種の協働による専門センター制の導入を推進する。</p> <p>4 チーム医療の推進 多種多様な医療スタッフが各々の高い専門性を活かしつつ連携・補完し、患者の状況に的確に対応した医療を提供するチーム医療を引き続き推進する。</p>
---

実施計画	参考：現況（R3年2月の状況等）	備考																										
<p>〔目標〕</p> <p>診療科目の見直しなど、医療ニーズの変化等に適切に対応するほか、クリニカルパスを活用し、良質な医療を効果的かつ効率的に提供する。 また、専門センター制やチーム医療の推進等により診療体制の充実を図る。</p>																												
<p>〔取組項目〕</p> <p>1 診療科目等の見直し (1) 診療科目の見直し 病院構造や医療ニーズの変化等を踏まえ診療科目の見直しを実施</p> <p>(2) 診療科別病床数の見直し 地域における医療提供体制の状況や患者の動向、国の制度改正等を踏まえ、診療科別病床数の見直しを実施 ・本館4階南病棟にHCU4床設置（姫路）</p> <p>2 クリニカルパスの充実 ・5大がんなどの県統一クリニカルパスの適用を推進 ・使用可能なクリニカルパスの拡充及びクリニカルパス適用率の向上</p> <p>3 専門センター制の導入促進 複数の診療科、多職種の協働による専門センター制の導入を推進</p> <p>4 チーム医療の推進 多種多様な医療スタッフが各々の高い専門性を活かしつつ連携・補完し、患者の状況に的確に対応した医療を提供するチーム医療を推進</p>	<p>3 専門センター制の導入状況（設置件数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>尼崎</td><td>18</td></tr> <tr><td>西宮</td><td>10</td></tr> <tr><td>加古川</td><td>9</td></tr> <tr><td>丹波</td><td>5</td></tr> <tr><td>淡路</td><td>9</td></tr> <tr><td>こころ</td><td>2</td></tr> <tr><td>こども</td><td>7</td></tr> <tr><td>がん</td><td>7</td></tr> <tr><td>姫路</td><td>4</td></tr> <tr><td>リハ中</td><td>2</td></tr> <tr><td>リハ西</td><td>2</td></tr> <tr><td>計</td><td>75</td></tr> </tbody> </table>	病院名	件数	尼崎	18	西宮	10	加古川	9	丹波	5	淡路	9	こころ	2	こども	7	がん	7	姫路	4	リハ中	2	リハ西	2	計	75	
病院名	件数																											
尼崎	18																											
西宮	10																											
加古川	9																											
丹波	5																											
淡路	9																											
こころ	2																											
こども	7																											
がん	7																											
姫路	4																											
リハ中	2																											
リハ西	2																											
計	75																											

I より良質な医療の提供

項目4 臨床研究等の充実

○ 基本方向

県立病院の医療水準の向上を図り、医薬品等の安全性を高めるため、受託研究や治験等の臨床研究、大学等との共同研究を推進する。

○ 取組内容

1 受託研究

- (1) 共同研究実施要綱及び県立病院受託研究取扱規程に基づき、受託研究や治験等の臨床研究、大学等との共同研究を推進する。
- (2) 厚生労働省、日本学術振興会等が実施する公募型の研究制度を活用する。
- (3) 研究成果は、学会、県民を対象とするシンポジウム等において発表するほか、印刷媒体、インターネットを活用して県民に情報提供する。
- (4) こども病院、姫路循環器病センターに設置された神戸大学連携大学院・臨床研究センターにおいて、研究を推進し、臨床研究医を育成する。
- (5) 統合再編するはりま姫路総合医療センター（仮称）は、最新かつ質の高い臨床研究を実施するために臨床研究センターを整備し、臨床研究支援体制を充実する。
- (6) がんセンターは、あり方検討委員会の報告を踏まえ、臨床研究の充実を図る。

2 治験

臨床治験推進方策に基づき、治験を推進する。

実施計画

参考：現況（R3年2月の状況等）

備考

〔目標〕

県立病院の医療水準を向上するため、各種の臨床研究を推進する。  
また、医薬品等の安全性を高めるとともに、医療の質の向上を図るため、治験を推進する。

〔取組項目〕

県立病院の医療水準の向上を図るとともに、医療全体の質の向上に貢献するため、受託研究・治験を推進

（単位：件（延件数））

1 受託研究

(1) 受託研究の件数

区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画
総合	尼崎	183	195	190	205	205
	西宮	40	31	34	41	40
	加古川	44	46	44	42	42
	丹波	9	8	9	6	6
	淡路	17	11	2	3	3
専門	こども	29	41	39	37	37
	がん	213	254	236	250	260
	姫路	37	47	51	36	46
	粒子線	4	1	4	3	4
	神戸陽子	—	—	3	1	1
	リハ中	4	4	4	2	2
	リハ西	2	1	1	1	1
合計		582	639	617	627	647

(2) 神戸大学、国立循環器病研究センター等との心不全共同研究の実施（淡路）

2 治験

・治験の件数

（単位：件（延件数））

区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画
総合	尼崎	36	51	45	42	42
	西宮	7	6	9	9	9
	加古川	—	1	1	1	1
	淡路	7	5	2	3	3
専門	こども	15	12	19	17	17
	がん	86	104	109	110	110
	姫路	17	12	15	17	15
	リハ中	5	7	4	4	1
合計		173	198	204	203	198

○神戸大学連携大学院

- (1) こども病院（平成25年4月協定締結）  
神戸大学との連携大学院に関する協定に基づき、平成27年4月から大学院生1名を受け入れている。
- (2) 姫路循環器病センター（平成27年1月協定締結）  
神戸大学との連携大学院に関する協定に基づき、平成28年4月以降、大学院生を受け入れている。
- (3) ひょうごこころの医療センター（令和2年4月協定締結）  
神戸大学との連携大学院に関する協定を締結し、令和3年度から大学院生を募集。

II 安心できる県立病院の実現

項目1 地域医療連携の推進

<p>○ 基本方向 医療資源を有効に活用し、効果的かつ効率的に医療サービスを提供するため、地域連携を推進し、紹介率及び逆紹介率のより一層の向上を図る。</p> <p>○ 取組内容</p> <p>1 地域医療構想への対応 各圏域で行われる地域医療構想調整会議の議論等を踏まえて、県立病院間及び他の医療機関との連携強化、医療機能の分化、必要な診療機能の見直し等を行う。</p> <p>2 地域医療ネットワークへの参画等 (1) 県立病院間及び県立病院と他の公立・公的病院等との間において、診療応援等の医療連携の更なる推進を図る。 (2) セキュリティ対策の確保を図りつつICT（情報通信技術）の活用を図り、地域医療ネットワークシステムへの参画やウェブ（インターネットテレビ電話会議システム）を活用した症例検討や遠隔医療の充実など、他の医療機関との情報ネットワーク化を推進する。</p> <p>3 地域医療連携体制等の充実 (1) 医療福祉相談員の充実など、地域医療との連携や患者相談を一層推進できる体制の整備を行う。 (2) 各圏域で開催している地域医療連携担当者会議へ積極的に参画する。 (3) インターネット等による診療・検査予約の拡充や地域医療ネットワークシステムへの参画など、ICTを活用し、患者紹介システムの利便性の向上を図る。</p> <p>4 紹介率の向上 (1) ホームページや広報誌などを活用し、患者、地域医療機関に対して、治療実績等の積極的な情報提供を行う。 (2) 地域の医療機関との情報交換、研修会、症例検討会等を拡充する。 (3) 治療中や治療終了時に、患者の治療状況等を紹介元医療機関に報告する。 (4) 医師会等に県立病院の治療実績等を報告する。</p> <p>5 逆紹介率の向上 (1) 地域連携クリニカルパスの導入を促進する。 (2) 円滑な退院支援のため、後送病院、施設等を幅広く確保する。 (3) 在宅医療、介護サービス等との連携体制の構築を検討する。</p>
---

実施計画	参考：現況（R3年2月の状況等）	備考																																									
<p>〔目標〕 地域医療支援病院及び地域がん診療連携拠点病院等は、その役割を踏まえ、医療機器の共同利用の促進や、地域の医療従事者等への研修、相談、情報提供等を行うとともに、地域連携クリニカルパス等の推進を図るなど、地域医療連携を推進する。 また、他の病院及び診療所においても、オープンセミナー等の実施や地域連携クリニカルパス等の推進により、地域医療連携の推進により、紹介率、逆紹介率の維持、向上を図る。</p>																																											
<p>〔取組項目〕</p> <p>1 地域医療構想への対応 各圏域で行われる地域医療構想調整会議の議論等を踏まえて、県立病院間及び他の医療機関との連携強化、医療機能の分化、必要な診療機能の見直しを検討</p> <p>2 地域医療ネットワークへの参画等 (1) 阪神医療福祉情報ネットワーク（h-Anshin むこねっと）による地域連携の推進（患者共有データ件数）（尼崎、西宮） （単位：件（延件数））</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>H29実績</th> <th>H30実績</th> <th>R1実績</th> <th>R2見込</th> <th>R3計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">総合</td> <td>尼崎</td> <td>1,196</td> <td>1,202</td> <td>1,136</td> <td>1,142</td> <td>1,142</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>89</td> <td>454</td> <td>254</td> <td>300</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>1,285</td> <td>1,656</td> <td>1,390</td> <td>1,442</td> <td>1,442</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 淡路地域医療連携システム（あわじネット）の活用による患者確保及び地域医療連携体制の強化（参加医療機関数）（淡路） （単位：機関数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>H29実績</th> <th>H30実績</th> <th>R1実績</th> <th>R2見込</th> <th>R3計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>淡路</td> <td>44</td> <td>44</td> <td>46</td> <td>47</td> <td>47</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 明石在宅医療連携システム（明石しごせんネット）の活用による患者の確保及び地域医療連携体制の強化（がん） ・参加登録医療機関数（R3.1時点）：71医療機関</p>	区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画	総合	尼崎	1,196	1,202	1,136	1,142	1,142	西宮	89	454	254	300	300	計		1,285	1,656	1,390	1,442	1,442	区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画	総合	淡路	44	44	46	47	47	<p>○兵庫県地域医療構想（H28.10策定）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・団塊の世代がすべて後期高齢者となる2025（令和7）年に向け、地域完結型医療が必要とされている。兵庫県でも、県民の理解のもと、①医療機能の分化・連携、②在宅医療の充実、それを支える③医療従事者の確保を進め、「地域完結型医療」の構築を目的として、地域医療構想を策定</li> <li>・圏域毎の地域医療構想における直近の課題・現状を踏まえ、その推進方策を記載する「兵庫県保健医療計画（圏域版）」を平成31年3月に策定</li> </ul>	
区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画																																					
総合	尼崎	1,196	1,202	1,136	1,142	1,142																																					
	西宮	89	454	254	300	300																																					
計		1,285	1,656	1,390	1,442	1,442																																					
区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画																																					
総合	淡路	44	44	46	47	47																																					

実施計画

参考：現況（R3年2月の状況等）

備考

(4) 尼崎総合医療センター及び丹波医療センターにおける但馬・神戸大学等遠隔医療教育ネットワークによるTVカンファレンスの実施（開催回数）

(単位：回（延回数）)

区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画
総合	尼崎	12	12	12	12	12
	丹波	117	122	126	126	126
計		129	134	138	138	138

(5) 遠隔病理診断ネットワークによる神戸大学、長崎大学等とのカンファレンスの実施（淡路）

(単位：回（延回数）)

区分	病院名	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画
総合	淡路	1,205	1,645	600	650

(6) キャンサーボード（がん医療に関する治療方針等を検討・共有するためのカンファレンス）を開催するためにテレビ会議システム等を活用したがん診療ネットワークの構築（参加病院：がん、こども、粒子線、神戸陽子）

・キャンサーボード実施回数

(単位：回数)

病院名	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画
がん、こども、粒子線、神戸陽子	612	525	480	510

(7) 情報ネットワークシステムを活用したこども病院及び地域の中核病院の医師によるオンラインでの協働診療体制の構築（参加病院：こども、丹波、淡路）

3 地域医療連携体制等の充実

(1) 医療機器の共同利用件数

(単位：件（延件数）)

区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画
総合	尼崎	1,071	1,096	1,050	784	1,050
	西宮	754	718	660	420	540
	加古川	480	488	621	440	507
	丹波	—	942	1,016	1,100	1,100
	淡路	1,007	1,016	939	580	759
専門	がん	141	93	72	93	95
	姫路	143	151	139	50	125
計		3,596	4,504	4,497	3,467	4,176

(2) 研修会（医療従事者向け）及び講演会（地域住民向け）件数

(単位：回（延回数）)

区分	病院名	H29実績		H30実績		R1実績		R2見込		R3計画	
		研修会	講演会	研修会	講演会	研修会	講演会	研修会	講演会	研修会	講演会
総合	尼崎	9	18	18	18	28	18	0	0	14	9
	西宮	28	3	58	3	29	3	9	0	20	3
	加古川	76	2	60	4	47	1	10	1	23	1
	丹波	—	—	12	12	39	3	11	3	18	3
	淡路	53	6	38	2	39	3	2	2	20	2
専門	こども	30	—	27	—	22	—	12	—	26	—
	姫路	19	2	16	2	13	1	3	0	12	1
	神戸陽子	—	—	—	—	1	5	0	1	2	6
計		215	31	229	41	218	34	47	7	135	25

実施計画

参考：現況（R3年2月の状況等）

備考

(3) 地域医療連携室等の退院調整件数

(単位：件 (延件数))

区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画
総合	尼崎	5,979	5,200	5,107	4,557	5,000
	西宮	1,520	1,634	1,628	1,560	1,630
	加古川	1,051	1,026	1,321	942	1,083
	丹波	1,747	2,156	2,431	2,560	2,560
	淡路	2,097	2,323	2,759	2,800	2,800
専門	こども	342	459	607	750	1,000
	がん	1,132	1,164	1,260	1,600	2,000
	姫路	1,641	1,600	1,649	2,500	2,250
	リハ中	605	685	735	620	677
	リハ西	463	471	499	499	499
計		16,577	16,718	17,996	18,388	19,499

(4) 地域連携パス会議や関係者連携会議の開催

(単位：回 (延回数))

区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画
総合	尼崎	6	12	31	15	20
	西宮	24	12	28	14	35
	加古川	11	8	8	3	8
	丹波	14	14	14	7	12
	淡路	7	18	18	18	18
専門	がん	2	3	2	2	2
	姫路	20	17	11	8	10
	リハ中	10	12	15	0	6
	リハ西	12	12	10	10	10
計		106	108	137	77	121

(5) 訪問看護師との看看連携会議等の開催

(単位：回 (延回数))

区分	病院名	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3計画
総合	尼崎	3	3	3	0	3
	西宮	40	31	20	7	14
	加古川	6	6	6	2	6
	丹波	4	3	3	1	3
	淡路	5	4	3	2	2
専門	こども	28	20	42	35	42
	がん	2	3	3	2	3
	姫路	2	2	1	0	1
	リハ中	21	23	35	18	27
	リハ西	1	1	1	0	1
計		112	96	117	67	102

実施計画

参考：現況（R3年2月の状況等）

備考

4 紹介率及び逆紹介率の向上

(単位：%)

区分		尼崎	西宮	加古川	丹波	淡路	こころ	こども	がん	姫路	粒子線	神戸陽子
紹介率	R1 決算	75.9	78.2	83.3	70.1	82.9	36.6	91.7	73.0	70.0	100.0	100.0
	R2 決見①	72.9	77.6	84.5	76.1	71.8	30.4	86.4	71.6	76.0	100.0	100.0
	R3 計画②	75.9	78.0	83.9	76.1	82.9	35.0	86.4	71.6	76.0	100.0	100.0
	差 (②-①)	3.0	0.4	△0.6	0.0	11.1	4.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
逆紹介率	R1 決算	86.7	122.7	96.8	62.2	81.2	44.4	62.6	50.6	170.0	100.0	100.0
	R2 決見①	95.8	119.1	70.0	74.5	66.6	45.7	55.8	46.9	164.0	100.0	100.0
	R3 計画②	95.8	120.0	83.4	74.5	81.2	46.0	55.8	46.9	170.0	100.0	100.0
	差 (②-①)	0.0	0.9	13.4	0.0	14.6	0.3	0.0	0.0	6.0	0.0	0.0

5 こども病院と神戸市立中央市民病院との連携について

- 基本合意書（H27.10.1締結）を踏まえた神戸中央市民病院との連携促進
  - 医療連携における対象診療科及び症例数の拡充
  - 教育、研修における連携
  - 医療情報システムの共有

6 神戸陽子線センターと近隣医療機関との連携について

- 神戸市立中央市民病院との成人救命救急に関する診療連携（H30.7.4合意書締結）
- ポートアイランド病院との成人入院患者に関する診療連携（R1.8.22合意書締結）
- 神戸低侵襲がん医療センターとの成人患者に関する診療連携  
（入院受入、化学療法併用、歯科治療、肺及び肝臓がんのマーカ留置、胃及び大腸の内視鏡検査及びPET検査等）
- 神戸大学医学部附属国際がん医療・研究センター（ICCRC）との成人患者に関する診療連携  
（前立腺がん患者のマーカ留置及びスペースOAR留置）

- こども病院と神戸市立中央市民病院との連携について  
「基本合意書」（H27.10.1締結）を踏まえた連携促進
  - 医療連携会議の開催（3、6、9、12月）
  - 医療情報システムの連携開始

- 神戸陽子線センターと近隣医療機関との連携について（実績はいずれもR3.2末時点）
  - 神戸市立中央市民病院
    - 成人救急及び患者紹介等に関する連携会議の開催（3月）
    - 同病院からの令和2年度紹介患者数：14人
    - 日帰りの前立腺マーカ留置+スペースOAR留置：2人
  - 神戸低侵襲がん医療センター
    - 診療連携に関する会議の開催（11、3月）
    - 同センターへの令和2年度入院患者数：21人
  - ポートアイランド病院
    - 同病院への令和2年度入院患者数：1人
  - 神戸大学医学部附属国際がん医療・研究センター
    - 同センターでの令和2年度前立腺マーカ留置及びスペースOAR挿入患者数：83人

II 安心できる県立病院の実現

項目2 医療安全対策等の推進

○ 基本方向

患者に安心・安全な医療を提供するため、病院局及び各病院が一体となって組織的に医療事故の発生防止、院内感染の防止を図っていく。  
また、医療紛争の発生防止や円満解決を図るため、引き続き患者等からの相談や医療訴訟に適切に対応する。

○ 取組内容

1 医療安全対策の推進

- (1) 「医療事故防止標準マニュアル」及び「医療安全管理指針」に基づき、安全な医療を推進する。
- (2) 県立病院医療安全会議において、県立病院全体の医療安全対策等の検討を行う。
- (3) 医療事故等調査委員会を適切な時期に開催し、医療事故の原因究明等を行う。
- (4) 各病院の医療事故防止対策委員会を中心に医療事故防止対策等を検討するとともに、医療安全管理者、リスクマネージャーを中心に医療安全対策を推進する。
- (5) 病院局及び各病院において、医療従事者を対象に、医療安全に関する意識醸成、事故防止策の啓発等を行うための研修会を開催する。
- (6) 病院局及び各病院において、医療安全に関する情報の収集に努めるとともに、それを一層迅速に周知徹底し、医療安全の確保を図る。
- (7) 医療における安全管理をより一層向上させるため、引き続き県立病院において発生した医療過誤等の公表を行うことにより、医療事故防止に資する情報を共有する。

2 院内感染の防止

- (1) 感染対策会議において、県立病院全体の感染対策等の検討を行う。
- (2) 各病院の院内感染防止対策委員会を中心に、院内感染情報の収集や分析、院内感染防止策の検討、職員に対する意識醸成等を行う。
- (3) 院内感染防止標準マニュアルを活用し、院内感染の防止に努めるとともに、仮に院内感染が発生した場合には速やかに適切な対応を行う。
- (4) 感染管理認定看護師等の院内の感染防止対策に専従する担当職員を配置するなど体制の充実を図る。

3 医事紛争への適切な対応

- (1) 各病院と医療紛争相談専門員が連携し、医療に関する苦情や相談に適切に対応する。
- (2) 医療に精通した弁護士を選任し、医療訴訟に適切に対応する。
- (3) 神戸地方裁判所と協力して医療訴訟・鑑定ガイダンスを実施する。

実施計画

参考：現況（R3年2月の状況等）

備考

【目標】

病院局及び各病院が一体となって医療事故の発生防止や院内感染の防止を図る。  
また、医療に関する苦情や相談に適切に対応し、医事紛争の発生防止や円満解決に努める。

【取組項目】

1 医療安全対策の推進

- (1) 医療安全会議における医療安全対策の検討（年3回）
- (2) 職種別リスク管理委員会におけるヒヤリ・ハット事例の収集分析
- (3) 医療安全研修の実施（年1回）
- (4) 医療安全対策専従職員の役割の明確化による安全管理体制の充実強化（医療事故やヒヤリ・ハット事例の院内ラウンドによる確認・分析等を実施）
- (5) 医療事故の情報共有及び迅速な公表
- (6) 入院患者の服薬指導の充実

2 院内感染の防止

- ・感染対策会議の開催（年1回）

3 医事紛争への適切な対応

- (1) 県立病院における医療訴訟への適切な対応（令和元年度実績：1件→令和3年2月まで：1件）
- (2) 医療訴訟への適切な対応の推進
- (3) 神戸地方裁判所と協力して医療訴訟・鑑定ガイダンスを実施

○医療過誤（レベル3b以上）の件数

H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度（～2月）
4件	8件	6件	11件	4件

- 医療安全管理者の配置(13病院1診療所)
- 医療安全部長の配置(10病院)
- リスクマネージャーの配置(13病院1診療所・477名)
- 医療安全対策にかかる専従者の配置(10病院)

○認定看護師の状況【再掲P18】

区分		病院別人数
認定	感染管理	尼崎(2)、西宮(1)、加古川(1)、丹波(1)、淡路(2)、こころ(1)、こども(2)、がん(1)、姫路(2)

- 感染対策会議の開催（R3.1.14）
- 病院局に医療紛争相談専門員（1名）を配置
- 各病院に医療相談窓口を設置
- 県医療担当の弁護士：3名
- 毎年、神戸地方裁判所と協力して医療訴訟・鑑定ガイダンスを実施（R2年度：調整中）

○裁判での和解と判決の推移

	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度（～2月）
和解	1件	1件	0件	4件	0件
判決	2件	1件	0件	2件	0件

○県立病院における医療訴訟件数の推移（新たに訴えられた件数）

年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度（～2月）
新規件数	1件	1件	1件	1件	1件
総件数	6件	5件	6件	1件	2件

※指定管理を除く

Ⅱ 安心できる県立病院の実現

項目3 患者サービスの向上

○ 基本方向	外来待ち時間の短縮や退院患者に対する相談体制の充実等、引き続き各種の取り組みを推進することにより、患者サービスの向上を図る。
○ 取組内容	<p>1 外来待ち時間の短縮</p> <p>(1) 患者呼出システムや自動精算機の導入等 I C Tシステムの充実を図り、会計等での待ち時間を短縮する。</p> <p>(2) 地域医療連携室や予約センターにおいて外来診療予約を実施し、診療の待ち時間を短縮する。</p> <p>(3) インターネット等による診療・検査予約の拡充や地域医療ネットワークシステムへの参画など、I C Tを活用し、患者紹介システムの利便性の向上を図る。</p> <p>2 患者の退院に向けた相談体制の強化</p> <p>患者とその家族が抱える退院後の生活支援を行うため、医療福祉相談員を充実するなど相談体制の強化を図る。</p> <p>3 平均在院日数の適正化及び入院待機患者の縮減</p> <p>(1) 入院患者の逆紹介を促進する。</p> <p>(2) クリニカルパス及び地域連携クリニカルパスを活用し、計画的な診療を実施する。</p> <p>(3) 検査・治療機器、手術室等を計画的に稼働する。</p> <p>(4) 入院前から患者リスク情報を収集・共有化するとともに、入院早期から退院支援を行い、患者の入退院管理の最適化（P F M）を推進する。</p> <p>4 アメニティの充実等</p> <p>(1) トイレ、洗面所など、患者及び来院者が利用する施設、設備をより快適なものに整備・充実を図る。</p> <p>(2) 患者の心にゆとりや潤いを与えるため屋上緑化を推進する。</p> <p>(3) 患者の療養環境の向上のため、患者の個室化ニーズ等への対応を検討する。</p> <p>5 患者等とのコミュニケーションの推進</p> <p>(1) 患者の県立病院に対する意見等を把握し、患者サービスの向上に繋げるため、定期的に患者意識調査を実施する。</p> <p>(2) 病院運営懇話会、提案箱、フォーラムなどを通じて寄せられた意見や提案に適切に対応する。</p> <p>(3) 各職場の接遇リーダーを養成する研修や患者に接する機会が多い職員を対象に接遇研修を実施し、接遇の向上を図る。</p>

実施計画												参考：現況（R3年2月の状況等）	備考		
〔目標〕 外来待ち時間の短縮、平均在院日数の適正化、快適な療養環境の確保により患者サービスを向上する。															
〔取組項目〕															
1 外来待ち時間の短縮															
<ul style="list-style-type: none"> <li>各病院において地域医療連携室や予約センターでの外来診療予約の実施等により外来待ち時間の短縮を図る。</li> <li>はりま姫路総合医療センター（仮称）の整備において、I C Tシステムの活用により、会計等での待ち時間の短縮を図る（姫路）</li> </ul>															
2 患者の退院に向けた相談体制の強化															
(1) 入院前検査センター（対象パス件数、入院及び検査説明件数）															
（単位：件、件（延件数））															
区分	病院名	H29実績		H30実績		R1実績		R2見込		R3計画		○入院前検査センターの設置状況 ・ 尼崎（検査・入院説明センター：H27.7設置） ・ 西宮（入退院支援センター：H30.7設置） ・ 加古川（入院サポートセンター：H29.4設置） ・ 丹波（入院センター：R1.7設置） ・ 淡路（入退院支援センター：H30.9設置） ・ こども（入院前検査センター：H28.5設置） ・ 姫路（入院支援センター：H25.12設置）	※PFM(Patient Flow Management)：予定入院患者の情報を入院前に把握し、問題解決に早期に着手すると同時に、病床の管理を合理的に行う等を目的とする仕組み		
		対象パス	件数	対象パス	件数	対象パス	件数	対象パス	件数	対象パス	件数				
総合	尼崎	18	18,533	288	21,303	319	20,456	411	17,774	460	18,730				
	西宮	38	2,268	33	2,397	49	2,350	53	2,500	57	2,650				
	加古川	4	157	8	1,238	10	2,956	12	2,600	12	2,733				
	丹波	—	—	—	—	60	1,806	62	1,800	65	1,850				
	淡路	12	4,723	27	5,362	41	6,421	45	6,961	48	7,200				
専門	こども	—	8,376	—	5,425	—	8,664	—	4,900	—	5,600				
	姫路	20	1,280	21	3,308	23	1,549	38	2,326	40	3,000				
計		92	35,337	377	39,033	502	44,202	621	38,861	682	41,763				
(2) P F Mの活用により患者の入退院管理最適化を推進（尼崎、淡路）															

実施計画											参考：現況（R3年2月の状況等）	備考
<b>3 平均在院日数の適正化</b> ・平均在院日数 (単位：日)												
区分	尼崎	西宮	加古川	丹波	淡路	こころ	こども	がん	姫路	粒子線		
R1 決算	9.4	10.2	11.4	11.9	12.7	82.9	11.8	11.6	14.0	30.6		
R2 見込	9.3	9.6	10.2	12.6	12.0	80.0	12.5	13.0	14.0	36.0		
R3 計画	9.3	10.2	11.4	11.9	12.0	80.0	12.5	13.0	14.0	36.0		
<b>4 アメニティの充実等</b> ・患者及び来院者等の快適性に向けた施設・整備改修を推進												
<b>5 患者等とのコミュニケーションの推進</b> (1) 病院運営懇話会の開催 指定管理の3病院を除く各病院で、年1回以上開催 (2) 接遇研修の実施（年1回）（接遇とクレーム対応等） ※新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ開催検討											○患者意識調査の実施状況 （隔年で実施、令和元年8～9月実施済）  ○全病院に提案箱を設置し、寄せられた意見や提案等について、情報誌や掲示板で対応内容等を周知  ○接遇リーダー養成研修の実施 ※新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ開催中止	

II 安心できる県立病院の実現

項目4 医療の信頼性の向上

<p>○ 基本方向 患者自身の治療法の理解と選択を支援するため、インフォームド・コンセントやセカンド・オピニオンを充実する。 また、EBMの推進や外部評価の活用により、県立病院における医療の信頼性の向上を図る。</p> <p>○ 取組内容</p> <p>1 インフォームド・コンセントの充実等 (1) 電子カルテ等を活用し、患者の立場に立った分かりやすく説明を行い、インフォームド・コンセントを取得する。 (2) 患者の自己決定権を尊重した医療を実施するため、セカンド・オピニオンを推進する。 (3) 患者からカルテ開示がなされた場合には、「個人情報の保護に関する条例」に基づき、適切に開示を行う。</p> <p>2 EBMの推進 各学会が導入した診療ガイドライン等を参考にしながら、EBMに基づく良質で安全な医療を推進する。</p> <p>3 外部評価の活用 病院機能評価やISOの受審や更新については、個々の病院の実情に応じて実施する。</p>
--

実施計画	参考：現況（R3年2月の状況等）	備考																																
<p>〔目標〕 患者の視点に立ったわかりやすいインフォームド・コンセントやセカンド・オピニオン等を実施する。 また、病院運営懇話会等において広く県民等から意見を求め、県民の医療ニーズを病院運営に反映するとともに、患者や家族の立場や心理に十分配慮した接遇やコミュニケーションを行う。また、県民の健康・医療への関心に応じて、公開講座やセミナー、フォーラム等を開催する。</p>																																		
<p>〔取組項目〕</p> <p>1 インフォームド・コンセントの充実等 (1) 患者の視点に立ったわかりやすいインフォームド・コンセントの実施 (2) 患者自らの治療法の選択に資するセカンド・オピニオンの実施 (3) 開示請求に基づく適切なカルテ開示の実施</p> <p>2 EBMの推進 ・各学会が導入した診療ガイドライン等を参考にしながら、EBMに基づく良質で安全な医療を推進 (EBM=Evidence-based Medicine：根拠に基づく医療)</p> <p>3 外部評価の推進 ・病院機能評価やISOの受審や更新については、個々の病院の実情に応じて実施</p>	<p>○セカンド・オピニオンの実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度 (11月末時点)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>586件</td> <td>599件</td> <td>544件</td> <td>527件</td> <td>290件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○カルテ開示状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度 (12月末時点)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>397件</td> <td>328件</td> <td>372件</td> <td>407件</td> <td>255件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○病院機能評価の認定状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院機能評価の認定</td> <td>尼崎総合医療センター 西宮病院 淡路医療センター こども病院 リハビリテーション中央病院 リハビリテーション西播磨病院</td> </tr> </tbody> </table> <p>○臨床検査室の認定（ISO15189）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ISO15189の認定</td> <td>尼崎総合医療センター こども病院 がんセンター</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度 (11月末時点)	件数	586件	599件	544件	527件	290件	年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度 (12月末時点)	件数	397件	328件	372件	407件	255件	区分	病院名	病院機能評価の認定	尼崎総合医療センター 西宮病院 淡路医療センター こども病院 リハビリテーション中央病院 リハビリテーション西播磨病院	区分	病院名	ISO15189の認定	尼崎総合医療センター こども病院 がんセンター	
年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度 (11月末時点)																													
件数	586件	599件	544件	527件	290件																													
年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度 (12月末時点)																													
件数	397件	328件	372件	407件	255件																													
区分	病院名																																	
病院機能評価の認定	尼崎総合医療センター 西宮病院 淡路医療センター こども病院 リハビリテーション中央病院 リハビリテーション西播磨病院																																	
区分	病院名																																	
ISO15189の認定	尼崎総合医療センター こども病院 がんセンター																																	

Ⅱ 安心できる県立病院の実現

項目5 県民等への情報発信の推進

○ 基本方向

地域の医療機関への情報提供等を通じた地域医療連携の推進とともに、県民等に県立病院の診療機能や役割等の更なる周知を図るため、民間のノウハウを取り入れながら様々なメディアを活用した分かりやすい情報発信を積極的に行う。

○ 取組内容

- 1 ホームページのコンテンツの充実及び適時適切な更新により、患者、地域医療機関への積極的な情報提供を図る。
- 2 広報誌の充実により患者、地域医療機関への積極的な情報提供を図る。
- 3 報道機関に対し、県立病院に関する情報を積極的に提供すること等で、様々なメディアを活用した情報発信を行う。
- 4 患者や紹介元医療機関に向けた講演会等を開催し、県立病院に関する情報を積極的に発信する。

実施計画	参考：現況（R3年2月の状況等）	備考																																																																																																																																																							
<p>〔目標〕 病院によるホームページでの情報発信や広報誌等の定期的な発行、「県民だよりひょうご」等の広報誌により県立病院の情報をわかりやすく提供する。</p> <p>〔取組項目〕</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 病院局及び各病院で、ホームページを随時更新し、県民に対して最新情報を提供 <ul style="list-style-type: none"> <li>・病院ホームページにおいて治療開始待ち時間の明示を開始（粒子線）</li> </ul> </li> <li>2 各病院で、地域医療機関又は県民向けの情報誌を定期的に発行 <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報誌の発行</li> </ul> </li> </ol> <p style="text-align: right;">(単位：回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>広報誌名</th> <th>R1実績</th> <th>R2見込</th> <th>R3計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>尼崎</td><td>あまが咲だより</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td></tr> <tr><td>2</td><td>西宮</td><td>はまかぜ</td><td>4</td><td>3</td><td>4</td></tr> <tr><td>3</td><td rowspan="2">加古川</td><td>県かこ地域医療連携ニュース</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td></tr> <tr><td>4</td><td>ニュースレター</td><td>3</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr><td>5</td><td rowspan="2">丹波</td><td>地域医療連携センターだより</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td></tr> <tr><td>6</td><td>がん相談支援センターだより</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>7</td><td>淡路</td><td>くにうみ県病だより</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr><td>8</td><td>こころ</td><td>光る風</td><td>4</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>9</td><td>こども</td><td>げんきカエル</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td></tr> <tr><td>10</td><td>がん</td><td>かけはし</td><td>6</td><td>5</td><td>6</td></tr> <tr><td>11</td><td rowspan="2">姫路</td><td>あじさい</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td></tr> <tr><td>12</td><td>地域医療連携NEWS</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td></tr> <tr><td>13</td><td rowspan="2">粒子線</td><td>ニュースレター</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>14</td><td>粒子線医療センターだより</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td></tr> <tr><td>15</td><td>神戸陽子</td><td>ニュースレター</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr><td>16</td><td>リハ中</td><td>地域医療連携だより</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr><td>17</td><td>リハ西</td><td>ひかりの都</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td colspan="3">計</td><td>70</td><td>64</td><td>67</td></tr> </tbody> </table>	区分	病院名	広報誌名	R1実績	R2見込	R3計画	1	尼崎	あまが咲だより	12	12	12	2	西宮	はまかぜ	4	3	4	3	加古川	県かこ地域医療連携ニュース	6	6	6	4	ニュースレター	3	0	1	5	丹波	地域医療連携センターだより	4	4	4	6	がん相談支援センターだより	3	3	3	7	淡路	くにうみ県病だより	2	2	2	8	こころ	光る風	4	3	3	9	こども	げんきカエル	4	4	4	10	がん	かけはし	6	5	6	11	姫路	あじさい	4	4	4	12	地域医療連携NEWS	6	6	6	13	粒子線	ニュースレター	1	1	1	14	粒子線医療センターだより	4	4	4	15	神戸陽子	ニュースレター	2	2	2	16	リハ中	地域医療連携だより	2	2	2	17	リハ西	ひかりの都	3	3	3	計			70	64	67	<p>○診療案内は、神戸陽子を除く13病院で発行済</p> <p>○各県立病院で地域医療機関向け情報誌を定期的に発行</p> <p>★広報誌の発行状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>発行頻度</th> <th>病院名</th> <th>情報誌名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="2">年1回</td><td>粒子線</td><td>ニュースレター</td></tr> <tr><td>淡路</td><td>くにうみ県病だより</td></tr> <tr><td rowspan="3">年2回</td><td>神戸陽子</td><td>ニュースレター</td></tr> <tr><td>リハ中</td><td>地域医療連携だより</td></tr> <tr><td>丹波</td><td>がん相談支援センターだより</td></tr> <tr><td rowspan="2">年3回</td><td>リハ西</td><td>ひかりの都</td></tr> <tr><td>西宮</td><td>はまかぜ</td></tr> <tr><td rowspan="5">年4回</td><td>丹波</td><td>地域医療連携センターだより</td></tr> <tr><td>こころ</td><td>光る風</td></tr> <tr><td>こども</td><td>げんきカエル</td></tr> <tr><td>姫路</td><td>あじさい</td></tr> <tr><td>粒子線</td><td>粒子線医療センターだより</td></tr> <tr><td rowspan="3">年6回</td><td>加古川</td><td>県かこ地域医療連携ニュース</td></tr> <tr><td>がん</td><td>かけはし</td></tr> <tr><td>姫路</td><td>地域医療連携NEWS</td></tr> <tr><td>月1回</td><td>尼崎</td><td>あまが咲だより</td></tr> </tbody> </table>	発行頻度	病院名	情報誌名	年1回	粒子線	ニュースレター	淡路	くにうみ県病だより	年2回	神戸陽子	ニュースレター	リハ中	地域医療連携だより	丹波	がん相談支援センターだより	年3回	リハ西	ひかりの都	西宮	はまかぜ	年4回	丹波	地域医療連携センターだより	こころ	光る風	こども	げんきカエル	姫路	あじさい	粒子線	粒子線医療センターだより	年6回	加古川	県かこ地域医療連携ニュース	がん	かけはし	姫路	地域医療連携NEWS	月1回	尼崎	あまが咲だより	
区分	病院名	広報誌名	R1実績	R2見込	R3計画																																																																																																																																																				
1	尼崎	あまが咲だより	12	12	12																																																																																																																																																				
2	西宮	はまかぜ	4	3	4																																																																																																																																																				
3	加古川	県かこ地域医療連携ニュース	6	6	6																																																																																																																																																				
4		ニュースレター	3	0	1																																																																																																																																																				
5	丹波	地域医療連携センターだより	4	4	4																																																																																																																																																				
6		がん相談支援センターだより	3	3	3																																																																																																																																																				
7	淡路	くにうみ県病だより	2	2	2																																																																																																																																																				
8	こころ	光る風	4	3	3																																																																																																																																																				
9	こども	げんきカエル	4	4	4																																																																																																																																																				
10	がん	かけはし	6	5	6																																																																																																																																																				
11	姫路	あじさい	4	4	4																																																																																																																																																				
12		地域医療連携NEWS	6	6	6																																																																																																																																																				
13	粒子線	ニュースレター	1	1	1																																																																																																																																																				
14		粒子線医療センターだより	4	4	4																																																																																																																																																				
15	神戸陽子	ニュースレター	2	2	2																																																																																																																																																				
16	リハ中	地域医療連携だより	2	2	2																																																																																																																																																				
17	リハ西	ひかりの都	3	3	3																																																																																																																																																				
計			70	64	67																																																																																																																																																				
発行頻度	病院名	情報誌名																																																																																																																																																							
年1回	粒子線	ニュースレター																																																																																																																																																							
	淡路	くにうみ県病だより																																																																																																																																																							
年2回	神戸陽子	ニュースレター																																																																																																																																																							
	リハ中	地域医療連携だより																																																																																																																																																							
	丹波	がん相談支援センターだより																																																																																																																																																							
年3回	リハ西	ひかりの都																																																																																																																																																							
	西宮	はまかぜ																																																																																																																																																							
年4回	丹波	地域医療連携センターだより																																																																																																																																																							
	こころ	光る風																																																																																																																																																							
	こども	げんきカエル																																																																																																																																																							
	姫路	あじさい																																																																																																																																																							
	粒子線	粒子線医療センターだより																																																																																																																																																							
年6回	加古川	県かこ地域医療連携ニュース																																																																																																																																																							
	がん	かけはし																																																																																																																																																							
	姫路	地域医療連携NEWS																																																																																																																																																							
月1回	尼崎	あまが咲だより																																																																																																																																																							
<ol style="list-style-type: none"> <li>3 各病院で、報道機関等に対し、県立病院に関する情報を積極的に提供すること等で、様々なメディアを活用した情報発信を推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルサイネージを使ったインフォメーションボードを設置し、地域医療連携病院の案内や情報発信を推進（淡路）</li> <li>・装置保守日を活用した施設見学会の開催（粒子線）</li> <li>・web広報の充実（検索連動型広告、ディスプレイ広告）による施設及び陽子線治療の認知度向上（神戸陽子）</li> </ul> <p style="text-align: right;">(単位：件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>区分</th> <th>R1実績</th> <th>R2見込</th> <th>R3計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="3">神戸陽子</td><td>HPアクセス数</td><td>59,593</td><td>97,074</td><td>100,000</td></tr> <tr><td>うち検索連動型広告</td><td>21,527</td><td>45,651</td><td>45,000</td></tr> <tr><td>うちディスプレイ広告</td><td>20,766</td><td>28,386</td><td>30,000</td></tr> </tbody> </table> </li> </ol>	病院名	区分	R1実績	R2見込	R3計画	神戸陽子	HPアクセス数	59,593	97,074	100,000	うち検索連動型広告	21,527	45,651	45,000	うちディスプレイ広告	20,766	28,386	30,000																																																																																																																																							
病院名	区分	R1実績	R2見込	R3計画																																																																																																																																																					
神戸陽子	HPアクセス数	59,593	97,074	100,000																																																																																																																																																					
	うち検索連動型広告	21,527	45,651	45,000																																																																																																																																																					
	うちディスプレイ広告	20,766	28,386	30,000																																																																																																																																																					

実施計画

参考：現況（R3年2月の状況等）

備考

- 4 各病院で、紹介元医療機関等に向けた講演会等を開催し、県立病院に関する情報を積極的に発信  
 ・講演会の開催等

(単位：回)

区分	病院名	講座名	R1実績	R2見込	R3計画
1	尼崎	・市民すこやかセミナー	6	0	3
2		・社協コラボ出前セミナー	7	0	3
3	西宮	・県民公開講座（がん・生活習慣病）	3	0	3
4	加古川	・県民向けフォーラム	1	1	1
5	丹波	(1) 病院フェスタ	1	0	1
6		(2) 市民健康講座（地域と研修医との懇談会）	11	0	12
7	淡路	(1) 市民公開講座	3	1	1
8		(2) 病院フェスタ	1	0	1
9	こころ	(1) 県民向け講演会	1	0	1
10		(2) セミナー	4	1	4
11		(3) 病院フェスタ（光風あいアイまつり）	2	0	2
12	がん	・がんフォーラム	2	1	3
13	姫路	(1) 循環器疾患予防フォーラム	1	0	1
14	粒子線	(1) 粒子線治療連携懇談会	1	18	24
15		(2) 粒子線治療一般向けセミナー（映像のHP掲載）	—	1	6
16	神戸陽子	・一般対象施設見学会・公開講演会	5	1	6
17	リハ中	・県民公開講座	1	0	1
18	リハ西	・県民公開講座	1	0	1
計			51	23	74

Ⅲ 持続可能な経営の確保

項目 1 経営目標の設定と持続的な経営の取組

<p>○ 基本方向 持続可能な経営を行うため、不断の経営改善に努め、経常損益について黒字経営の確保を図る。 なお、丹波医療センター（令和元年度）、はりま姫路総合医療センター（仮称）（令和4年度）の統合再編整備等により、一時的な収支悪化が見込まれるため、早期の経営安定方策を検討し、経営改革の取組を進める。</p> <p>○ 取組内容</p> <p>1 経営目標の設定 （1）各年度の経営実施計画を策定し、具体的な数値目標、経営改善方策及び責任者を明確にしたうえで、経営改善に取り組むなど、経営のPDCAサイクルの徹底を図る。 （2）目標は、財務に関する指標だけでなく、専門的な手技手法による治療件数等診療機能の充実に向けた指標を定める。 （3）病院運営会議・管理局長会議において、各病院の経営情報を共有するとともに、経営健全化方策を検討し実施する。 （4）各病院において優れた取組、経営努力等に関する前向きな取組を評価し、予算配分に反映させるなど職員のさらなる意欲向上につながる評価の仕組みを継続する。 （5）経営実施計画及びその達成状況は、病院事業全体及び病院ごとに県民が理解しやすいように公表する。 （6）外部委員等による計画達成状況の評価、課題の明確化、経営改善に向けた措置勧告を受ける仕組みを継続する。</p> <p>2 持続的な経営への取組 （1）新病院開設時には、入院患者抑制等により一時的に収支は悪化するが、速やかに患者受入れの促進などにより、収支の悪化を抑制する。 （2）持続可能な経営を維持するため、一定の内部留保資金残高の確保を図る。</p>
---

実施計画	参考：現況（R3年2月の状況等）	備考
<p>〔目標〕 令和3年度は、上半期に新型コロナウイルス感染症の影響を見込むとともに、給与費や薬品費・診療材料費の増などの収支構造の変化により、引き続き経常赤字が見込まれる。赤字体質から脱却を図るため、民間コンサルを活用した経営再生本部など、各病院と病院局が一体となった経営改善に取り組む、持続可能な経営の確保に努める。 また、純損益は、旧柏原病院建物撤去費用を特別損失として計上するため、39億円の純損失を見込んでいる。</p> <p>〔取組項目〕</p> <p>1 経営目標の設定 （1）病院別の経営実施計画、数値目標を設定し、院長、管理局長を中心に経営改善に取り組むなど、経営のPDCAサイクルの徹底を図る。 （2）経営目標の設定 病院別の経営実施計画策定にあたっては、数値目標として手術件数及び救急搬送患者数等も設定 （3）各種会議における病院事業の当初予算、決算見込、経営状況にかかる情報共有 病院運営会議、管理局長会議における各病院の経営状況、経営健全化方策の情報共有 （4）各病院における優れた取り組み・経営努力等に対する評価・予算配分への反映 経営成績の改善とともに、各病院における経営努力等に関する前向きな取り組みを評価し、固定資産購入費及び研究研修費を重点的に予算配分（メリット配分） （5）県のホームページに病院事業全体、病院別の経営状況などを公表</p> <p>2 持続的な経営への取組 （1）上半期に新型コロナウイルス感染症の影響を見込むとともに、給与費や薬品費・診療材料費の増などの収支構造の変化により、引き続き経常赤字が見込まれる。赤字体質から脱却を図るため、民間コンサルを活用した経営再生本部など、各病院と病院局が一体となった経営改善に取り組む、持続可能な経営の確保に努める。 （2）令和3年度末の内部留保資金残高（見込）：53億円</p>	<p>1 令和3年度の経営目標の設定 ・病院別の経営実施計画（数値目標を含む）を策定 ・病院別の月次収支分析及び計画の達成状況を進行管理</p> <p>（3）各種会議実施状況 病院運営会議、管理局長会議（共に月1回）で病院毎の経営状況、経営健全化方策を共有</p> <p>（4）評価等実績 経営成績が改善した病院に、固定資産購入費及び研究研修費を重点的に予算配分（メリット配分）</p> <p>2 持続的な経営への取組 （1）新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅な経営悪化が見込まれるが、診療報酬の増額や空床補償等により、減収相当分は概ね補填されるものと見込んでいる。引き続き、新型コロナウイルス感染症対策に全力で取り組むとともに、一般診療機能の回復に努めるなど、通常医療との両立が図れるよう経営の立て直しに取り組む。 （2）令和2年度末内部留保資金残高（見込）：32億円</p>	

実施計画

参考：現況（R3年2月の状況等）

備考

病院事業全体の経営見通し

収支（13病院）

（単位：億円）

区 分		令和元年度 決算	令和2年度 決 見	令和3年度 計 画	
収益的 収支	経常収益	(A)	1,354	1,423	1,428
	(うち一般会計繰入金)	(B)	160	162	161
	経常費用	(C)	1,386	1,435	1,438
	経常損益	(D = A - C)	△ 31	△ 12	△ 10
	特別損益	(E)	△ 9	△ 63	△ 29
	純損益	(F = D + E)	△ 40	△ 75	△ 39
	資金収支	(G)	17	48	50
資本的 収支	収入	(H)	230	333	399
	(うち一般会計繰入金)	(I)	71	83	70
	(うち減額調整額の精算)	(J)	8	8	8
	(うち減額調整額)	(K)	-	-	-
	支出	(L)	258	383	429
	差引（資金収支）	(M = H - L)	△ 28	△ 50	△ 30
一般会計繰入金の合計		(N = B + I)	231	245	231
総資金収支		(O = G + M)	△ 11	△ 2	21
内部留保資金残高		(P = O + P[前年度])	34	32	53

特別損失：（令和2年度）退職給付引当金過年度修正 5,534百万円、コロナ対応従事者慰労金 1,834百万円 等  
（令和3年度）旧柏原病院の建物撤去費 2,745百万円 等

※ 一般会計繰入金については、全て国基準及び県施策に伴うものであり、いわゆる赤字補填としての繰入金はない。また、資本的収支においては、行革期間中に行ってきた一般会計繰入金の減額調整（総額109億円（平成23年～平成30年））について、平成30年度から5年間で一般会計と病院事業会計の貸借関係の整理と併せて計画的に精算を実施

※ 計数については、四捨五入の関係で合計等が合わない場合がある（以下の表も同じ）。

経営状況（病院別の経常損益）

（単位：百万円）

区 分	総合病院						専門病院						10病院計
	尼崎	西宮	加古川	丹波	淡路	小計	こころ	こども	がん	姫路	粒子線		
											たつの	神戸	
令和元年度決算①	△ 281	△ 88	△ 104	△ 981	54	△ 1,400	△ 377	△ 63	△ 159	△ 240	△ 337	△ 550	△ 3,126
令和2年度決見②	848	△ 216	566	△ 738	460	920	△ 341	△ 115	△ 544	14	△ 559	△ 535	△ 1,161
令和2－令和元（②－①）	1,129	△ 128	670	243	406	2,320	36	△ 52	△ 385	254	△ 222	15	1,965
令和3年度計画③	524	113	378	△ 665	165	515	△ 367	110	△ 204	△ 187	△ 431	△ 453	△ 1,017
令和3－令和2（③－②）	△ 324	329	△ 188	73	△ 295	△ 405	△ 26	225	340	△ 201	128	82	144

実施計画											参考：現況（R3年2月の状況等）					備考		
【令和3年度経営計画の内訳】																(単位：千円)		
区分	総合病院						専門病院							10病院計	指定管理			13病院計
	尼崎	西宮	加古川	丹波	淡路	小計	こころ	こども	がん	姫路	粒子線				災害	リハ中央	リハ西播磨	
											たつの	神戸	計					
稼働病床数	730	400	353	275	441	2,199	254	282	377	330	50	—	50	3,492	30	330	100	3,952
病床利用率(%)	88.6	84.1	70.2	85.9	77.9	82.3	62.3	87.0	72.9	68.6	68.9	—	68.9	78.8	87.0	79.8	95.5	79.3
延入院患者数	236,093	122,785	90,420	86,205	125,321	660,824	57,797	89,580	100,375	82,587	12,578	—	12,578	1,003,741	9,527	96,162	34,854	1,144,284
(1日当たり)	647	336	248	236	343	1,810	158	245	275	226	34	—	34	2,750	26	263	95	3,135
延外来患者数	451,471	159,281	155,501	125,985	192,212	1,084,450	51,570	101,882	160,680	83,323	7,287	8,124	15,411	1,497,316	204	50,209	11,132	1,558,861
(1日当たり)	1,866	658	643	521	794	4,481	213	421	664	344	30	34	64	6,187	1	207	46	6,442
入院収益	21,442,715	7,881,425	5,985,998	4,828,681	8,928,894	49,067,713	1,387,126	8,778,883	7,114,379	9,002,280	870,844	—	870,844	76,221,225	0	0	0	76,221,225
(1人1日)(円)	90,823	64,189	66,202	56,014	71,248	74,252	24,000	98,000	70,878	109,004	69,235	—	69,235	75,937	—	—	—	75,937
外来収益	8,782,920	2,818,792	3,160,097	1,812,764	2,992,556	19,567,129	360,680	1,833,869	8,476,799	2,302,975	335,484	719,973	1,055,457	33,596,909	0	0	0	33,596,909
(1人1日)(円)	19,454	17,697	20,322	14,389	15,569	18,043	6,994	18,000	52,756	27,639	46,039	88,623	68,487	22,438	—	—	—	22,438
その他医業収益	627,586	282,148	339,894	374,399	219,951	1,843,978	16,194	154,278	480,684	188,226	49,078	637	49,715	2,733,075	0	0	0	2,733,075
**医業収益計**	30,853,221	10,982,365	9,485,989	7,015,844	12,141,401	70,478,820	1,764,000	10,767,030	16,071,862	11,493,481	1,255,406	720,610	1,976,016	112,551,209	0	0	0	112,551,209
医業外収益	2,527,023	543,992	2,228,672	407,173	685,491	6,392,351	338,197	240,956	114,205	404,262	21,939	480	22,419	7,512,390	182	5,565	667	7,518,804
長期前受金戻入額	888,775	352,616	821,109	809,798	604,726	3,477,024	210,928	650,158	481,233	309,582	355,826	276,529	632,355	5,761,280	160,263	444,864	233,706	6,600,113
特別利益	8,441	4,795	18,536	1,543	10,331	43,646	1,562	3,743	3,441	1,240	4,542	412	4,954	58,586	100	100	0	58,786
**合計**	34,277,460	11,883,768	12,554,306	8,234,358	13,441,949	80,391,841	2,314,687	11,661,887	16,670,741	12,208,565	1,637,713	998,031	2,635,744	125,883,465	160,545	450,529	234,373	126,728,912
給与費	17,747,452	7,251,352	6,393,035	5,068,996	7,464,592	43,925,427	3,058,268	7,984,361	6,699,116	5,765,991	609,812	339,092	948,904	68,382,067	45,000	32,955	23,083	68,483,105
材料費	11,623,286	3,190,501	3,378,595	1,521,579	3,910,915	23,624,876	192,928	2,290,667	8,004,747	5,351,494	102,123	10,355	112,478	39,577,190	0	0	0	39,577,190
経費	4,746,098	1,698,518	1,958,842	1,960,435	2,184,179	12,548,072	544,067	2,137,878	1,944,629	1,687,405	1,038,339	543,138	1,581,477	20,443,528	688,097	283,282	131,398	21,546,305
減価償却費	2,042,319	626,018	1,331,744	1,115,479	1,043,452	6,159,012	350,355	1,232,735	854,777	549,757	362,122	517,473	879,595	10,026,231	145,372	425,495	223,663	10,820,761
資産減耗費	58,095	6,085	31,387	3,585	16,780	115,932	7,138	31,560	15,284	3,514	162,929	0	162,929	336,357	100	100	0	336,557
研究研修費	191,479	50,284	41,348	30,231	45,542	358,884	8,669	65,432	126,956	63,529	6,166	2,863	9,029	632,499	0	0	0	632,499
**医業費用計**	36,408,729	12,822,758	13,134,951	9,700,305	14,665,460	86,732,203	4,161,425	13,742,633	17,645,509	13,421,690	2,281,491	1,412,921	3,694,412	139,397,872	878,569	741,832	378,144	141,396,417
医業外費用	334,247	93,279	347,738	270,970	283,469	1,329,703	91,887	126,957	110,424	230,577	274,799	90,017	364,816	2,254,364	39,416	49,808	28,122	2,371,710
特別損失	51,201	4,214	80,858	2,750,212	8,454	2,894,939	5,762	22,056	13,973	22,527	9,226	819	10,045	2,969,302	100	100	0	2,969,502
**合計**	36,794,177	12,920,251	13,563,547	12,721,487	14,957,383	90,956,845	4,259,074	13,891,646	17,769,906	13,674,794	2,565,516	1,503,757	4,069,273	144,621,538	918,085	791,740	406,266	146,737,629
差引損益	△2,516,717	△1,036,483	△1,009,241	△4,487,129	△1,515,434	△10,565,004	△1,944,387	△2,229,759	△1,099,165	△1,466,229	△927,803	△505,726	△1,433,529	△18,738,073	△757,540	△341,211	△171,893	△20,008,717
一般会計繰入金	2,997,875	1,149,972	1,324,735	1,073,128	1,682,119	8,227,829	1,573,022	2,321,572	884,816	1,258,259	492,331	52,582	544,913	14,810,411	757,540	341,211	171,893	16,081,055
当期純損益	481,158	113,489	315,494	△3,414,001	166,685	△2,337,175	△371,365	91,813	△214,349	△207,970	△435,472	△453,144	△888,616	△3,927,662	0	0	0	△3,927,662
経常損益	523,918	112,908	377,816	△665,332	164,808	514,118	△367,165	110,126	△203,817	△186,683	△430,788	△452,737	△883,525	△1,016,946	0	0	0	△1,016,946
給与費比率	57.5	66.0	67.4	72.3	61.5	62.3	173.4	74.2	41.7	50.2	48.6	47.1	48.0	60.8				60.8
材料費比率	37.7	29.1	35.6	21.7	32.2	33.5	10.9	21.3	49.8	46.6	8.1	1.4	5.7	35.2				35.2
経費比率	15.4	15.5	20.6	27.9	18.0	17.8	30.8	19.9	12.1	14.7	82.7	75.4	80.0	18.2				19.1

Ⅲ 持続可能な経営の確保

項目2 収益の確保 (1) 患者の受入れ促進等

○ 基本方向	設備やスタッフなど高度専門医療に係る機能を十分に活用するため、地域の医療機関との緊密な連携を進め、前方連携（紹介患者や救急患者の積極的な受入れ）・後方連携（地域の医療機関への逆紹介）の充実を図り、患者の受入れを促進する。
○ 取組内容	
1 新規患者の受入れ促進	<p>(1) 高度専門・特殊医療の充実、医師の確保、地域医療連携の推進等により患者の受入れを促進する。</p> <p>(2) 地域の医療機関との連携を強化し、紹介患者の増加を図る。</p> <p>① 地域の医療機関との合同症例検討会や医療技術向上研修会を拡充する。</p> <p>② 医療機関ごとに紹介患者数の動向を把握し、院長等が直接地域の医療機関に患者紹介を働きかける。</p> <p>③ 治療中・治療終了時に紹介元医療機関に、治療状況等の報告を行う。</p> <p>④ 地域の医療機関を含めたICT（情報通信技術）化を図ることにより、医療情報の共有化を推進する。</p> <p>(3) 救急医療体制の充実を図り、救急患者の受入れを促進する。</p> <p>① 医師、看護師等の救急医療体制を確保する。</p> <p>② 救急隊と症例検討会や意見交換会を実施し、円滑な救急患者の受入れを行う。</p> <p>③ ドクターカーやドクターヘリによる重症患者の受入れを強化する。</p> <p>(4) 地域の医療機関との連携を強化し、逆紹介の促進を図る。</p> <p>① 地域連携クリニカルパスを進めることにより、地域医療連携の推進を図る。</p> <p>② 地域医療連携室の機能を強化することにより、転退院に向けた患者相談の充実を図る。</p>
2 効率的な病床運用	<p>(1) 電子カルテ等を活用した空床情報の一元管理により、病床の有効活用を図る。</p> <p>(2) 入院前検査センター機能の拡充により、病床の有効活用を図る。</p> <p>(3) 休日入院や入院時検査の外来シフト化の拡充により、病床の有効活用を図る。</p> <p>(4) 診療科別にきめ細かく患者の動向を踏まえることにより、病床の有効活用を図る。</p> <p>(5) 地域連携クリニカルパスを促進し、後方医療機関との連携を充実させることにより、病床の有効活用を図る。</p> <p>(6) 院内パスの適用率を向上させることにより、病床の有効活用を図る。</p> <p>(7) 地域の医療ニーズに対応した適正な稼働病床数・病床機能への見直しを進め、病床の効率的な運用を図る。</p>

実施計画			参考：現況（R3年2月の状況等）	備考
〔目標〕 診療機能の充実を図るとともに、地域医療連携の推進等により患者の受入れを促進する。				
患者数の状況(10病院) (人)				
	区分	入院	外来	
稼働病床数	令和元年度決算	3,480	—	
	令和2年度決見①	3,492	—	
	令和3年度計画②	3,492	—	
	差引②－①	0	—	
患者数	令和元年度決算	1,033,313	1,539,704	
	令和2年度決見③	883,647	1,432,275	
	令和3年度計画④	1,005,302	1,498,966	
	差引④－③	121,655	66,691	
1日あたり	令和元年度決算	2,823	6,415	
	令和2年度決見⑤	2,421	5,894	
	令和3年度計画⑥	2,754	6,194	
	差引⑥－⑤	333	300	
新規患者数	令和元年度決算	79,083	121,847	
	令和2年度決見⑦	69,205	107,829	
	令和3年度計画⑧	76,091	114,024	
	差引⑧－⑦	6,886	6,195	

実施計画	参考：現況（R3年2月の状況等）	備考
<p>〔取組項目〕</p> <p><b>1 新規患者の受入れの促進</b></p> <p>(1) 高度専門・特殊医療の充実等による患者の確保</p> <p>① 高度専門医療のための医療機器等の整備・更新 MR I (尼崎)、CT・内視鏡下手術用支援機器(加古川)、アンギオ・モニタリングシステム(淡路) 等</p> <p>(2) 地域医療連携の推進</p> <p>① 意見交換会・症例検討会の実施</p> <p>② 前方連携（紹介患者や救急患者の積極的な受け入れ）・後方連携（地域の医療機関への逆紹介）の推進及び院長等による病院訪問並びに訪問区域の拡大</p> <p>③ 紹介元医療機関に対する診療内容の報告</p> <p>④ 「h-Anshin むこねっと」、「あわじネット」、「明石しごせんネット」の活用【再掲 P24】</p> <p>(3) 救急患者の積極的受入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>救急搬送患者数+3,216人 (R2 見込：21,496人→R3 計画：24,712人)</li> </ul> <p>(4) 地域医療連携・逆紹介の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各病院の関係医療機関と連携し、地域連携クリニカルパスを活用</li> <li>地域医療連携室の専任看護師配置を継続</li> <li>紹介先医療機関に対する診療内容の報告</li> </ul> <p><b>2 効率的な病床運営</b></p> <p>(1) 電子カルテを活用した空床の有効活用の徹底を継続</p> <p>(2) 入院前検査センター機能の活用による病床の有効活用</p> <p>(3) 患者の意向を踏まえた休日入院など休日における病床の有効活用の促進</p> <p>(4) 診療科別の患者数、診療単価のきめ細かな把握・分析による病床の有効活用の促進</p> <p>(5) 地域連携クリニカルパスを促進し、後方医療機関との連携を充実させることによる病床の有効活用の促進</p> <p>(6) 院内クリニカルパスの適用推進及び質の向上</p> <p>(7) 地域の医療ニーズに対応した適正な稼働病床数・病床機能の見直しによる病床の効率的運用</p>	<p><b>1 新規患者の確保</b></p> <p>(1) 高度専門・特殊医療の充実等による患者の確保</p> <p>① 高度専門医療のための医療機器等の整備・更新 MR I (尼崎、こども、がん、リハ中)、CT (尼崎)、ガンマカメラ (姫路)、アンギオ (淡路) 等</p> <p>(2) 地域医療連携の推進</p> <p>毎月地域連携課長会の実施 診療報酬対策本部ワーキンググループと共同で取り組み 合同会議（開催：令和2年10月6日、10月21日、11月18日）</p> <p>(3) 救急患者の積極的受入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>救急搬送患者数△8,370人 (R2 計画 29,866人→R2 見込 21,496人)</li> <li>ドクターヘリ運航（加古川）</li> </ul> <p>(4) 地域医療連携・逆紹介の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>11病院（粒子線・災害以外）で地域連携クリニカルパスを導入（がん・糖尿病等）</li> <li>指定管理病院を除く全10病院で地域医療連携室に専任看護師を配置</li> </ul> <p><b>2 効率的な病床運営</b></p> <p>(2) 入院前検査センターを設置</p> <p>7病院（尼崎、西宮、加古川、丹波、淡路、こども、姫路）で設置済み</p> <p>(3) 休日における病床の有効活用（主なもの）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日曜・休日入院の実施 （〔泌尿器科ほか11科〕尼崎、〔婦人科〕西宮、丹波）</li> <li>白内障手術の日曜入院 （西宮、加古川、丹波、こども等）</li> <li>心臓カテーテル検査を受ける患者の日曜入院（姫路）</li> <li>外科ほか7診療科における休日入院（淡路）</li> </ul> <p>(7) 地域医療ニーズに対応した病床機能の見直しの継続的な実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>丹波医療センター+37床</li> <li>こども病院+7床</li> <li>こころの医療センター△32床</li> </ul>	

Ⅲ 持続可能な経営の確保

項目2 収益の確保 (2) 診療機能に見合う収益の確保等

○ 基本方向  
高度医療機器や手術室等の有効活用、医療の特質に応じた各種加算の取得、適正な診療報酬請求の推進、入院前検査センターの機能拡充やクリニカルパスの見直しにより平均在院日数の適正化を図り、診療機能に見合う収益を確保する。

○ 取組内容

1 診療機能に見合う収益の確保  
(1) 建替整備による診療機能の充実、高度医療機器の計画的な整備等により診療内容の高度化を図る。  
(2) 地域連携クリニカルパスを促進し、後送病院との連携・充実を図るとともに、院内においてもクリニカルパスの適用率を高めることにより、平均在院日数の適正化を図る。  
(3) 入院、転退院に向けた外来段階での患者アセスメントの推進により、平均在院日数の適正化を図る。  
(4) DPCにおける機能評価係数の向上及びコーディング精度の適正化を図る。  
(5) DPC分析ソフトを活用し、継続的にクリニカルパスを見直すことにより、平均在院日数の適正化を図る。  
(6) 診療情報管理士の資格取得を促進するとともに、全職種を対象に、診療報酬に関する研修会を開催することにより、診療機能にふさわしい各種加算の取得や指導管理の充実を図る。  
(7) 病院横断的に組織した診療報酬対策本部において、診療報酬制度への適時的確な対応等の課題について取り組む。  
(8) 医事委託業務の精緻化により、精度の高い医事事務を実施する。  
(9) 全国自治体病院協議会、全国知事会等を通じて診療報酬制度の改善要望を適時適切に行う。

2 一般会計の適切な負担  
総務省から毎年示される地方財政計画及び地方公営企業繰入金通知（繰入基準）により、救急医療対策費、看護師確保対策費などが不相当経費、また、特殊医療経費、高度医療経費などが困難経費とされており、これらに基づき、安定的かつ継続的に一般会計繰入金を確保する。  
また、地方財政計画や繰入基準を踏まえた見直しを適時適切に行う。

実施計画	参考：現況（R3年2月の状況等）	備考																																											
<p>〔目標〕 診療報酬対策本部による診療報酬制度への的確な対応及び施設基準の取得、診療機能の充実、高度医療機器の高稼働、手術件数の増加等により、診療機能に見合う収益の確保を図る。</p> <p>診療単価・平均在院日数(10病院)</p> <table border="1" data-bbox="178 1003 1020 1457"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>入院</th> <th>外来</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">診療単価</td> <td>令和元年度決算</td> <td>72,894円</td> <td>21,701円</td> </tr> <tr> <td>令和2年度決見①</td> <td>78,860円</td> <td>22,655円</td> </tr> <tr> <td>令和3年度計画②</td> <td>75,937円</td> <td>22,438円</td> </tr> <tr> <td>差引②-①</td> <td>△ 2,923円</td> <td>△ 217円</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">平均在院日数</td> <td>令和元年度決算</td> <td>11.1日</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>令和2年度決見③</td> <td>11.0日</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>令和3年度計画④</td> <td>11.1日</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>差引④-③</td> <td>0.1日</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">手術件数</td> <td>令和元年度決算</td> <td>48,797件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>令和2年度決見⑤</td> <td>42,823件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>令和3年度計画⑥</td> <td>45,712件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>差引⑥-⑤</td> <td>2,889件</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 平均在院日数はこころ、粒子を除く8病院</p>	区 分		入院	外来	診療単価	令和元年度決算	72,894円	21,701円	令和2年度決見①	78,860円	22,655円	令和3年度計画②	75,937円	22,438円	差引②-①	△ 2,923円	△ 217円	平均在院日数	令和元年度決算	11.1日	—	令和2年度決見③	11.0日	—	令和3年度計画④	11.1日	—	差引④-③	0.1日	—	手術件数	令和元年度決算	48,797件		令和2年度決見⑤	42,823件		令和3年度計画⑥	45,712件		差引⑥-⑤	2,889件			
区 分		入院	外来																																										
診療単価	令和元年度決算	72,894円	21,701円																																										
	令和2年度決見①	78,860円	22,655円																																										
	令和3年度計画②	75,937円	22,438円																																										
	差引②-①	△ 2,923円	△ 217円																																										
平均在院日数	令和元年度決算	11.1日	—																																										
	令和2年度決見③	11.0日	—																																										
	令和3年度計画④	11.1日	—																																										
	差引④-③	0.1日	—																																										
手術件数	令和元年度決算	48,797件																																											
	令和2年度決見⑤	42,823件																																											
	令和3年度計画⑥	45,712件																																											
	差引⑥-⑤	2,889件																																											
<p>〔取組項目〕</p> <p>1 診療機能に見合う収益の確保 (1) 建替整備、医療機器整備・更新による診療機能の充実 MRI（尼崎）、CT・内視鏡下手術用支援機器（加古川）、アンギオ・モニタリングシステム（淡路）等</p> <p>(2) クリニカルパスの適用推進による在院日数の適正化</p> <p>(3) 入院前検査センター機能拡充による在院日数の適正化</p>	<p>1 診療機能に見合う収益の確保 (1) 医療機器整備・更新による診療機能の充実 ・MRI（尼崎、こども、がん、リハ中）、CT（尼崎）、ガンマカメラ（姫路）、アンギオ（淡路）等</p> <p>(2) 平均在院日数（こころ、粒子線を除く8病院） 令和2年度見込 11.0日</p>																																												

実施計画	参考：現況（R3年2月の状況等）	備考																																																		
<p>(4) 院内診療報酬関連委員会等における機能評価係数向上・コーディング適正化等に向けた現状の把握及び取り組みの実施</p> <p>(5) DPC分析ソフトを活用したクリニカルパスの見直しによる在院日数の適正化</p> <p>(6) 診療情報管理士の育成 診療情報管理士資格の新規取得者：5名</p> <p>(7) 病院事業副管理者を本部長、各病院管理局長を本部員とした診療報酬対策本部における経営健全化方策の検討</p> <p>(8) 経営再生本部における収益確保による収支改善の取り組みの実施 ・夜間看護補助体制加算取得（加古川） ・レセプト精度診断による報酬請求事務改善（尼崎・淡路・丹波・こども）</p> <p>(9) 精度の高い医事事務の実施 ・プロポーザル方式による医事委託業者の選定 ・医事事務にかかる研修会の実施</p> <p>(10) 全国自治体病院協議会、全国知事会等を通じて診療報酬制度の改善要望を適時適切に実施</p>	<p>(4) 取組実績 ① 院内診療報酬関連委員会あるいは診療科別研修会等の開催 ② 診療科別研修会・カンファレンスを利用した診療報酬にかかる情報の共有</p> <p>(6) 診療情報管理士育成状況（H23～） ・診療情報管理士資格取得者：35名（累積） ・養成中：8名</p> <p>(7) 取組実績 令和元年度診療報酬対策本部会議 ワーキンググループ（WG）提案に基づく経営健全化方策の検討及び実施 第1回 令和2年6月4日（木） 第2回 令和2年11月5日（木）</p> <p>(8) 取組実績 ・夜間看護補助体制加算取得（西宮・淡路・がん・姫路） ・レセプト精度診断による報酬請求事務改善（西宮・がん・姫路）</p>																																																			
<p><b>2 一般会計負担金</b> 全て国基準及び県施策に伴うものであり、いわゆる赤字補てんとしての負担金はない。 なお、資本的収支においては、行革期間中に行ってきた一般会計繰入金の減額調整（総額109億円（H23～H30））について、H30年度から5年間で一般会計と病院事業会計との貸借関係の整理と併せて計画的に精算を実施</p>	<p><b>2 一般会計負担金</b> 地方公営企業法で定める不相当経費、困難経費を一般会計からの負担金として繰入れ</p>																																																			
<p>(単位：千円)</p>																																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>主 な 内 容</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">収益的収支</td> <td rowspan="5">不相当経費</td> <td>看護師確保対策費</td> <td>院内保育事業運営経費</td> <td>179,240</td> </tr> <tr> <td>救急医療対策費</td> <td>救急医療の確保に要する経費 等</td> <td>3,215,386</td> </tr> <tr> <td>保健衛生行政経費</td> <td>相談調査事業運営経費 等</td> <td>54,351</td> </tr> <tr> <td>共済組合追加費用</td> <td>恩給制度廃止に伴う公立病院負担経費</td> <td>850,216</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>児童手当に要する経費の一部等</td> <td>214,516</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">困難経費</td> <td>高度医療経費</td> <td>集中治療室運営損費 等</td> <td>5,358,429</td> </tr> <tr> <td>特殊医療経費</td> <td>精神病棟運営損費、リハビリテーション運営損費 等</td> <td>3,652,481</td> </tr> <tr> <td>建設改良経費</td> <td>施設・機器整備のために発行した企業債の支払利息の一定割合</td> <td>649,364</td> </tr> <tr> <td>基礎年金拠出金</td> <td>事業主負担相当額</td> <td>1,850,755</td> </tr> <tr> <td colspan="2">一般会計施策に伴うもの</td> <td>丹波市立看護専門学校運営費・整備費負担金 等</td> <td>56,317</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td>16,081,055</td> </tr> <tr> <td>資本的収支</td> <td>建設改良経費(困難経費)</td> <td>施設・機器整備のために発行した企業債の償還元金の一定割合</td> <td>7,044,675</td> </tr> </tbody> </table>	区 分		主 な 内 容	令和3年度	収益的収支	不相当経費	看護師確保対策費	院内保育事業運営経費	179,240	救急医療対策費	救急医療の確保に要する経費 等	3,215,386	保健衛生行政経費	相談調査事業運営経費 等	54,351	共済組合追加費用	恩給制度廃止に伴う公立病院負担経費	850,216	その他	児童手当に要する経費の一部等	214,516	困難経費	高度医療経費	集中治療室運営損費 等	5,358,429	特殊医療経費	精神病棟運営損費、リハビリテーション運営損費 等	3,652,481	建設改良経費	施設・機器整備のために発行した企業債の支払利息の一定割合	649,364	基礎年金拠出金	事業主負担相当額	1,850,755	一般会計施策に伴うもの		丹波市立看護専門学校運営費・整備費負担金 等	56,317			合 計	16,081,055	資本的収支	建設改良経費(困難経費)	施設・機器整備のために発行した企業債の償還元金の一定割合	7,044,675	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>①不相当経費：</td> <td>地方公営企業法第17条の2第1項第1号に規定する、「その性質上、当該地方公営企業の経営に伴う収入をもって充てることが適当でない」経費(救急の医療を確保するために要する経費等)</td> </tr> <tr> <td>②困難経費：</td> <td>地方公営企業法第17条の2第1項第2号に規定する、「当該地方公営企業の性質上、能率的な経営を行ってもなおその経営に伴う収入のみをもって充てることが客観的に困難であると認められる」経費(医療水準の向上を図るため必要な高度又は特殊な医療で採算をとることが困難な経費等)</td> </tr> </tbody> </table>	①不相当経費：	地方公営企業法第17条の2第1項第1号に規定する、「その性質上、当該地方公営企業の経営に伴う収入をもって充てることが適当でない」経費(救急の医療を確保するために要する経費等)	②困難経費：	地方公営企業法第17条の2第1項第2号に規定する、「当該地方公営企業の性質上、能率的な経営を行ってもなおその経営に伴う収入のみをもって充てることが客観的に困難であると認められる」経費(医療水準の向上を図るため必要な高度又は特殊な医療で採算をとることが困難な経費等)	
区 分		主 な 内 容	令和3年度																																																	
収益的収支	不相当経費	看護師確保対策費	院内保育事業運営経費	179,240																																																
		救急医療対策費	救急医療の確保に要する経費 等	3,215,386																																																
		保健衛生行政経費	相談調査事業運営経費 等	54,351																																																
		共済組合追加費用	恩給制度廃止に伴う公立病院負担経費	850,216																																																
		その他	児童手当に要する経費の一部等	214,516																																																
	困難経費	高度医療経費	集中治療室運営損費 等	5,358,429																																																
		特殊医療経費	精神病棟運営損費、リハビリテーション運営損費 等	3,652,481																																																
		建設改良経費	施設・機器整備のために発行した企業債の支払利息の一定割合	649,364																																																
		基礎年金拠出金	事業主負担相当額	1,850,755																																																
	一般会計施策に伴うもの		丹波市立看護専門学校運営費・整備費負担金 等	56,317																																																
		合 計	16,081,055																																																	
資本的収支	建設改良経費(困難経費)	施設・機器整備のために発行した企業債の償還元金の一定割合	7,044,675																																																	
①不相当経費：	地方公営企業法第17条の2第1項第1号に規定する、「その性質上、当該地方公営企業の経営に伴う収入をもって充てることが適当でない」経費(救急の医療を確保するために要する経費等)																																																			
②困難経費：	地方公営企業法第17条の2第1項第2号に規定する、「当該地方公営企業の性質上、能率的な経営を行ってもなおその経営に伴う収入のみをもって充てることが客観的に困難であると認められる」経費(医療水準の向上を図るため必要な高度又は特殊な医療で採算をとることが困難な経費等)																																																			

Ⅲ 持続可能な経営の確保

項目2 収益の確保 (3) その他の収益の確保

<p>○ 基本方向</p> <p>未収金については「県立病院未収金取扱要領」に基づき、全病院で統一的な発生防止及び徴収強化に取り組むことにより、新規発生率及び未収金総額の抑制を図る。</p> <p>使用料、手数料については、原価や他施設との均衡等を踏まえつつ、適切な受益者負担となるよう見直しを行う。</p> <p>資産の有効活用については、医師公舎・看護師宿舎は病院の建替整備に併せて廃止することとし、今後の必要戸数については、借上での対応を図る。</p> <p>○ 取組内容</p> <p>1 未収金の縮減</p> <p>(1) 職員の管理意識の向上を図るため未収金管理研修を実施するとともに、概算支払額の事前通知、退院日請求の促進、医療費に関する各種制度活用（高額療養費制度、出産育児一時金の代理受領等）の周知徹底を図ること等により発生防止に努める。</p> <p>(2) 新たな滞納者を発生させないため、納付期限経過直後に、督促・催告の実施、分割納付の誓約取付、未収金徴収嘱託員等による訪問徴収等、徴収対策を集中的に行い、未収金の早期回収に取り組む。</p> <p>(3) 滞納後一定期間を経過したものについては、連帯保証人に請求するとともに、回収の見込みが立たないものについては、弁護士法人へ徴収委託し、必要に応じて法的措置を講じるなど徴収強化に取り組む。</p> <p>2 使用料、手数料等の見直し</p> <p>(1) 使用料、手数料の自主料金については、適時適切に見直しを行う。</p> <p>(2) 届出によって実施が可能な先進医療については、各病院の診療機能に応じて適時適切に料金化する。</p> <p>(3) 民間事業者による病院施設の運営（売店、食堂、自動販売機等）にあたっては、プロポーザル方式の導入により、適正な使用料を確保するとともに、患者の利便性の向上を図る。</p> <p>3 資産の有効活用</p> <p>(1) 資産の有効活用については、医師公舎・看護師宿舎は病院の建替整備に併せて廃止する。</p> <p>(2) 医師公舎・看護師宿舎については借上を基本とし、地域の実情を踏まえた上で、棟借上、個別借上等を柔軟に選択する。</p>
---

実施計画	参考：現況（R3年2月の状況等）	備考																																																																																																																														
<p>〔目標〕</p> <p>未収金の発生防止と徴収の強化、使用料・手数料の適切な見直しを図り、引き続きその他収入の確保に努める。</p> <p>また、未利用施設については、県有財産等活用推進会議の方針等に従い、売却等を進める。</p>																																																																																																																																
<p>〔取組項目〕</p> <p>1 「県立病院未収金取扱要領」に基づいた取り組みの推進</p> <p>(1) 未収金の発生防止による新規発生率の抑制</p> <p>過年度未収金（決算時点） (単位：千円、件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>未収金総額</th> <th>件数</th> <th>新規発生未収金 A</th> <th>医業収益 B</th> <th>発生率 A/B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H20 年度決算</td><td>318,689</td><td>4,740</td><td>141,257</td><td>71,285,298</td><td>0.20%</td></tr> <tr><td>H21 年度決算</td><td>297,506</td><td>4,027</td><td>99,118</td><td>70,864,921</td><td>0.14%</td></tr> <tr><td>H22 年度決算</td><td>266,965</td><td>3,382</td><td>83,658</td><td>73,673,335</td><td>0.11%</td></tr> <tr><td>H23 年度決算</td><td>245,519</td><td>3,384</td><td>82,252</td><td>80,362,312</td><td>0.10%</td></tr> <tr><td>H24 年度決算</td><td>225,482</td><td>3,078</td><td>73,814</td><td>83,336,271</td><td>0.09%</td></tr> <tr><td>H25 年度決算</td><td>216,511</td><td>2,998</td><td>81,860</td><td>87,465,286</td><td>0.09%</td></tr> <tr><td>H26 年度決算</td><td>168,179</td><td>3,007</td><td>47,403</td><td>87,862,779</td><td>0.05%</td></tr> <tr><td>H27 年度決算</td><td>163,589</td><td>2,331</td><td>50,575</td><td>90,929,334</td><td>0.06%</td></tr> <tr><td>H28 年度決算</td><td>165,230</td><td>2,639</td><td>60,531</td><td>93,766,921</td><td>0.06%</td></tr> <tr><td>H29 年度決算</td><td>204,063</td><td>2,308</td><td>109,534</td><td>101,453,893</td><td>0.11%</td></tr> <tr><td>H30 年度決算</td><td>151,539</td><td>1,603</td><td>73,386</td><td>106,669,907</td><td>0.07%</td></tr> <tr><td>R 元年度決算</td><td>150,562</td><td>1,598</td><td>80,038</td><td>108,415,472</td><td>0.07%</td></tr> </tbody> </table> <p>※H20 年度：新規発生未収金のピーク</p> <p>(2) 新たな未収金滞納者を発生させないよう未収金の早期回収を推進</p> <p>① 発生後の早期督促、分割納付の制約取付等による新たな滞納の防止の実施</p> <p>② 納付交渉に応じない者に対する弁護士法人への徴収委託の推進</p>	区分	未収金総額	件数	新規発生未収金 A	医業収益 B	発生率 A/B	H20 年度決算	318,689	4,740	141,257	71,285,298	0.20%	H21 年度決算	297,506	4,027	99,118	70,864,921	0.14%	H22 年度決算	266,965	3,382	83,658	73,673,335	0.11%	H23 年度決算	245,519	3,384	82,252	80,362,312	0.10%	H24 年度決算	225,482	3,078	73,814	83,336,271	0.09%	H25 年度決算	216,511	2,998	81,860	87,465,286	0.09%	H26 年度決算	168,179	3,007	47,403	87,862,779	0.05%	H27 年度決算	163,589	2,331	50,575	90,929,334	0.06%	H28 年度決算	165,230	2,639	60,531	93,766,921	0.06%	H29 年度決算	204,063	2,308	109,534	101,453,893	0.11%	H30 年度決算	151,539	1,603	73,386	106,669,907	0.07%	R 元年度決算	150,562	1,598	80,038	108,415,472	0.07%	<p>1 未収金の縮減</p> <p>(1) 未収金の発生防止による新規発生率の抑制</p> <p>H20:141,257 千円（発生率：0.20%）</p> <p>R 元：80,038 千円（発生率：0.07%）</p> <p>(2) 新たな未収金滞納者を発生させないよう未収金の早期回収を推進</p> <p>② 納付交渉に応じない者に対する弁護士法人への徴収委託の推進</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th colspan="2">委託総額</th> <th colspan="2">回収総額</th> <th>回収率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>25</td><td>894 件</td><td>111,972 千円</td><td>298 件</td><td>32,201 千円</td><td>28.8%</td></tr> <tr><td>26</td><td>1,589 件</td><td>168,327 千円</td><td>664 件</td><td>56,535 千円</td><td>33.6%</td></tr> <tr><td>27</td><td>1,969 件</td><td>193,504 千円</td><td>1,160 件</td><td>71,098 千円</td><td>36.7%</td></tr> <tr><td>28</td><td>2,357 件</td><td>227,482 千円</td><td>1,365 件</td><td>87,222 千円</td><td>38.3%</td></tr> <tr><td>29</td><td>2,801 件</td><td>267,823 千円</td><td>1,583 件</td><td>105,644 千円</td><td>39.4%</td></tr> <tr><td>30</td><td>3,140 件</td><td>306,505 千円</td><td>1,744 件</td><td>117,975 千円</td><td>38.5%</td></tr> <tr><td>元</td><td>3,599 件</td><td>333,652 千円</td><td>2,162 件</td><td>132,416 千円</td><td>39.7%</td></tr> </tbody> </table>	年度	委託総額		回収総額		回収率	25	894 件	111,972 千円	298 件	32,201 千円	28.8%	26	1,589 件	168,327 千円	664 件	56,535 千円	33.6%	27	1,969 件	193,504 千円	1,160 件	71,098 千円	36.7%	28	2,357 件	227,482 千円	1,365 件	87,222 千円	38.3%	29	2,801 件	267,823 千円	1,583 件	105,644 千円	39.4%	30	3,140 件	306,505 千円	1,744 件	117,975 千円	38.5%	元	3,599 件	333,652 千円	2,162 件	132,416 千円	39.7%	
区分	未収金総額	件数	新規発生未収金 A	医業収益 B	発生率 A/B																																																																																																																											
H20 年度決算	318,689	4,740	141,257	71,285,298	0.20%																																																																																																																											
H21 年度決算	297,506	4,027	99,118	70,864,921	0.14%																																																																																																																											
H22 年度決算	266,965	3,382	83,658	73,673,335	0.11%																																																																																																																											
H23 年度決算	245,519	3,384	82,252	80,362,312	0.10%																																																																																																																											
H24 年度決算	225,482	3,078	73,814	83,336,271	0.09%																																																																																																																											
H25 年度決算	216,511	2,998	81,860	87,465,286	0.09%																																																																																																																											
H26 年度決算	168,179	3,007	47,403	87,862,779	0.05%																																																																																																																											
H27 年度決算	163,589	2,331	50,575	90,929,334	0.06%																																																																																																																											
H28 年度決算	165,230	2,639	60,531	93,766,921	0.06%																																																																																																																											
H29 年度決算	204,063	2,308	109,534	101,453,893	0.11%																																																																																																																											
H30 年度決算	151,539	1,603	73,386	106,669,907	0.07%																																																																																																																											
R 元年度決算	150,562	1,598	80,038	108,415,472	0.07%																																																																																																																											
年度	委託総額		回収総額		回収率																																																																																																																											
25	894 件	111,972 千円	298 件	32,201 千円	28.8%																																																																																																																											
26	1,589 件	168,327 千円	664 件	56,535 千円	33.6%																																																																																																																											
27	1,969 件	193,504 千円	1,160 件	71,098 千円	36.7%																																																																																																																											
28	2,357 件	227,482 千円	1,365 件	87,222 千円	38.3%																																																																																																																											
29	2,801 件	267,823 千円	1,583 件	105,644 千円	39.4%																																																																																																																											
30	3,140 件	306,505 千円	1,744 件	117,975 千円	38.5%																																																																																																																											
元	3,599 件	333,652 千円	2,162 件	132,416 千円	39.7%																																																																																																																											

実施計画	参考：現況（R3年2月の状況等）	備考																																																					
<p>(3) 弁護士法人による回収の促進（回収率の向上）を図るとともに悪質な滞納者については法的措置を実施</p> <p><b>2 使用料、手数料等の見直し</b>  (1) 使用料、手数料等自主料金の見直し</p> <p>(2) 必要に応じた各病院の診療機能に応じた先進医療等の料金化</p> <p>(3) プロポーザル方式による民間事業者の提案を元にした病院施設（売店等）の運営により、患者の利便性の向上を図るとともに、使用料及び売上加算を徴収するなど収益の増加に努める。</p> <p><b>3 資産の有効活用</b>  (1) 医師公舎・看護師宿舎について、地域の実情を踏まえた上で、棟借上、個別借上等を柔軟に選択</p>	<p>(3) 弁護士法人による悪質滞納者に対する法的措置の実施  H24年：5名、H25年：5名、H26年：5名、  H27年：5名、H28年：5名、H29年：6名  H30年：5名、R元年：5名（計41名）</p> <p><b>2 使用料、手数料等の見直し</b>  (1) 使用料、手数料等自主料金の見直し</p> <p>・実習料金</p> <table border="1" data-bbox="1893 499 2599 600"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>改定前</th> <th>改定後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実習生に係る受託単価</td> <td>1人1時間 120円(税抜)</td> <td>1人1日 1,500円(税抜)</td> </tr> </tbody> </table> <p>R3年4月1日適用</p> <p>(2) 先進医療等の料金化</p> <table border="1" data-bbox="1893 697 2599 798"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>料金名（料金額）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>先進医療</td> <td>国内完結型マルチプレックスがん遺伝子パネル検査 (600,000円)</td> </tr> </tbody> </table> <p>R3年1月1日設定</p> <p>(3) 民間業者による病院施設運営状況</p> <table border="1" data-bbox="1893 894 2629 1335"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>プロポーザル実施対象（R2.4） ※業者が提示した率で売上加算使用料を徴収しているもの</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>尼崎</td> <td>食堂、売店、自動販売機、床頭台システム、カフェ</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>食堂、売店、自動販売機、床頭台システム</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>食堂、売店、自動販売機、床頭台システム</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>食堂、売店、自動販売機、床頭台システム</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>食堂、売店、自動販売機、床頭台システム</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>売店、自動販売機</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>食堂、売店、自動販売機、床頭台システム</td> </tr> <tr> <td>がん</td> <td>売店、自動販売機</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>売店、自動販売機、床頭台システム</td> </tr> <tr> <td>リハ中央</td> <td>売店、自動販売機、床頭台システム</td> </tr> <tr> <td>リハ西播磨</td> <td>床頭台システム</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>3 資産の有効活用</b>  (1) 県有公舎、宿舎の利用状況（R3.1）</p> <table border="1" data-bbox="1893 1432 2599 1570"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>種別</th> <th>戸数</th> <th>入居</th> <th>空室</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">姫路</td> <td>医師公舎</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>看護師宿舎</td> <td>16</td> <td>15</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>21</td> <td>18</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	区分	改定前	改定後	実習生に係る受託単価	1人1時間 120円(税抜)	1人1日 1,500円(税抜)	区分	料金名（料金額）	先進医療	国内完結型マルチプレックスがん遺伝子パネル検査 (600,000円)	施設名	プロポーザル実施対象（R2.4） ※業者が提示した率で売上加算使用料を徴収しているもの	尼崎	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム、カフェ	西宮	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム	加古川	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム	丹波	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム	淡路	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム	こころ	売店、自動販売機	こども	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム	がん	売店、自動販売機	姫路	売店、自動販売機、床頭台システム	リハ中央	売店、自動販売機、床頭台システム	リハ西播磨	床頭台システム	施設名	種別	戸数	入居	空室	姫路	医師公舎	5	3	2	看護師宿舎	16	15	1	計		21	18	3	
区分	改定前	改定後																																																					
実習生に係る受託単価	1人1時間 120円(税抜)	1人1日 1,500円(税抜)																																																					
区分	料金名（料金額）																																																						
先進医療	国内完結型マルチプレックスがん遺伝子パネル検査 (600,000円)																																																						
施設名	プロポーザル実施対象（R2.4） ※業者が提示した率で売上加算使用料を徴収しているもの																																																						
尼崎	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム、カフェ																																																						
西宮	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム																																																						
加古川	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム																																																						
丹波	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム																																																						
淡路	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム																																																						
こころ	売店、自動販売機																																																						
こども	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム																																																						
がん	売店、自動販売機																																																						
姫路	売店、自動販売機、床頭台システム																																																						
リハ中央	売店、自動販売機、床頭台システム																																																						
リハ西播磨	床頭台システム																																																						
施設名	種別	戸数	入居	空室																																																			
姫路	医師公舎	5	3	2																																																			
	看護師宿舎	16	15	1																																																			
計		21	18	3																																																			

Ⅲ 持続可能な経営の確保

項目3 費用の抑制

<p>○ 基本方向 持続可能な経営の確保に向け、診療機能に見合う収益を確保するとともに、費用の抑制に取り組み、医業収益に対する給与費比率、材料費比率及び経費比率の改善に努める。</p> <p>○ 取組内容</p> <p>1 給与費比率の改善 (1) 業務の委託化や効率化を検討し、給与費の適正化を進める。 (2) 診療報酬制度や診療機能の高度化に対応した職員の適正配置による収益の確保を図り、給与費比率の抑制を推進する。</p> <p>2 材料費比率の改善 (1) 診療材料費の抑制 ① 診療材料については、診療材料委員会等において、性能及び価格等を検証のうえ、品目を選定する。 ② 診療材料の購入に当たっては、診療材料コンサルティング業者のノウハウを活用しながら、必要に応じてメーカーを対象とした交渉を行う。 ③ 同性能の診療材料については、安価材料への統一化を図ったうえで、一括購入に取り組む。 ④ 診療材料の使用に当たっては、在庫管理を徹底するとともに、使用数量の適正化を図る。 (2) 薬品費の抑制 ① 医薬品については、購入方式の多様化を図ることにより、より低廉な価格での購入に努める。 ② 薬剤師、事務職員等のチームにより、卸業者はもとより、必要に応じてメーカーを対象とした交渉に取り組む。 ③ 後発医薬品については、供給の安定性等を踏まえたうえで、使用拡大に努める。 ④ バイオ後続品については、有効性、安全性・安定供給等を踏まえたうえで、使用拡大に努める。 ⑤ 同種同効品を整理し、採用品目数の縮減を図ることにより、使用効率の向上を促進する。 ⑥ 有効性、安全性、経済性を踏まえた上で、医薬品の院内使用指針（フォーミュラリー）の導入を検討する。</p> <p>3 経費比率の改善 (1) 施設管理等の業務委託については、引き続き委託範囲や実施頻度等を見直すことにより、委託費の抑制を図る。 (2) 医療機器保守契約の一括契約化の推進、医療器材の一括購入、事務用品等の安価製品への切替等に取り組むことにより、経費を抑制する。 (3) 施設・設備を計画的に改修し、投資の効率化を図ることにより、修繕費を抑制する。 (4) 施設改修時に省エネルギー対策を実施することにより、光熱水費を抑制する。 (5) 効率的な業務遂行や経費節減により、一般事務費を抑制する。</p>
---

実施計画	参考：現況（R3年2月の状況等）	備考
<p>〔目標〕 診療機能に見合う収益を確保するため、費用対効果の検証に基づく経営資源の有効活用に取り組み、医業収益に対する給与費比率、材料費比率及び経費比率の改善に努める。 (10病院) ・給与費比率 令和2年度決見 67.7%→令和3年度計画 60.8% ・材料費比率 令和2年度決見 35.6%→令和3年度計画 35.2% ・経費比率 令和2年度決見 19.6%→令和3年度計画 18.2%</p> <p>〔取組項目〕</p> <p>1 給与費比率の改善 (1) 業務の委託化や効率化を引き続き検討し、給与費の適性化を推進 (2) 診療報酬基準の改定等に応じた職員の適正配置による収益の確保</p> <p>2 材料費比率の改善 (1) 診療材料 ① 診療材料委員会等において性能及び価格等を検証のうえ品目を選定 材料選択の際、各病院に設置した診療材料委員会において価格・同効品を含めた審査を実施  ② 多くの民間を含む急性期系病院が加入する専門コンサルタントのベンチマークシステムを活用した価格交渉の強化  ③ 安価材料への統一化及び一括購入の推進 診療材料等購入に係る全国的な共同購入組織を活用した安価材料等への切替により、診療材料費を抑制</p>	<p>1 給与費比率の改善 診療機能の高度化等に対応するため、増員配置を行ったものに関して、費用対効果の検証を実施</p> <p>2 材料費比率の改善 (1) 診療材料 ① 診療材料委員会等において性能及び価格等を検証のうえ品目を選定 ② 院内SPD業者のノウハウを活用して得られた民間価格情報等を踏まえたうえで価格交渉を強化 【令和元年度実績】 本庁品： 効果額 16,955 千円 病院品： 効果額 31,476 千円 ③ 実績 ア 全国的な共同購入組織における安価な提案品目について、試用のうえ共同購入を実施 【令和元年度実績】 切替による削減額： 260,821 千円</p>	

実施計画	参考：現況（R3年2月の状況等）	備考												
<p>(2) 薬品</p> <p>① 在庫医薬品を適正に管理し、定期的に在庫定数の見直しを実施することで、医薬品購入量の適正化に努めるとともに、薬品値引率拡大の取組や試薬の一括入札、専門コンサルタントのベンチマークシステムを活用した価格交渉の強化により低廉な価格での購入に努める。</p> <p>② 薬剤部長会と連携し、後発医薬品の県立病院統一化を推進</p> <p>③ 県立病院における後発医薬品数量シェア達成計画について、国目標（平成27年央に70%以上、令和2年9月までに80%以上）を前倒しで実施 令和3年度以降の目標 85.0%以上を維持（後発医薬品調剤体制加算3の算定要件を満たす） 後発医薬品使用率実績及び計画</p> <table border="1" data-bbox="222 499 1495 569"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H28 実績</th> <th>H29 実績</th> <th>H30 実績</th> <th>R1 実績</th> <th>R2 上期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数量シェア</td> <td>83.3%</td> <td>85.3%</td> <td>90.2%</td> <td>91.7%</td> <td>90.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>④ 有効性、安全性・安定供給等を踏まえたうえで、バイオ後続品の使用拡大を引き続き検討</p> <p>⑤ 各病院の診療機能に見合った採用品目の選択及び同種同効薬の整理による採用品目数の縮減を引き続き実施</p> <p>⑥ 有効性、安全性、経済性を踏まえた上で、医薬品の院内使用指針（フォーミュラリー）の導入を検討</p> <p><b>3 経費比率の改善</b></p> <p>(1) 委託範囲や実施頻度の見直しによる委託費の抑制</p> <p>(2) 医療機器保守契約の一括契約化等の推進</p> <p>① 各職種との協働による医療機器保守契約の一括化の推進</p> <p>② 医療器材の一括購入、事務用品等の安価製品への切り替え等の取り組みの検討</p> <p>(3) 施設・設備の計画的な改修による修繕費の抑制</p> <p>(4) 照明のLED化の推進等の省エネルギー対策の実施による光熱水費の抑制</p> <p>(5) 効率的な業務遂行や経費節減による一般事務費の抑制</p>	区分	H28 実績	H29 実績	H30 実績	R1 実績	R2 上期	数量シェア	83.3%	85.3%	90.2%	91.7%	90.2%	<p>(2) 薬品</p> <p>③ 後発医薬品使用状況 【県立病院 後発医薬品数量シェア】 令和2年度上期90.2%で、全病院で後発医薬品調剤体制加算3の算定要件である85%を達成している また、後発医薬品の採用にあたっては、各病院の薬事委員会において安全性や安定供給体制等を確認の上、採用の検討を行っている</p> <p>④ バイオ後続品の使用拡大 令和2年度上期 採用品目 44品目 薬品費削減効果額 105,486千円</p> <p>⑤ 使用実績を元にした在庫管理の徹底により採用品目を縮減 全採用医薬品数 令和元年度末 4,670品目 →令和2年度上期末 4,590品目 (△80品目)</p> <p><b>3 経費比率の改善</b></p> <p>(2) 一括保守契約の拡大 8機種88台について一括保守を実施</p> <p>(3) 施設・設備の計画的改修による修繕費の抑制</p> <p>(4) 建替整備にあわせて太陽光発電を設置 (尼崎、丹波、淡路、こころ、こども)</p> <p>(5) 一般事務費の抑制・節減</p> <p>① 電気使用量の抑制 (照明のLED化の推進、昼休みの事務室消灯等)</p> <p>② 用紙の節減(資料の電子媒体化、両面コピーの徹底、2up書類の推進)等</p>	
区分	H28 実績	H29 実績	H30 実績	R1 実績	R2 上期									
数量シェア	83.3%	85.3%	90.2%	91.7%	90.2%									

IV 安定した医療提供体制の確立

項目1 効果的・効率的な組織・人員体制の整備

- 基本方向  
法令、診療報酬制度等に定められている配置基準を基本に、病院事業を取り巻く環境の変化に迅速かつ機動的に対応するため、医療機能の高度化・専門分化、医療サービスの水準の維持・向上、新病院の機能充実等を図る観点から、課題に応じた組織の見直しや職員の適正配置を行う。
- 取組内容
  - 1 医療機能の高度化・専門分化、医療ニーズの多様化、診療報酬の改定等に迅速、的確かつ柔軟に対応できる組織の整備や職員の適正配置、業務執行方法等の見直しによる効率的な人員体制の整備を行う。
  - 2 新病院の開設にあたり、病院機能が十分発揮できるよう、複数の診療科、多職種との協働による専門センター制等を推進するなど、効果的・効率的な組織の整備や、病院機能が十分発揮できるよう人員体制の整備を行う。

実施計画	参考：現況（R3年2月の状況等）	備考																																																																								
<p><b>〔目標〕</b> 病院事業を取り巻く環境の変化や診療報酬基準の改定、診療機能の高度化等に迅速かつ的確に対応し、県民に良質で安心な医療を効果的、効率的に提供していくため、組織・職制の見直しと人員の適正配置を行う。</p>																																																																										
<p><b>〔取組項目〕</b></p> <p><b>1 医療機能高度化等に対応した組織及び人員体制の整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機能の高度化や診療報酬制度の改定、新型コロナウイルス感染症への対応など、病院事業を取り巻く環境の変化に迅速かつ機動的に対応し、直面する課題に応じた適切な組織・職制の見直しと人員体制の整備を実施（加古川医療センターにおける新型コロナウイルス感染症臨時重症専用病床の整備に伴う増員）</li> </ul> <p><b>2 新病院開設に対応した組織及び人員体制の整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新病院の建替整備が続く中、新病院の体制整備にあたっては、病院運営の観点を踏まえつつ、新病院で提供する診療機能が十分発揮できるよう、効果的・効率的な組織・職制の見直しと人員体制の整備を推進（はりま姫路総合医療センター（仮称）の開設準備に向けた対応等）</li> </ul>	<p>【参考：令和2年度組織改正】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感染対策部の設置（各県立病院）</li> </ul> <p>【参考：人員体制の整備状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高度専門医療や地域医療連携の充実等</li> </ul>																																																																									
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配置数</td> <td>+144</td> <td>+32</td> <td>+61</td> <td>+81</td> <td>+29</td> <td>+47</td> <td>+40</td> <td>+48</td> </tr> <tr> <td>累計</td> <td>+144</td> <td>+176</td> <td>+237</td> <td>+318</td> <td>+347</td> <td>+394</td> <td>+434</td> <td>+482</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	配置数	+144	+32	+61	+81	+29	+47	+40	+48	累計	+144	+176	+237	+318	+347	+394	+434	+482																																														
年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3																																																																		
配置数	+144	+32	+61	+81	+29	+47	+40	+48																																																																		
累計	+144	+176	+237	+318	+347	+394	+434	+482																																																																		
	<p>・ 新病院整備に伴う体制整備</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>淡路</td> <td colspan="8">(H25.5開設)</td> </tr> <tr> <td>尼崎</td> <td>+32</td> <td>+322</td> <td colspan="6">(H27.7開設)</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>-</td> <td>+1</td> <td>+74</td> <td colspan="5">(H28.5開設)</td> </tr> <tr> <td>陽子線</td> <td>+1</td> <td>+8</td> <td>+4</td> <td>+20</td> <td colspan="4">(H29.12開設)</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>+1</td> <td>-</td> <td>+109 (R1.7開設)</td> <td>+29</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>+3</td> <td>+6</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>+33</td> <td>+331</td> <td>+78</td> <td>+21</td> <td>-</td> <td>+112</td> <td>+35</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	淡路	(H25.5開設)								尼崎	+32	+322	(H27.7開設)						こども	-	+1	+74	(H28.5開設)					陽子線	+1	+8	+4	+20	(H29.12開設)				丹波	-	-	-	+1	-	+109 (R1.7開設)	+29	-	姫路	-	-	-	-	-	+3	+6	-	合計	+33	+331	+78	+21	-	+112	+35	-	
年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3																																																																		
淡路	(H25.5開設)																																																																									
尼崎	+32	+322	(H27.7開設)																																																																							
こども	-	+1	+74	(H28.5開設)																																																																						
陽子線	+1	+8	+4	+20	(H29.12開設)																																																																					
丹波	-	-	-	+1	-	+109 (R1.7開設)	+29	-																																																																		
姫路	-	-	-	-	-	+3	+6	-																																																																		
合計	+33	+331	+78	+21	-	+112	+35	-																																																																		

IV 安定した医療提供体制の確立

項目2 医師確保対策の推進

○ 基本方向	地域や診療科における医師の不足・偏在を解消するため、独自の医師確保対策を推進するとともに、県養成医師の義務年限終了後も含めたキャリア支援を実施するなど、地域医療の充実にも取り組んでいく。
○ 取組内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 大学医局からの医師確保に向けて、関係大学との連携強化を図る。</li> <li>2 県立病院のスケールメリットを活かした臨床研修制度や専攻医制度の実施、新専門医制度に対応した研修プログラムの提供等の研修基盤の充実により、若手医師の確保・育成を図る。</li> <li>3 指導医資格の取得支援等により、指導医の確保・育成を図る。</li> <li>4 丹波医療センターの教育・研修機能の充実や医師修学資金制度の実施、麻酔科・救急科プログラム等の効果的な運用等により、地域医療を担う医師や特定診療科の医師確保を図る。</li> <li>5 県養成医師に対して、義務年限終了後も含め、県立病院を活用したキャリア支援を実施する。</li> <li>6 高度先進医療設備・機器の新規導入や院内施設の整備、医療秘書の設置による業務の負担軽減等、医師にとって魅力ある執務環境の整備を進める。</li> <li>7 県立病院に勤務する医師の資質向上や士気高揚を図るため、海外学会研究発表派遣事業の活用を促進する。</li> </ol>

実施計画	参考：現況（R3年2月の状況等）	備考
<p>〔目標〕</p> <p>必要な医師総数の確保や、地域偏在・診療科偏在の解消に向け総合的な医師確保対策を推進する。</p>	<p>○ 医師数の推移</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 正規医師 516人(H19.4) → 802人(R2.4)</li> <li>・ 専攻医 138人(H19.4) → 328人(R2.4)</li> </ul>	
<p>〔取組項目〕</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 臨床研修制度の実施 60名の定員を公募により充足</li> <li>2 専攻医制度の実施及び新専門医制度への対応 基幹施設として魅力ある研修プログラムを策定するとともに、連携施設として基幹施設と十分に連携し、専攻医を確保</li> <li>3 指導医資格の取得支援 指導医資格取得に要する経費（受験料・手数料・認定料等）を補助</li> <li>4 医師修学資金制度の実施</li> <li>5 地域医療循環型人材育成プログラムの実施 丹波医療センターの医師確保のため、神戸大学から中堅医師10名と非常勤指導医3名以上の派遣を受け、専攻医等を含めた若手医師の育成を図るプログラムを実施</li> <li>6 麻酔科専門研修プログラムの実施 新規研修参加医師数：3名</li> <li>7 救急科研修プログラムの実施 新規研修参加医師数：3名</li> <li>8 県養成医師の義務年限終了後も含めたキャリア支援の実施</li> <li>9 高度先進医療設備・機器の導入【再掲 P38】</li> <li>10 医療秘書の効果的な配置</li> <li>11 医師の海外学会での研究発表に対する支援 海外発表に要する旅費・学会参加費等を補助 ※新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ補助実施を検討</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 臨床研修医の採用状況（R2.4） 61名</li> <li>2 新専門医制度研修プログラムにおける研修開始 専攻医の採用状況（R2.4） 62名</li> <li>3 指導医資格の取得支援（R1実績） 261名</li> <li>4 医師修学資金貸与実績（R2.4） （1）指定診療科枠 現貸与者数（返還猶予含む）：26名 （2）指定病院枠 現貸与者数（返還猶予含む）：16名 （3）中・西播磨枠 現貸与者数：38名</li> <li>5 地域医療循環型人材育成プログラム 平成20年度に事業開始、平成24年度から内容を充実し実施</li> <li>6 麻酔科専門研修プログラム現参加者数（R2.4） 14名</li> <li>7 救急科研修プログラム現参加者数（R2.4） 24名</li> <li>8 県養成医師の義務年限終了後のキャリア支援（R1） 1名</li> <li>10 医療秘書の配置（R2.12：311名）</li> <li>11 医師の海外学会での研究発表支援（R1） 42名</li> </ol>	

IV 安定した医療提供体制の確立

項目3 看護師確保対策の推進

<p>○ 基本方向 県立病院の建替整備や診療報酬の施設基準等に応じた看護体制を整備するため、多様な看護師確保対策を推進する。</p> <p>○ 取組内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 受験生にとって受験しやすい環境整備のため、採用試験の実施方法の見直しを図る。</li> <li>2 看護師・看護学生に対して、県立病院単独の合同説明会等を実施し、県立病院で勤務する魅力のPRを一層推進する。</li> <li>3 看護師修学資金制度を活用するとともに、地元学生等への説明会を実施するなど、県立病院の看護師の地域偏在に対応する。</li> <li>4 認定看護師等の養成に向けた派遣研修制度の活用により、キャリア支援の充実を図る。</li> <li>5 看護補助者の効果的な配置等により、看護師の業務負担の軽減を図る。</li> <li>6 多様な勤務形態の整備や育児支援制度の充実・利用促進など、魅力ある職場環境づくりを更に推進する。</li> </ol>
--

実施計画	参考：現況（R3年2月の状況等）	備考																																																																																																																																													
<p>〔目標〕 人材の確保・育成を図るための取組みを積極的に推進する。</p>																																																																																																																																															
<p>〔取組項目〕</p> <p>1 看護師の需給状況を考慮した採用試験の実施 (試験会場：神戸、姫路、岡山、徳島、福岡)</p> <p>○県立病院における看護師の採用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分 \ 年度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受験者数 (A)</td> <td>574</td> <td>766</td> <td>839</td> <td>863</td> <td>874</td> <td>988</td> <td>909</td> <td>1016</td> </tr> <tr> <td>合格者数 (B)</td> <td>479</td> <td>598</td> <td>535</td> <td>293</td> <td>348</td> <td>340</td> <td>353</td> <td>419</td> </tr> <tr> <td>受験倍率 (A/B)</td> <td>1.20</td> <td>1.28</td> <td>1.57</td> <td>2.95</td> <td>2.51</td> <td>2.91</td> <td>2.58</td> <td>2.42</td> </tr> <tr> <td>採用者数</td> <td>426</td> <td>547</td> <td>475</td> <td>265</td> <td>329</td> <td>320</td> <td>321</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○県立病院における看護師の採用状況</p> <p>○看護師修学資金の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>募集人数</td> <td>60</td> <td>30</td> <td>20</td> <td>50</td> <td>75</td> <td>100</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>応募者</td> <td>169</td> <td>143</td> <td>88</td> <td>110</td> <td>112</td> <td>151</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>合格者</td> <td>84</td> <td>25</td> <td>18</td> <td>50</td> <td>58</td> <td>83</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1年</td> <td>27</td> <td>10</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>17</td> <td>28</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>2年(1年)</td> <td>20</td> <td>9</td> <td>5</td> <td>18</td> <td>23</td> <td>19</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>3年(2年)</td> <td>13</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>10</td> <td>9</td> <td>15</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>4年(3年)</td> <td>24</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>13</td> <td>9</td> <td>21</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>採用者</td> <td>65</td> <td>62</td> <td>48</td> <td>44</td> <td>46</td> <td>28</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td>丹波配属</td> <td>20</td> <td>5</td> <td>11</td> <td>3</td> <td>15</td> <td>5</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>淡路配属</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>28</td> <td>3</td> <td>19</td> <td>18</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>その他配属</td> <td>39</td> <td>50</td> <td>9</td> <td>38</td> <td>12</td> <td>5</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table>	区分 \ 年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	受験者数 (A)	574	766	839	863	874	988	909	1016	合格者数 (B)	479	598	535	293	348	340	353	419	受験倍率 (A/B)	1.20	1.28	1.57	2.95	2.51	2.91	2.58	2.42	採用者数	426	547	475	265	329	320	321		年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	募集人数	60	30	20	50	75	100	50	応募者	169	143	88	110	112	151	—	合格者	84	25	18	50	58	83	—	1年	27	10	8	9	17	28	—	2年(1年)	20	9	5	18	23	19	—	3年(2年)	13	3	4	10	9	15	—	4年(3年)	24	3	1	13	9	21	—	採用者	65	62	48	44	46	28	54	丹波配属	20	5	11	3	15	5	4	淡路配属	6	7	28	3	19	18	39	その他配属	39	50	9	38	12	5	11	<p>1 採用試験の実施状況</p> <p>○実施方法の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地方試験会場（神戸除く）の設置状況 H24～：岡山、徳島、福岡 H25～：姫路、岡山、徳島、福岡、福井、沖縄 H27～：姫路、広島、徳島、福岡、福井、沖縄 H29～：姫路、広島、徳島、福岡</li> <li>・受験可能年齢の引き上げ H23～：40歳→45歳</li> <li>・実施回数の増 H23～：1回→3回 H25～：3回→4回</li> <li>・実施日の増 R1～：1回目採用試験（6月）は、新卒者と既卒者をそれぞれ別日（連続する2日）で実施</li> </ul> <p>2 県立病院単独の合同説明会の実施(H30.4.28、R2.2.22)</p> <p>3 看護師修学資金制度の創設(H23)と募集枠の拡大 H23～：50名 H24～：120名 H25～：150名 H26～：200名 H27～：200名以内</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護師修学資金の最終学年の新規貸付決定者への貸与額を倍増(H26) (月額5万円→月額10万円)</li> </ul> <p>4 認定看護師養成派遣制度の実施(R1：6名)</p> <p>5 看護補助者の配置 (R2.12：454名)</p> <p>6 全県立病院に2交替勤務制度の導入 (H27～)、夜勤専従勤務制度の導入 (R3～)</p>	
区分 \ 年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2																																																																																																																																							
受験者数 (A)	574	766	839	863	874	988	909	1016																																																																																																																																							
合格者数 (B)	479	598	535	293	348	340	353	419																																																																																																																																							
受験倍率 (A/B)	1.20	1.28	1.57	2.95	2.51	2.91	2.58	2.42																																																																																																																																							
採用者数	426	547	475	265	329	320	321																																																																																																																																								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3																																																																																																																																								
募集人数	60	30	20	50	75	100	50																																																																																																																																								
応募者	169	143	88	110	112	151	—																																																																																																																																								
合格者	84	25	18	50	58	83	—																																																																																																																																								
1年	27	10	8	9	17	28	—																																																																																																																																								
2年(1年)	20	9	5	18	23	19	—																																																																																																																																								
3年(2年)	13	3	4	10	9	15	—																																																																																																																																								
4年(3年)	24	3	1	13	9	21	—																																																																																																																																								
採用者	65	62	48	44	46	28	54																																																																																																																																								
丹波配属	20	5	11	3	15	5	4																																																																																																																																								
淡路配属	6	7	28	3	19	18	39																																																																																																																																								
その他配属	39	50	9	38	12	5	11																																																																																																																																								
<p>2 県立病院単独の合同説明会の実施</p>																																																																																																																																															
<p>3 看護師修学資金制度の実施</p>																																																																																																																																															
<p>4 認定看護師の養成に向けた派遣研修制度の実施 日本看護協会等が認定する認定看護師教育課程に看護師を派遣 年間養成数：15名程度（派遣期間6ヶ月程度）</p>																																																																																																																																															
<p>5 看護補助者の活用 看護師の業務負担軽減を図るため、看護補助者を配置</p>																																																																																																																																															
<p>6 ワークライフバランスに配慮した多様な働き方の推進</p>																																																																																																																																															

Ⅳ 安定した医療提供体制の確立

項目4 専門的人材の充実・確保と人材育成の取組

<p>○ 基本方向</p> <p>診療機能の高度化・専門化やICTの高度化等の医療を取り巻く環境変化に迅速かつ的確に対応し、求められる専門性を備えた職種・人員の確保策を検討する。病院運営の中核となる事務部門を強化するため、病院や医療制度を熟知した専門的人材の育成・確保策を検討する。県立病院組織の活力を更に向上するため、多種多様な研修機会の提供や研修内容の充実等を通じ、職員の資質・能力を高めるための取り組みを積極的に進める。</p> <p>○ 取組内容</p> <p>1 専門的人材の充実・確保</p> <p>(1) 専門性を備えた人材について、多様な任用形態による確保策を検討する。</p> <p>(2) 病院運営の中核となる人材を育成する人事ローテーション等を検討する。</p> <p>(3) 事務職員に向けた病院経営に関する研修等を実施する。</p> <p>2 職員の育成、士気高揚</p> <p>(1) 職種・職務毎に研修の体系や内容を点検し、更なる充実を図る。</p> <p>(2) 患者に接する機会の多い職員を対象とする接遇研修を更に充実する。</p> <p>(3) 病院運営に顕著な功績のあった職員等を対象に、管理者表彰及び院長表彰を積極的に実施する。</p> <p>(4) 査定昇給制度の適切な運用や勤勉手当への勤務成績の反映により、職員の士気高揚を図る。</p>
---

実施計画	参考：現況（R3年2月の状況等）	備考
<p>〔目標〕</p> <p>専門的人材の確保・育成を図るための取組を実施する。</p>		
<p>〔取組項目〕</p> <p>1 専門的人材の充実・確保</p> <p>(1) 診療機能の高度化・専門化や医療を取り巻く環境変化に対応するため、施設基準の改定等に応じて必要となる専門的人材の確保策を検討・医療情報職の増員</p> <p>(2) 患者サービスの維持・向上を図るため、病院運営に係る知識・経験が豊富な人材育成ができる人事配置について、引き続き、人事当局と調整</p> <p>(3) 総務事務・給与事務担当者等を対象とした会議、研修の実施</p> <p>(4) 県立病院経営に係る人材育成のためのMBA受講支援</p> <p>① 兵庫県立大学大学院</p> <p>② 関西学院大学大学院</p> <p>③ 神戸大学大学院</p> <p>(5) 神戸大学実践的病院経営マネジメント人材養成プラン（M×M KOB E）受講支援 受講する職員の学費を負担</p> <p>(6) 診療情報管理士の育成【再掲 P40】</p> <p>2 職員の育成、士気高揚</p> <p>(1) 職員の資質向上のため職種別研修や階級別研修を効率的に実施</p> <p>(2) 接遇研修の実施（年1回）（接遇とクレーム対応等）【再掲 P30】 ※新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ開催検討</p> <p>(3) 管理者表彰や院長表彰の積極的な実施</p> <p>(4) 職員の士気高揚を図るため、勤務成績を反映した査定昇給や勤勉手当への反映を実施</p>	<p>1 専門的人材の充実・確保</p> <p>(1) 専門分野に精通した人材の登用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・副院長に看護職を積極的に登用</li> <li>・勤務延長の活用</li> <li>・新たな専門職の創設： 臨床工学技士（H16～）、医療福祉相談員（H25～）、 医療情報職（H30～）</li> <li>・現在の任用制度を活用した必要な人材の確保</li> </ul> <p>(3) 総務担当者会議の実施（H31.4、R1.8） ※R2年度はコロナにより実施できず 新任経理研修会の実施（H31.4） 簿記研修の実施（R1.9） 経理事務研修の実施（R1.11）</p> <p>(4) MBA受講支援実績（H21～） 累計17名（R2新規2名含）</p> <p>(5) M×M KOB E受講支援実績（R1～） 累計13名（R2新規8名含）</p> <p>2 職員の育成、士気高揚</p> <p>(1) 職員の人材育成を積極的に推進するため、看護師等の職種別研修や副院長研修、新任職員研修等の階層別研修を実施（R1:26研修）</p> <p>(2) 接遇リーダー養成研修の実施【再掲 P30】 ※新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ開催中止</p> <p>(3) 病院運営に顕著な功績のあった職員等を対象に管理者表彰（年2回実施）及び院長表彰（適宜実施）を積極的に実施</p> <p>(4) 査定昇給（年1回）の適切な運用や勤勉手当への勤務成績の反映（年2回）により、職員の士気高揚を推進</p>	

IV 安定した医療提供体制の確立

項目5 働きやすい職場づくり

- 基本方向  
県立病院の職員を安定的に確保するため魅力ある職場環境の整備を進めるとともに、健康管理やワークライフバランスに配慮し、超過勤務の縮減、休暇の取得促進等、働きやすい職場環境づくりに取り組む。
- 取組内容
  - 1 国における医師の働き方改革に関する検討会から示される労働時間の短縮策などに取り組み、労働時間の適正化を推進する。
  - 2 院内施設の整備、医療秘書の設置による業務の負担軽減等、医師にとって魅力ある執務環境の整備を進める。
  - 3 女性医師が増加している中、仕事と育児を両立することができる育児短時間制度や部分休業制度の利用促進、院内保育所の充実等を図ることにより、女性が働きやすい環境整備を推進する。

実施計画	参考：現況（R3年2月の状況等）	備考						
<p>【目標】 働きやすい職場づくりに向けて、超過勤務の縮減や職員自身の健康管理意識の高揚を図るため、継続して以下の取組を実施する。</p>								
<p>【取組項目】</p> <p><b>1 労働時間の適正化の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同職種や同診療科内での業務の平準化、タスクシフティング等による業務の効率化</li> <li>・各病院の実情に応じた超過勤務縮減に向けた取り組みの推進</li> <li>・年次休暇の計画的な取得の促進</li> </ul> <p><b>2 魅力ある執務環境の整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医師の業務負担軽減を図るため、医療秘書の効果的な配置</li> <li>・給与の見直しによる処遇改善</li> </ul> <p><b>3 女性医師が働きやすい環境の整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・育児休業や育児短時間勤務制度等の活用促進</li> <li>・院内保育所の整備</li> <li>・在宅勤務制度の実施</li> <li>・民間情報サイト等を利用した女性医師バンクの活用</li> </ul>	<table border="1"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目</th> <th style="text-align: center;">取組実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>多様な勤務形態の整備検討</td> <td>・学童保育への送迎を目的とした部分休暇制度を導入（H22）</td> </tr> <tr> <td>育児支援制度の利用促進</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「子育て支援休暇」の取得事由に子の健康診断や予防接種等を追加（H22）</li> <li>・「子育て支援休暇」の対象となる子を満15歳までに拡大（H30）</li> <li>・院内保育の対象職種の拡大（H16）</li> <li>・院内保育の開設時間の延長等（H19）</li> <li>・尼崎総合医療センターの24時間保育を開始（H23）</li> <li>・姫路循環器病センターに院内保育室を設置（H24）</li> <li>・こども病院で休日保育を実施（H28）</li> <li>・尼崎総合医療センターで病児・病後児保育を開始（H29）</li> <li>・丹波医療センターに院内保育室を設置（R1）</li> <li>・在宅勤務制度の試行導入（H30.10）</li> <li>・在宅勤務制度の本格実施（R2.10～）</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	項目	取組実績	多様な勤務形態の整備検討	・学童保育への送迎を目的とした部分休暇制度を導入（H22）	育児支援制度の利用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「子育て支援休暇」の取得事由に子の健康診断や予防接種等を追加（H22）</li> <li>・「子育て支援休暇」の対象となる子を満15歳までに拡大（H30）</li> <li>・院内保育の対象職種の拡大（H16）</li> <li>・院内保育の開設時間の延長等（H19）</li> <li>・尼崎総合医療センターの24時間保育を開始（H23）</li> <li>・姫路循環器病センターに院内保育室を設置（H24）</li> <li>・こども病院で休日保育を実施（H28）</li> <li>・尼崎総合医療センターで病児・病後児保育を開始（H29）</li> <li>・丹波医療センターに院内保育室を設置（R1）</li> <li>・在宅勤務制度の試行導入（H30.10）</li> <li>・在宅勤務制度の本格実施（R2.10～）</li> </ul>	
項目	取組実績							
多様な勤務形態の整備検討	・学童保育への送迎を目的とした部分休暇制度を導入（H22）							
育児支援制度の利用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「子育て支援休暇」の取得事由に子の健康診断や予防接種等を追加（H22）</li> <li>・「子育て支援休暇」の対象となる子を満15歳までに拡大（H30）</li> <li>・院内保育の対象職種の拡大（H16）</li> <li>・院内保育の開設時間の延長等（H19）</li> <li>・尼崎総合医療センターの24時間保育を開始（H23）</li> <li>・姫路循環器病センターに院内保育室を設置（H24）</li> <li>・こども病院で休日保育を実施（H28）</li> <li>・尼崎総合医療センターで病児・病後児保育を開始（H29）</li> <li>・丹波医療センターに院内保育室を設置（R1）</li> <li>・在宅勤務制度の試行導入（H30.10）</li> <li>・在宅勤務制度の本格実施（R2.10～）</li> </ul>							

IV 安定した医療提供体制の確立

項目6 経営形態の検討

○ 基本方向	持続可能な経営のもとで県民に対して高度専門・特殊医療等を継続して提供していくうえで、本県病院事業に最も相応しい経営形態のあり方を検討する。
○ 取組内容	<p>以下を踏まえ、「第4次病院構造改革推進方策」の終期である令和5年度までは、地方公営企業法の全部適用を維持する。</p> <p>なお、国の制度の見直し等病院事業を取り巻く環境に大きな変化があった場合には、必要に応じて経営形態のあり方についての検討を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県立病院が関係する複数の統合再編事業を協議・調整中であること</li> <li>・ 初期投資に必要な財源確保や統合再編・建替整備等の資金調達に懸念があること</li> <li>・ 地域医療の確保と公立病院改革の推進に関する調査研究会の分析では、必ずしも地方独立行政法人制度適用が経営改善に繋がるわけではないとされていること</li> </ul>

実施計画	参考：現況（R3年2月の状況等）	備考
<p>〔目標〕</p> <p>令和5年度までは現在の地方公営企業法の全部適用を維持するが、国の制度の見直し等病院事業を取り巻く環境に大きな変化があった場合には、必要に応じて経営形態のあり方についての検討を行う。</p>		

<p>〔取組項目〕</p> <p>経営形態のあり方検討に資するため、病院事業を取り巻く環境変化や国及び他団体の動向を適切に把握する。</p>		
--	--	--

○都道府県立病院の運営形態(R2.4.1)

区分	H31.4.1		R2.4.1		増減	内 訳（病院数）	
	病院数	（割合）	病院数	（割合）			
全部適用	126	68%	126	68%	0	兵庫(13)、北海道(6)、青森(2)、岩手(20)、山形(4)、福島(5)、茨城(3)、群馬(4)、埼玉(4)、千葉(6)、新潟(13)、静岡(1)、愛知(3)、三重(3)、滋賀(3)、鳥取(2)、島根(2)、広島(2)、徳島(3)、香川(3)、愛媛(4)、高知(2)、長崎(2(一部事務組合で運営))、熊本(1)、大分(1)、宮崎(3)、鹿児島(5)、沖縄(6)	
一部適用	17	9%	17	9%	0	栃木(1)、東京(8)、富山(2)、石川(2)、福井(2)、和歌山(1)、福岡(1)	
独立行政法人	43	23%	43	23%	0		
独 法 化 前 の 経 営 形 態	全部適用	(11)	26%	(11)	26%	0	宮城(4)、山形(2)、神奈川(4)、三重(1)
	一部適用	(30)	70%	(30)	70%	0	秋田(2)、栃木(2)、神奈川(1)、山梨(2)、長野(5)、岐阜(3)、静岡(3)、大阪(5)、奈良(3)、岡山(1)、山口(2)、佐賀(1)
	その他	(2)	5%	(2)	5%	0	東京(1 法適用外(指定管理)→独法)、徳島(1 法適用外(健康保険病院)→県移管・独法)
	小計	(43)	100%	(43)	100%	0	
計	186	100%	186	100%	0		

※1つの自治体で複数形態で運営する団体有り

IV 安定した医療提供体制の確立

項目7 安定的な地域医療の提供

○ 基本方向	地域の医療需要や他の医療機関の状況等を適時把握し、県民から必要とされる医療を的確に提供することで、将来に亘る安定的な地域医療の提供に貢献する。
○ 取組内容	今後の安定的な地域医療の提供に貢献するため、地域の医療需要や他の医療機関の状況等を適時把握し、県民から必要とされる医療を的確に提供する。

実施計画	参考：現況（R3年2月の状況等）	備考																																																				
<p>〔目標〕</p> <p>今後の安定的な地域医療の提供に貢献するため、地域の医療需要や他の医療機関の状況等を踏まえ、各県立病院に求められる医療を提供する。</p>																																																						
<p>〔取組項目〕</p> <p>兵庫県地域医療構想に適切に対応していくため、兵庫県保健医療計画（圏域版）を踏まえ、「第4次病院構造改革推進方策」及び「公的医療機関等2025プラン」に定められた県立病院が求められる役割を果たしながら、将来に亘る安定期的な地域医療の提供に貢献する。</p>	<p>○地域医療構想の推進体制</p> <p>地域医療構想の実現のため、医療機関等の自主的な取り組みや行政と医療機関等が連携した取り組み等を行っていくため、各圏域において、医療関係者、医療保険者その他関係者からなる「地域医療構想調整会議」を設置し、地域医療構想の達成に必要な事項について、協議が行われている。</p> <p>（検討内容）</p> <p>①病床機能報告や医療資源を踏まえた、2025年を見据えた医療機関としての役割分担</p> <p>②2025年に持つべき、医療機関ごとの病床数（病床機能等）</p> <p>③施策の進捗状況の確認、医療介護基金事業の検討</p> <p>○県立病院のある圏域の地域医療構想調整会議の開催状況（R3.2末時点）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">神戸</th> <th rowspan="2">阪神 (阪神南)</th> <th rowspan="2">東播磨</th> <th colspan="2">播磨姫路</th> <th rowspan="2">丹波</th> <th rowspan="2">淡路</th> </tr> <tr> <th>(中播磨)</th> <th>(西播磨)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>8</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>3</td> <td>7</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>○地域医療構想調整会議の議題</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29年度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H28 病床機能報告</li> <li>・公立・公的2025プランの内容確認</li> <li>・H29 病床機能転換推進事業の審議</li> <li>・H30 医療介護推進基金事業の地域事業の審議</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>H30年度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公立・公的2025プランの策定</li> <li>・H29 病床機能報告・分析</li> <li>・H30 病床機能転換推進事業の審議</li> <li>・H31 医療介護推進基金事業の地域事業の議論</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>R1年度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公立・公的2025プランの再検討・再検証</li> <li>・県立・公立病院の再編統合等の議論</li> <li>・R1 病床機能転換推進事業の審議</li> <li>・R2 医療介護推進基金事業の地域事業の議論</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>R2年度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公立・公的2025プランの再検討・再検証</li> <li>・R2 医療機関再編等推進事業の審議</li> <li>・R3 医療介護推進基金事業の地域事業の議論</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	年度	神戸	阪神 (阪神南)	東播磨	播磨姫路		丹波	淡路	(中播磨)	(西播磨)	H29	8	2	3	2	2	2	2	H30	6	5	4	4	5	3	2	R1	3	7	3	6	4	3	3	R2	2	2	2	2	2	1	1	年度	内容	H29年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H28 病床機能報告</li> <li>・公立・公的2025プランの内容確認</li> <li>・H29 病床機能転換推進事業の審議</li> <li>・H30 医療介護推進基金事業の地域事業の審議</li> </ul>	H30年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公立・公的2025プランの策定</li> <li>・H29 病床機能報告・分析</li> <li>・H30 病床機能転換推進事業の審議</li> <li>・H31 医療介護推進基金事業の地域事業の議論</li> </ul>	R1年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公立・公的2025プランの再検討・再検証</li> <li>・県立・公立病院の再編統合等の議論</li> <li>・R1 病床機能転換推進事業の審議</li> <li>・R2 医療介護推進基金事業の地域事業の議論</li> </ul>	R2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公立・公的2025プランの再検討・再検証</li> <li>・R2 医療機関再編等推進事業の審議</li> <li>・R3 医療介護推進基金事業の地域事業の議論</li> </ul>	
年度	神戸					阪神 (阪神南)	東播磨			播磨姫路		丹波	淡路																																									
		(中播磨)	(西播磨)																																																			
H29	8	2	3	2	2	2	2																																															
H30	6	5	4	4	5	3	2																																															
R1	3	7	3	6	4	3	3																																															
R2	2	2	2	2	2	1	1																																															
年度	内容																																																					
H29年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H28 病床機能報告</li> <li>・公立・公的2025プランの内容確認</li> <li>・H29 病床機能転換推進事業の審議</li> <li>・H30 医療介護推進基金事業の地域事業の審議</li> </ul>																																																					
H30年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公立・公的2025プランの策定</li> <li>・H29 病床機能報告・分析</li> <li>・H30 病床機能転換推進事業の審議</li> <li>・H31 医療介護推進基金事業の地域事業の議論</li> </ul>																																																					
R1年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公立・公的2025プランの再検討・再検証</li> <li>・県立・公立病院の再編統合等の議論</li> <li>・R1 病床機能転換推進事業の審議</li> <li>・R2 医療介護推進基金事業の地域事業の議論</li> </ul>																																																					
R2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公立・公的2025プランの再検討・再検証</li> <li>・R2 医療機関再編等推進事業の審議</li> <li>・R3 医療介護推進基金事業の地域事業の議論</li> </ul>																																																					

各県立病院の目標・計画（経営計画）

(1) 尼崎総合医療センター

経営指標に係る数値目標

区分		R1 実績	R2 見込	R3 計画	
業務量	病床数(床)	730	730	730	
	病床利用率(%)	92.9	78.0	88.6	
	1日当たり入院患者数(人)	678	569	647	
	1日当たり外来患者数(人)	1,964	1,756	1,866	
財務	経常収支比率(%)	99.2	102.3	101.4	
	医業収支比率(%)	88.1	79.2	84.7	
	入院単価(円)	88,521	94,947	90,823	
	外来単価(円)	19,454	20,013	19,454	
	給与費比率(%)	54.8	64.2	57.5	
	材料費比率(%)	36.0	36.7	37.7	
	経費比率(%)	14.7	16.4	15.4	
医療機能	平均在院日数	9.4	9.3	9.3	
	紹介率(%)	75.9	72.9	75.9	
	逆紹介率(%)	86.7	95.8	95.8	
	救急患者数	25,071	20,838	22,938	
	(うち救急車搬送件数)	11,477	9,016	10,438	
	糖尿病新規入院患者数	259	227	240	
	手術件数	24,087	21,227	22,251	
	(うち高額手術件数)	3,491	3,073	3,191	
	(うちがん手術件数)	1,474	1,401	1,456	
	(うち冠動脈形成術件数)	552	483	514	
	(うち開心術件数)	194	179	188	
	頭頸部血管内治療件数	41	39	41	
	TAVI実施件数	70	52	47	
	外来化学療法件数	10,910	10,668	10,910	
	分娩件数	1,099	1,086	1,099	
	ハイリスク妊娠数(人)	172	168	172	
	母体搬送受入数(人)	93	96	96	
	2500g未満新生児実入院患者数(人)	196	197	197	
	新生児搬送受入総数(人)	65	75	75	
	ドクターカー出動回数	353	174	270	
	物忘れ外来患者数	398	592	592	
	薬剤管理指導件数	32,459	28,729	30,313	
	リハビリ件数	121,579	123,460	123,910	
	(うちOTリハビリ件数)	23,700	23,250	23,700	
	(うちPTリハビリ件数)	77,548	79,023	79,023	
	(うちSTリハビリ件数)	20,331	21,187	21,187	
	クリニカルパス件数	319	411	460	
	在宅復帰率(%)	89.7	89.2	89.7	
	臨床研修医の受入件数	48	49	49	
	医師派遣等件数	275	211	275	
	その他	セカンド・オピニオン実施件数	27	24	27
		TVカンファレンス実施回数	12	12	12
PFMの更なる拡大(アセスメント率)(%)		39.2%	49.0%	50.0%	

区分		R1 実績	R2 見込	R3 計画
その他	重点診療科科長及び事務職員による地域クリニック等訪問回数	13	0	6
	社協コラボ出前型セミナー開催回数	7	0	3

収支計画

(単位：百万円)

区分		R1 実績	R2 見込	R3 計画	
収益	入院収益	21,969	19,736	21,443	
	外来収益	9,168	8,541	8,783	
	その他医業収益	726	612	628	
	医業収益計	31,863	28,889	30,853	
	その他の収益	1,558	6,466	3,424	
<b>収益合計</b>		<b>33,422</b>	<b>35,355</b>	<b>34,277</b>	
費用	給与費	17,446	18,542	17,747	
	(うち退職給与金)	383	587	397	
	材料費	11,470	10,599	11,623	
	経費	4,684	4,735	4,746	
	減価償却費	2,341	2,331	2,042	
	その他の医業費用	240	277	250	
	医業費用計	36,182	36,482	36,409	
	その他費用	395	1,596	385	
	<b>費用合計</b>		<b>36,577</b>	<b>38,079</b>	<b>36,794</b>
	差引損益		△3,156	△2,723	△2,517
一般会計繰入金		2,850	2,897	2,998	
当期純損益		△305	174	481	
<b>経常損益</b>		<b>△281</b>	<b>848</b>	<b>524</b>	

各県立病院の目標・計画（経営計画）

(2) 西宮病院

経営指標に係る数値目標

区分		R1 実績	R2 見込	R3 計画	
業務量	病床数(床)	400	400	400	
	病床利用率(%)	86.2	72.1	84.1	
	1日当たり入院患者数(人)	345	289	336	
	1日当たり外来患者数(人)	672	614	658	
財務	経常収支比率(%)	99.3	98.3	100.9	
	医業収支比率(%)	86.7	78.9	85.6	
	入院単価(円)	60,900	68,280	64,189	
	外来単価(円)	17,290	17,934	17,697	
	給与費比率(%)	65.9	73.5	66.0	
	材料費比率(%)	27.7	29.0	29.1	
医療機能	経費比率(%)	15.4	17.6	15.5	
	平均在院日数	10.2	9.6	10.2	
	紹介率(%)	78.2	77.6	78.0	
	逆紹介率(%)	122.7	119.1	120.0	
	手術件数(件)	5,283	5,071	5,170	
	がん手術総件数	923	1,156	1,150	
	入退院支援センター入院・検査説明件数	2,350	2,500	2,650	
	クリニカルパス件数	244	250	258	
	化学療法件数	6,142	5,700	5,980	
	うち外来化学療法件数	3,932	3,653	3,800	
	救急患者数(人)	6,316	5,630	5,970	
	(うち救急車搬送件数)	3,946	3,282	3,610	
	小児救急車搬送件数	397	330	360	
	ドクターカー出動実績	667	600	630	
	分娩件数	572	450	430	
	ハイリスク妊娠数	151	120	110	
	母体搬送受入数	97	80	75	
	2500g未満新生児実入院患者数	117	110	120	
	新生児搬送受入総数	50	33	40	
	さい帯血採取数	136	140	140	
	糖尿病新規入院患者数	216	220	220	
	腎移植実施数	13	12	12	
	透析件数	4,215	3,596	4,300	
	リハビリ件数	44,555	42,204	42,204	
	臨床研修医の受入件数	20	20	19	
	産婦人科セミアンシステムの運用件数	3	0	0	
	四肢外傷センターの充実(骨折等疾患の救急、整形外科の連携治療実施件数)	256	300	350	
	その他	腎臓病教室の開催回数	7	0	6
		西宮薬剤師会と薬剤部の合同研修会の開催回数	5	1	1

収支計画

(単位:百万円)

区分		R1 実績	R2 見込	R3 計画
収益	入院収益	7,683	7,191	7,881
	外来収益	2,790	2,675	2,819
	その他医業収益	274	226	282
	医業収益計	10,748	10,092	10,982
	その他の収益	497	1,683	901
	<b>収益合計</b>	<b>11,245</b>	<b>11,775</b>	<b>11,884</b>
費用	給与費	7,078	7,415	7,251
	(うち退職給与金)	250	256	190
	材料費	2,972	2,925	3,191
	経費	1,658	1,772	1,699
	減価償却費	623	626	626
	その他の医業費用	64	57	56
	医業費用計	12,394	12,794	12,823
	その他費用	155	908	97
	<b>費用合計</b>	<b>12,549</b>	<b>13,703</b>	<b>12,920</b>
	差引損益	△1,304	△1,927	△1,036
	一般会計繰入金	1,182	1,167	1,150
当期純損益	△121	△760	113	
<b>経常損益</b>	<b>△88</b>	<b>△216</b>	<b>113</b>	

各県立病院の目標・計画（経営計画）

(3) 加古川医療センター

経営指標に係る数値目標

区分		R1 実績	R2 見込	R3 計画
業務量	病床数(床)	353	353	353
	病床利用率(%)	81.4	43.9	70.2
	1日当たり入院患者数(人)	287	155	248
	1日当たり外来患者数(人)	754	625	643
財務	経常収支比率(%)	99.2	104.1	102.8
	医業収支比率(%)	83.0	54.5	72.2
	入院単価(円)	64,274	71,087	66,202
	外来単価(円)	19,261	20,322	20,322
	給与費比率(%)	61.1	101.9	67.4
	材料費比率(%)	31.0	38.2	35.6
医療機能	経費比率(%)	17.9	27.7	20.6
	平均在院日数	11.4	10.2	11.4
	紹介率(%)	83.3	84.5	83.9
	逆紹介率(%)	96.8	70.0	83.4
	ドクターヘリ運航件数	449	370	404
	救急患者数(人)	7,495	4,368	5,996
	(うち救急車搬送患者数)	2,595	981	2,335
	手術件数(件)	5,009	3,305	4,508
	化学療法件数	3,066	2,905	2,985
	[うち外来化学療法件数]	2,570	2,525	2,594
	緩和ケア病床入院患者数(人)	5,584	1,165	2,555
	糖尿病教育入院患者数(人)	152	34	93
	リハビリ件数(人)	32,725	21,882	26,180
	新規紹介患者数(人)	8,031	7,213	7,228

収支計画

(単位：百万円)

区分		R1 実績	R2 見込	R3 計画
収益	入院収益	6,758	4,019	5,986
	外来収益	3,487	3,087	3,160
	その他医業収益	337	143	340
	医業収益計	10,581	7,250	9,486
	その他の収益	1,060	5,985	3,068
	<b>収益合計</b>	<b>11,641</b>	<b>13,234</b>	<b>12,554</b>
費用	給与費	6,465	7,388	6,393
	(うち退職給与金)	175	300	216
	材料費	3,283	2,770	3,379
	経費	1,899	2,008	1,959
	減価償却費	1,021	1,049	1,332
	その他の医業費用	86	91	73
	医業費用計	12,753	13,307	13,135
	その他費用	420	930	429
	<b>費用合計</b>	<b>13,173</b>	<b>14,237</b>	<b>13,564</b>
	差引損益	△1,532	△1,003	△1,009
一般会計繰入金	1,344	1,367	1,325	
当期純損益	△188	364	315	
<b>経常損益</b>	<b>△104</b>	<b>566</b>	<b>378</b>	

各県立病院の目標・計画（経営計画）

（４）丹波医療センター

経営指標に係る数値目標

区分		R1 実績	R2 見込	R3 計画
業務量	病床数（床）	238	275	275
	病床利用率（％）	85.2	73.6	85.9
	1日当たり入院患者数（人）	191	202	236
	1日当たり外来患者数（人）	488	495	521
財務	経常収支比率（％）	87.6	92.4	93.3
	医業収支比率（％）	71.7	65.8	72.3
	入院単価（円）	51,959	55,833	56,014
	外来単価（円）	13,318	14,305	14,389
	給与費比率（％）	81.2	80.1	72.3
	材料費比率（％）	22.6	22.6	21.7
医療機能	経費比率（％）	32.3	31.4	27.9
	平均在院日数	11.9	12.6	11.9
	紹介率（％）	70.1	76.1	76.1
	逆紹介率（％）	62.2	74.5	74.5
	がんの手術件数（件）	195	247	296
	緩和ケア病棟の入院患者数	7,415	7,557	7,665
	冠動脈形成術の件数	107	93	100
	救急患者数	7,374	6,379	6,897
	（うち救急車搬送件数）	2,149	2,000	2,300
	分娩件数	273	337	337
	小児の救急車搬送件数	268	129	139
	リハビリ件数	22,753	25,000	28,000
	へき地診療所への派遣回数	100	100	100
	術中迅速病理組織検査実施件数	78	89	102
	休日乳がん検診の継続実施（受診患者数）	56	66	70
	消化器がんの内視鏡的治療実施件数	37	43	44
	ポータブルX線撮影装置による出張撮影等件数	107	100	100
	消化器、循環器救急の内視鏡	106	243	250
	24時間受入れ件数	78	58	60
	その他	心カテ		
研修医受入人数		48	51	51
医療相談の件数		11,066	12,000	12,500
県養成医の受入れ人数		14	15	15
T Vカンファレンスの実施		126	126	126
I Vナースの年間養成数		10	14	10
オープンセミナー等の開催回数		12	0	12
診療機器の共同利用件数	C T	764	740	740
	M R I	319	350	350

収支計画

（単位：百万円）

区分		R1 実績	R2 見込	R3 計画
収益	入院収益	3,640	4,123	4,829
	外来収益	1,560	1,719	1,813
	その他医業収益	290	350	374
	医業収益計	5,490	6,192	7,016
	その他の収益	1,340	1,802	1,219
	<b>収益合計</b>	<b>6,830</b>	<b>7,994</b>	<b>8,234</b>
費用	給与費	4,456	4,958	5,069
	（うち退職給与金）	130	161	203
	材料費	1,243	1,399	1,522
	経費	1,771	1,946	1,960
	減価償却費	130	1,076	1,115
	その他の医業費用	62	29	34
	医業費用計	7,662	9,407	9,700
	その他費用	1,725	1,662	3,021
	<b>費用合計</b>	<b>9,387</b>	<b>11,069</b>	<b>12,721</b>
	差引損益	△2,557	△3,075	△4,487
一般会計繰入金	1,017	1,135	1,073	
当期純損益	△1,540	△1,940	△3,414	
<b>経常損益</b>	<b>△981</b>	<b>△738</b>	<b>△665</b>	

各県立病院の目標・計画（経営計画）

(5) 淡路医療センター

経営指標に係る数値目標

区分		R1 実績	R2 見込	R3 計画
業務量	病床数（床）	441	441	441
	病床利用率（％）	82.6	72.8	77.9
	1日当たり入院患者数（人）	364	321	343
	1日当たり外来患者数（人）	824	738	794
財務	経常収支比率（％）	100.4	103.2	101.1
	医業収支比率（％）	84.9	79.1	82.8
	入院単価（円）	68,401	71,207	71,248
	外来単価（円）	15,140	15,354	15,569
	給与費比率（％）	59.8	66.5	61.5
	材料費比率（％）	32.5	31.8	32.2
医療機能	経費比率（％）	15.9	19.6	18.0
	平均在院日数	12.7	12.0	12.0
	紹介率（％）	82.9	71.8	82.9
	逆紹介率（％）	81.2	66.6	81.2
	救急患者数（人）	8,897	7,263	7,200
	（うち救急車搬送患者数）	3,225	2,800	3,000
	手術件数（件）	3,814	3,207	3,200
	リハビリ延単位数（単位）	63,145	59,778	64,000
	認知症鑑別診断件数（人）	271	261	270
	子宮動脈塞栓術（UAE）の実施件数	4	5	5
その他	淡路圏域がんネットワーク会議の開催（開催回数）	0	0	1
	「淡路島を医療で元気にする会－元気な医療・介護連携をともに考える－」の開催回数	1	0	1

収支計画

(単位：百万円)

区分		R1 実績	R2 見込	R3 計画
収益	入院収益	9,121	8,343	8,929
	外来収益	2,995	2,754	2,993
	その他医業収益	218	199	220
	医業収益計	12,335	11,296	12,141
	その他の収益	896	2,427	1,301
	<b>収益合計</b>	<b>13,230</b>	<b>13,723</b>	<b>13,442</b>
費用	給与費	7,382	7,517	7,465
	（うち退職給与金）	293	396	308
	材料費	4,004	3,590	3,911
	経費	1,958	2,214	2,184
	減価償却費	1,098	815	1,043
	その他の医業費用	79	152	62
	医業費用計	14,522	14,289	14,665
	その他費用	281	1,543	292
	<b>費用合計</b>	<b>14,803</b>	<b>15,832</b>	<b>14,957</b>
	差引損益	△1,573	△2,109	△1,515
一般会計繰入金	1,635	1,695	1,682	
当期純損益	62	△413	167	
<b>経常損益</b>	<b>54</b>	<b>460</b>	<b>165</b>	

各県立病院の目標・計画（経営計画）  
 (6) ひょうごこころの医療センター

経営指標に係る数値目標

区分		R1 実績	R2 見込	R3 計画
業務量	病床数 (床)	286	254	254
	病床利用率 (%)	65.4	45.5	62.3
	1日当たり入院患者数 (人)	187	116	158
	1日当たり外来患者数 (人)	213	206	213
財務	経常収支比率 (%)	90.9	91.9	91.4
	医業収支比率 (%)	49.0	33.5	42.4
	入院単価 (円)	23,620	23,960	24,000
	外来単価 (円)	6,900	6,994	6,994
	給与費比率 (%)	152.1	221.1	173.4
	材料費比率 (%)	8.7	11.6	10.9
医療機能	経費比率 (%)	28.2	44.2	30.8
	平均在院日数 (日)	82.9	80.0	80.0
	紹介率 (%)	36.6	30.4	35.0
	逆紹介率 (%)	44.4	45.7	46.0
	クリニカルパス数	8	8	8
	救急患者数 (人)	451	306	450
	訪問看護件数 (件)	3,113	3,285	3,300
相談件数	39,076	36,200	39,000	

収支計画

(単位：百万円)

区分		R1 実績	R2 見込	R3 計画
収益	入院収益	1,616	1,010	1,387
	外来収益	353	350	361
	その他医業収益	17	11	16
	医業収益計	1,985	1,372	1,764
	その他の収益	232	974	551
	<b>収益合計</b>	<b>2,217</b>	<b>2,346</b>	<b>2,315</b>
費用	給与費	3,019	3,033	3,058
	(うち退職給与金)	182	155	150
	材料費	172	159	193
	経費	560	606	544
	減価償却費	281	262	350
	その他の医業費用	17	29	16
	医業費用計	4,049	4,089	4,161
	その他費用	122	689	98
	<b>費用合計</b>	<b>4,171</b>	<b>4,778</b>	<b>4,259</b>
	差引損益	△1,953	△2,432	△1,944
一般会計繰入金	1,576	1,597	1,573	
当期純損益	△377	△835	△371	
<b>経常損益</b>	<b>△377</b>	<b>△341</b>	<b>△367</b>	

各県立病院の目標・計画（経営計画）

(7) こども病院

経営指標に係る数値目標

区分		R1 実績	R2 見込	R3 計画
業務量	病床数(床)	275	282	282
	病床利用率(%)	86.7	83.6	87.0
	1日当たり入院患者数(人)	239	236	245
	1日当たり外来患者数(人)	431	403	421
財務	経常収支比率(%)	99.5	99.2	100.8
	医業収支比率(%)	76.2	75.9	78.3
	入院単価(円)	93,241	97,616	98,000
	外来単価(円)	17,569	18,049	18,000
	給与費比率(%)	77.1	77.3	74.2
	材料費比率(%)	21.3	21.1	21.3
医療機能	経費比率(%)	20.0	20.9	19.9
	平均在院日数(日)	11.8	12.5	12.5
	紹介率(%)	91.7	86.4	86.4
	逆紹介率(%)	62.6	55.8	55.8
	救急患者数(人)	12,314	9,726	9,800
	小児の救急車搬送患者数(人)	1,727	1,167	1,300
	手術件数(件)	3,631	3,040	3,340
	開心術(件)	147	138	140
	ハイリスク妊娠数(人)	124	158	160
	母体搬送受入数(人)	84	107	100
	2500g未満新生児実入院患者数(人)	191	222	220
	新生児搬送受入総数(人)	201	179	180
	造血幹細胞移植	29	30	30
	リハビリテーション実施単位	16,617	17,837	18,000
看護相談外来	2,024	1,800	2,000	

収支計画

(単位：百万円)

区分		R1 実績	R2 見込	R3 計画
収益	入院収益	8,140	8,399	8,779
	外来収益	1,816	1,766	1,834
	その他医業収益	145	151	154
	医業収益計	10,101	10,316	10,767
	その他の収益	905	1,145	895
	<b>収益合計</b>	<b>11,006</b>	<b>11,461</b>	<b>11,662</b>
費用	給与費	7,784	7,975	7,984
	(うち退職給与金)	266	150	177
	材料費	2,153	2,179	2,291
	経費	2,022	2,156	2,138
	減価償却費	1,232	1,196	1,233
	その他の医業費用	59	94	97
	医業費用計	13,250	13,599	13,743
	その他費用	306	626	149
	<b>費用合計</b>	<b>13,556</b>	<b>14,225</b>	<b>13,892</b>
	差引損益	△2,550	△2,764	△2,230
一般会計繰入金	2,386	2,360	2,322	
当期純損益	△164	△404	92	
<b>経常損益</b>	<b>△63</b>	<b>△115</b>	<b>110</b>	

各県立病院の目標・計画（経営計画）

(8) がんセンター

経営指標に係る数値目標

区分		R1 実績	R2 見込	R3 計画
業務量	病床数(床)	377	377	377
	病床利用率(%)	72.7	73.0	72.9
	1日当たり入院患者数(人)	274	275	275
	1日当たり外来患者数(人)	669	660	664
財務	経常収支比率(%)	99.1	97.0	98.9
	医業収支比率(%)	91.3	89.4	91.1
	入院単価(円)	69,313	69,964	70,878
	外来単価(円)	51,168	52,409	52,756
	給与費比率(%)	42.7	43.1	41.7
	材料費比率(%)	50.1	50.6	49.8
医療機能	経費比率(%)	11.6	12.2	12.1
	平均在院日数	11.6	13.0	13.0
	紹介率(%)	73.0	71.6	71.6
	逆紹介率(%)	50.6	46.9	46.9
	リハビリ件数	20,568	22,400	21,680
	クリニカルパス件数	200	159	159
	手術件数	3,415	3,420	3,420
	放射線治療件数	11,391	15,104	14,278
	放射線診断件数	72,571	74,747	74,593
	化学療法件数	19,538	20,043	20,000
	[うち外来化学療法件数]	13,819	14,172	14,500
	がん登録届出件数	3,623	3,500	3,500
	相談支援件数	2,239	1,820	2,210
	薬剤管理指導件数	10,016	13,700	13,900

収支計画

(単位：百万円)

区分		R1 実績	R2 見込	R3 計画
収益	入院収益	6,954	7,029	7,114
	外来収益	8,220	8,400	8,477
	その他医業収益	509	459	481
	医業収益計	15,683	15,888	16,072
	その他の収益	548	651	599
	<b>収益合計</b>	<b>16,231</b>	<b>16,539</b>	<b>16,671</b>
費用	給与費	6,694	6,854	6,699
	(うち退職給与金)	274	179	297
	材料費	7,853	8,047	8,005
	経費	1,812	1,942	1,945
	減価償却費	558	830	855
	その他の医業費用	262	105	142
	医業費用計	17,179	17,778	17,646
	その他費用	159	1,411	124
	<b>費用合計</b>	<b>17,338</b>	<b>19,188</b>	<b>17,770</b>
	差引損益	△1,107	△2,649	△1,099
一般会計繰入金	925	919	885	
当期純損益	△182	△1,730	△214	
<b>経常損益</b>	<b>△159</b>	<b>△544</b>	<b>△204</b>	

各県立病院の目標・計画（経営計画）

（9）姫路循環器病センター

経営指標に係る数値目標

区分		R1 実績	R2 見込	R3 計画
業務量	病床数（床）	330	330	330
	病床利用率（%）	69.5	69.0	68.8
	1日当たり入院患者数（人）	229	228	226
	1日当たり外来患者数（人）	350	337	344
財務	経常収支比率（%）	98.2	100.1	98.6
	医業収支比率（%）	85.9	84.5	85.6
	入院単価（円）	103,387	109,054	109,004
	外来単価（円）	27,477	28,082	27,639
	給与費比率（%）	51.5	52.8	50.2
	材料費比率（%）	45.9	46.8	46.6
医療機能	経費比率（%）	13.1	13.6	14.7
	平均在院日数（日）	14	14	14
	紹介率（%）	70	76	76
	逆紹介率（%）	170	164	170
	救急患者数（人）	4,643	4,106	4,106
	（うち救急車搬送患者数）	2,499	2,292	2,292
	手術件数（件）	1,616	1,493	1,493
	地域連携パス件数	162	150	150
	頭頸部血管内治療件数	93	105	93
	TAVI実施件数	56	91	56
	リハビリ件数（件）	27,443	38,120	27,443
	糖尿病新規入院患者数	124	115	115
	糖尿病新規外来患者数	351	267	267
	慢性閉塞再開通デバイスを用いた下肢閉塞動脈治療件数	25	22	22
	超急性期脳梗塞に対する血管内治療件数	26	26	26
	胸腔鏡下弁形成術（MICS）の件数	5	12	5
	経皮的カテーテル心筋焼灼術の件数	372	367	367
	クリップを使った僧帽弁閉鎖症治療件数	28	38	28
	超急性期脳梗塞に対する経皮的脳血栓回収術件数	23	17	17
	補助人工心臓ポンプカテーテル治療（インペラ）の件数	18	50	50

収支計画

（単位：百万円）

区分		R1 実績	R2 見込	R3 計画
収益	入院収益	8,675	9,059	9,002
	外来収益	2,305	2,300	2,303
	その他医業収益	187	191	188
	医業収益計	11,167	11,551	11,493
	その他の収益	469	1,164	715
	<b>収益合計</b>	<b>11,636</b>	<b>12,715</b>	<b>12,209</b>
費用	給与費	5,747	6,103	5,766
	（うち退職給与金）	332	244	139
	材料費	5,125	5,405	5,351
	経費	1,460	1,567	1,687
	減価償却費	556	546	550
	その他の医業費用	118	54	67
	医業費用計	13,006	13,676	13,422
	その他費用	128	1,022	253
	<b>費用合計</b>	<b>13,134</b>	<b>14,698</b>	<b>13,675</b>
	差引損益	△1,498	△1,983	△1,466
一般会計繰入金	1,217	1,260	1,258	
当期純損益	△280	△723	△208	
<b>経常損益</b>	<b>△240</b>	<b>14</b>	<b>△187</b>	

各県立病院の目標・計画（経営計画）

（10-1）粒子線医療センター

経営指標に係る数値目標

区分		R1 実績	R2 見込	R3 計画
業務量	病床数（床）	50	50	50
	病床利用率（%）	57.3	61.1	68.9
	1日当たり入院患者数（人）	29	31	34
	1日当たり外来患者数（人）	23	21	30
財務	経常収支比率（%）	85.4	77.0	83.1
	医業収支比率（%）	52.3	49.2	55.0
	入院単価（円）	73,088	69,328	69,235
	外来単価（円）	44,736	46,156	46,039
	給与費比率（%）	58.4	57.7	48.6
	材料費比率（%）	8.8	9.0	8.1
医療機能	経費比率（%）	88.5	101.9	82.7
	平均在院日数（日）	30.6	36.0	36.0
	紹介率（%）	100	100	100
	逆紹介率（%）	100	100	100
	医師派遣等件数	108	89	96
	クリニカルパス導入状況（種類）	97	97	97
	セカンドオピニオン実施状況（件数）	53	40	60
	インシデント報告件数	297	290	300
	経過観察（電話相談）件数	2,912	2,726	2,800
	連携病院からの通院患者数	31	0	30
	外国人患者の治療実績	7	1	30
その他	患者満足度（%）	95.9	96.0	96.0
	医療相談件数	44	30	30

収支計画

（単位：百万円）

区分		R1 実績	R2 見込	R3 計画
収益	入院収益	766	773	871
	外来収益	245	230	335
	その他医業収益	41	45	49
	医業収益計	1,052	1,049	1,255
	その他の収益	381	344	382
	<b>収益合計</b>	<b>1,433</b>	<b>1,392</b>	<b>1,638</b>
費用	給与費	614	605	610
	（うち退職給与金）	42	28	21
	材料費	92	94	102
	経費	932	1,069	1,038
	減価償却費	348	338	362
	その他の医業費用	25	25	169
	医業費用計	2,012	2,132	2,281
	その他費用	293	415	284
	<b>費用合計</b>	<b>2,305</b>	<b>2,547</b>	<b>2,566</b>
	差引損益	△872	△1,155	△928
一般会計繰入金	534	510	492	
当期純損益	△338	△644	△435	
<b>経常損益</b>	<b>△337</b>	<b>△559</b>	<b>△431</b>	

各県立病院の目標・計画（経営計画）

（10-2）神戸陽子線センター

経営指標に係る数値目標

区分		R1 実績	R2 見込	R3 計画
業務量	病床数（床）	-	-	-
	病床利用率（%）	-	-	-
	1日当たり入院患者数（人）	-	-	-
	1日当たり外来患者数（人）	27	29	34
	外来実患者数	194	221	280
財務	経常収支比率（%）	59.5	62.7	69.9
	医業収支比率（%）	37.6	42.3	51.0
	入院単価（円）	-	-	-
	外来単価（円）	72,316	78,543	88,623
	給与費比率（%）	57.5	55.7	47.1
	材料費比率（%）	1.6	1.5	1.4
	経費比率（%）	96.1	88.0	75.4
医療機能	紹介率	100	100	100
	逆紹介率	100	100	100

収支計画

（単位：百万円）

区分		R1 実績	R2 見込	R3 計画
収益	入院収益	-	-	-
	外来収益	475	567	720
	その他医業収益	1	1	1
	医業収益計	475	568	721
	その他の収益	283	281	277
	<b>収益合計</b>	<b>759</b>	<b>849</b>	<b>998</b>
費用	給与費	273	316	339
	（うち退職給与金）	0	21	0
	材料費	8	8	10
	経費	457	500	543
	減価償却費	515	517	517
	その他の医業費用	12	1	3
	医業費用計	1,264	1,342	1,413
	その他費用	96	128	91
	<b>費用合計</b>	<b>1,360</b>	<b>1,470</b>	<b>1,504</b>
	差引損益	△601	△621	△506
	一般会計繰入金	50	53	53
当期純損益	△552	△568	△453	
<b>経常損益</b>	<b>△550</b>	<b>△535</b>	<b>△453</b>	

各県立病院の目標・計画（経営計画）

（11）災害医療センター

経営指標に係る数値目標

区分		R1 実績	R2 見込	R3 計画
業務量	病床数（床）	30	30	30
	病床利用率（%）	83.2	79.2	87.0
	1日当たり入院患者数（人）	25	24	26
	1日当たり外来患者数（人）	1	0	1
財務	経常収支比率（%）	101.3	98.5	100.0
	医業収支比率（%）	72.0	69.4	70.0
	入院単価（円）	160,566	166,596	142,112
	外来単価（円）	341,475	247,732	541,112
	給与費比率（%）	85.9	96.0	91.1
	材料費比率（%）	34.4	29.2	33.2
	経費比率（%）	23.7	25.6	24.8
医療機能	平均在院日数（日）	8.9	8.0	8.0
	手術件数（件）	1,154	1,216	1,229
	（うち高額手術件数）	200	211	213

収支計画

（単位：百万円）

区分		R1 実績	R2 見込	R3 計画
収益	入院収益	0 (1,466)	0 (1,444)	0 (1,354)
	外来収益	0 (60)	0 (28)	0 (110)
	その他医業収益	0 (11)	0 (7)	0 (9)
	医業収益計	0 (1,537)	0 (1,479)	0 (1,473)
	その他の収益	218 (55)	160 (40)	161 (49)
	<b>収益合計</b>	<b>218 (1,592)</b>	<b>160 (1,519)</b>	<b>161 (1,522)</b>
	費用	給与費	36 (1,284)	45 (1,375)
（うち退職給与金）		0 (0)	0 (0)	0 (0)
材料費		0 (528)	0 (431)	0 (489)
経費		722 (301)	703 (314)	688 (300)
減価償却費		196 (0)	145 (0)	145 (0)
その他の医業費用		8 (21)	1 (11)	0 (21)
医業費用計		962 (2,134)	894 (2,131)	878 (2,106)
その他費用		41 (106)	40 (103)	40 (101)
<b>費用合計</b>		<b>1,003 (2,240)</b>	<b>934 (2,234)</b>	<b>918 (2,207)</b>
差引損益		△ 785 (△ 647)	△ 774 (△ 715)	△ 757 (△ 685)
一般会計繰入金	785 (676)	774 (681)	757 (685)	
当期純損益	0 (29)	0 (△ 34)	0 (0)	
<b>経常損益</b>	<b>0 (29)</b>	<b>0 (△ 34)</b>	<b>0 (0)</b>	

各県立病院の目標・計画（経営計画）  
 (12) リハビリテーション中央病院

経営指標に係る数値目標

区分		R1 実績	R2 見込	R3 計画
業務量	病床数 (床)	330	330	330
	病床利用率 (%)	82.3	68.2	79.8
	1日当たり入院患者数 (人)	271	225	263
	1日当たり外来患者数 (人)	220	183	207
財務	経常収支比率 (%)	100.3	100.7	100.0
	医業収支比率 (%)	92.0	82.0	87.3
	入院単価 (円)	33,120	34,457	32,865
	外来単価 (円)	19,094	19,745	19,104
	給与費比率 (%)	61.1	71.9	65.6
	材料費比率 (%)	24.8	24.8	26.3
	経費比率 (%)	23.2	25.9	23.4
医療機能	紹介率 (%)	67.5	62.9	66.9
	逆紹介率 (%)	56.3	82.9	57.7
	糖尿病教育入院患者数	9	2	9

収支計画

(単位：百万円)

区分		R1 実績	R2 見込	R3 計画
収益	入院収益	0 (3,291)	0 (2,828)	0 (3,160)
	外来収益	0 (1,010)	0 (876)	0 (959)
	その他医業収益	0 (63)	0 (60)	0 (64)
	医業収益計	0 (4,364)	0 (3,764)	0 (4,183)
	その他の収益	409 (116)	461 (652)	451 (324)
	<b>収益合計</b>	<b>409 (4,480)</b>	<b>461 (4,416)</b>	<b>451 (4,507)</b>
	費用	給与費	22 (2,646)	22 (2,683)
(うち退職給与金)		0 (0)	0 (0)	0 (0)
材料費		0 (1,082)	0 (935)	0 (1,099)
経費		275 (1,014)	270 (974)	283 (976)
減価償却費		386 (0)	397 (0)	425 (0)
その他の医業費用		1 (0)	4 (0)	1 (1)
医業費用計		684 (4,742)	693 (4,592)	742 (4,789)
その他費用		46 (0)	81 (58)	50 (0)
<b>費用合計</b>		<b>730 (4,742)</b>	<b>774 (4,650)</b>	<b>792 (4,789)</b>
差引損益		△321 (△262)	△313 (△234)	△341 (△282)
一般会計繰入金	321 (274)	313 (270)	341 (283)	
当期純損益	0 (12)	0 (36)	0 (1)	
<b>経常損益</b>	<b>0 (12)</b>	<b>0 (36)</b>	<b>0 (1)</b>	

各県立病院の目標・計画（経営計画）  
 (13) リハビリテーション西播磨病院

経営指標に係る数値目標

区分		R1 実績	R2 見込	R3 計画
業務量	病床数(床)	100	100	100
	病床利用率(%)	95.2	88.1	95.5
	1日当たり入院患者数(人)	95	88	95
	1日当たり外来患者数(人)	44	39	46
財務	経常収支比率(%)	101.6	100.0	100.0
	医業収支比率(%)	93.3	88.9	91.5
	入院単価(円)	38,557	40,045	38,557
	外来単価(円)	31,494	34,447	31,494
	給与費比率(%)	61.3	64.2	62.0
	材料費比率(%)	18.5	18.5	18.5
	経費比率(%)	28.0	29.7	30.1
医療機能	紹介率(%)	79	79	79
	逆紹介率(%)	119.7	140	140
	回復期病棟在宅復帰率(%)	87	87	87
	P Tリハビリ件数(単位)	74,600	74,600	74,600
	O Tリハビリ件数(単位)	73,614	69,270	73,700
	S Tリハビリ件数(単位)	41,811	40,080	41,800
	認知症鑑別診断件数(人)	1,122	1,122	1,122
その他	脳卒中地域連携パス件数(人)	105	105	105
	認知リハビリ件数(人)	4,116	3,830	4,100
	音楽療法件数(人)	3,739	3,280	3,800
	園芸療法件数(人)	1,934	1,620	2,000
	認知症専門医療相談件数(人)	2,610	2,610	2,610
	短時間通所リハ件数(人)	1,073	515	1,073

収支計画

(単位：百万円)

区分		R1 実績	R2 見込	R3 計画
収益	入院収益	0 (1,343)	0 (1,287)	0 (1,344)
	外来収益	0 (330)	0 (330)	0 (351)
	その他医業収益	0 (32)	0 (25)	0 (24)
	医業収益計	0 (1,705)	0 (1,642)	0 (1,719)
	その他の収益	221 (27)	246 (51)	234 (28)
	<b>収益合計</b>	<b>221 (1,731)</b>	<b>246 (1,693)</b>	<b>234 (1,747)</b>
	費用	給与費	11 (1,035)	11 (1,043)
(うち退職給与金)		0 (0)	0 (0)	0 (0)
材料費		0 (315)	0 (304)	0 (318)
経費		125 (477)	125 (487)	131 (517)
減価償却費		211 (0)	223 (0)	224 (0)
その他の医業費用		0 (0)	1 (0)	0 (0)
医業費用計		347 (1,827)	360 (1,834)	378 (1,878)
その他費用		31 (0)	40 (12)	28 (0)
<b>費用合計</b>		<b>378 (1,827)</b>	<b>400 (1,846)</b>	<b>406 (1,878)</b>
差引損益		△157 (△96)	△154 (△153)	△172 (△131)
一般会計繰入金		157 (125)	154 (125)	172 (131)
当期純損益		0 (29)	0 (△28)	0 (0)
<b>経常損益</b>	<b>0 (29)</b>	<b>0 (△28)</b>	<b>0 (0)</b>	